

**第9期尾張旭市高齢者保健福祉計画
策定にかかるアンケート調査**

結果報告書

令和5年8月

尾張旭市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の実施概要	1
3	回収結果	1
4	報告書の見方	2
II	一般(65歳以上アンケート)調査結果	3
1	回答者について	3
2	あなたの性別や年齢、生活状況などについて	3
3	からだを動かすことについて	9
4	食べることについて	12
5	毎日の生活について	14
6	地域での活動について	18
7	たすけあいについて	20
8	あなたの健康について	23
	機能別リスク該当者割合の分析	29
	(1) 運動器	29
	(2) 栄養	31
	(3) 口腔	32
	(4) 閉じこもり	34
	(5) 認知	36
	(6) 転倒	38
	(7) うつ	40
9	認知症にかかる相談窓口の把握について	42
10	介護保険制度・高齢社会について	43
11	防災対策について	50
III	要支援・要介護認定者調査結果	54
1	回答者について	54
2	ご本人の性別や年齢、生活状況などについて	54
3	生活拠点に関する意向について	60
4	居宅サービスの利用について	62
5	介護保険制度・高齢社会について	71
6	医療の状況、介護者について	76
7	日常、主に介護している方について	79
IV	介護サービス提供事業者調査結果	91
1	貴事業所について	91
2	事業所運営上の課題について	96
3	グループホーム・特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・特定施設入居者生活介護事業者のかたにお聞きします	100
4	災害対策について	102
5	サービスの質の向上について	103
6	関係機関との連携について	105
7	今後の介護サービスについて	111
V	介護支援専門員調査結果	114
1	あなたの年齢や性別、勤務形態などについて	114
2	ケアマネジメントについて	115

3	医療機関との連携について.....	126
4	高齢者虐待について.....	129
5	地域包括支援センターについて.....	131
6	介護保険及び高齢者福祉施策全般について.....	133

I 調査の概要

1 調査の目的

令和5年度に高齢者保健福祉計画の見直しを行うために、また今後の介護保険制度等の運営の参考とするために、①一般高齢者（65歳以上）、②要支援・要介護認定者、③介護サービス提供者、④介護支援専門員を対象とした4種類のアンケート調査を実施しました。

2 調査の実施概要

区分	一般（65歳以上）	要支援・要介護認定者	介護サービス提供者	介護支援専門員
調査客体	要介護と認定されていない65歳以上の人から無作為抽出	要支援・要介護の認定を受けている人から無作為抽出(施設サービス利用者を除く)	市内で介護保険サービスを提供している事業所すべて	市内の居宅介護支援事業所に所属している介護支援専門員すべて
調査票の配布・回収	郵送配布・郵送回収・WEB回答			
調査基準日	令和5年1月1日			
調査期間	令和5年1月23日～2月6日			

3 回収結果

区分	一般（65歳以上）	要支援・要介護認定者	介護サービス提供者	介護支援専門員	
配布数（A）	1,000	1,500	107	65	
回収件数（B）	712	※874	85	57	
回収率（B/A）	71.2%	58.3%	79.4%	87.7%	
無効回答件数	/	入院中	16	/	/
		転出	0		
		死亡	2		
		その他	38		
		不明・無回答	4		
		計	60		
有効回答件数（C）	712	814	85	57	
有効回答率（C/A）	71.2%	54.3%	79.4%	87.7%	

(※要支援・要介護認定者の回収件数874件のうち77件はWEB回答)

4 報告書の見方

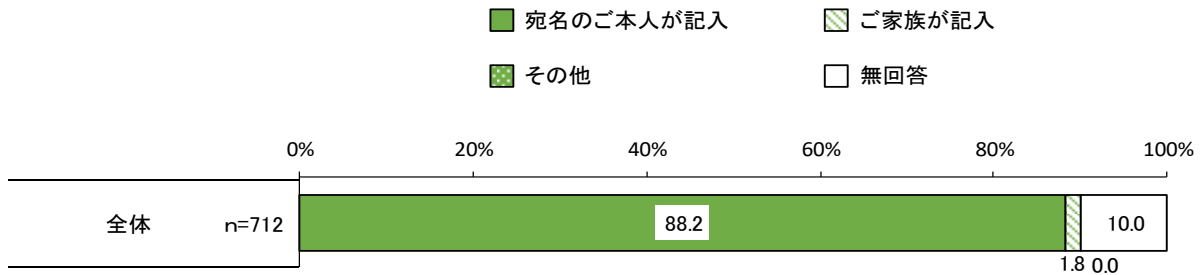
- 図表中の「n」は集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を示しています。
- グラフ中の「%」は、小数第2位を四捨五入しているため、単数回答の設問（1つだけに○をつけるもの）であっても合計が100.0%にならない場合があります。また、複数回答の設問の場合（いくつでも○をつけるものなど）は「n」に対する各選択肢の回答者数の割合を示しています。
- グラフ・表として示したもののうち、無回答が0の場合は「無回答」の表示を省略しています。また、選択肢の文章を簡略化してある場合もあります。
- 調査結果を図表で表示していますが、グラフ以外のクロス集計の表は、「無回答」を除いて最も高い割合の値を濃い緑色で網かけ、二番目に高い割合の値を薄い緑色で網かけしています。
- 性別、年齢別等で示しているグラフの「n」を合わせた数は、性別や年齢等の無回答を除いた数であるため、全体の「n」と一致しません。

II 一般(65歳以上アンケート)調査結果

1 回答者について

問1 この調査票に記入されるのはどなたですか。(○は1つ)

「宛名のご本人が記入」が88.2%、「ご家族が記入」が1.8%となっています。

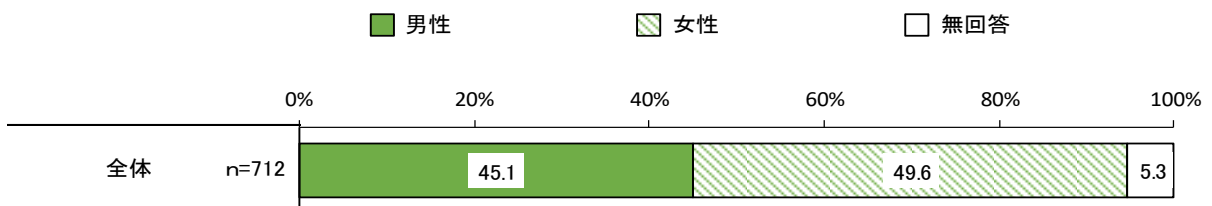


2 あなたの性別や年齢、生活状況などについて

問2 あなたの性別・年齢・お住まいの地区についてお答えください。
(○はそれぞれ1つ)

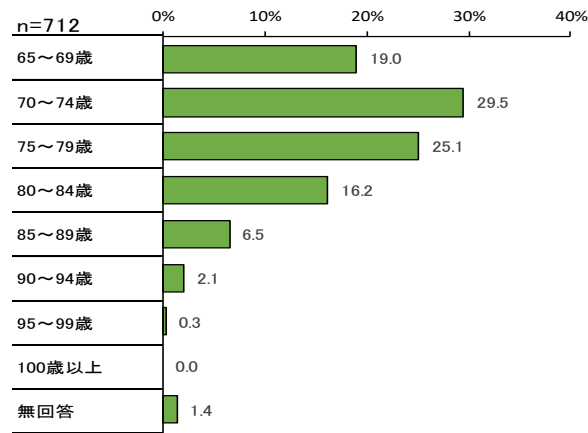
①【性別】 ※性別を選択することに違和感や抵抗がある場合は、お答えいただかなくても結構です。

「男性」が45.1%、「女性」が49.6%となっています。



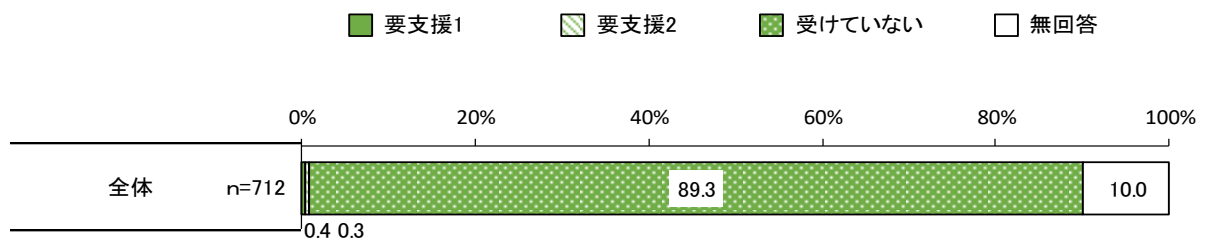
② 【年齢】

「70～74歳」が29.5%で最も高く、次いで「75～79歳」が25.1%、「65～69歳」が19.0%となっています。



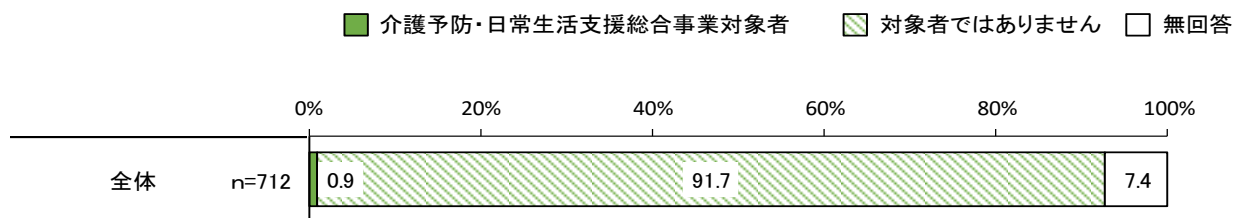
③ 【要支援認定を受けていますか】

「受けていない」が89.3%となっています。



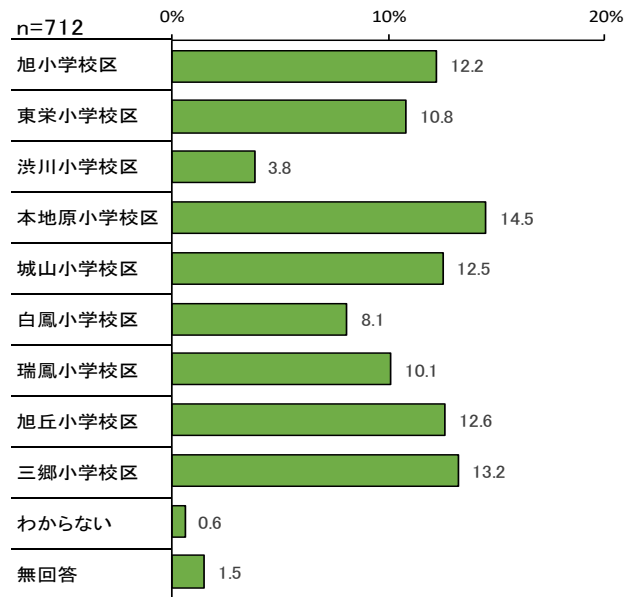
③-1 【介護予防・日常生活支援総合事業の対象者ですか】

「対象ではありません」が91.7%となっています。



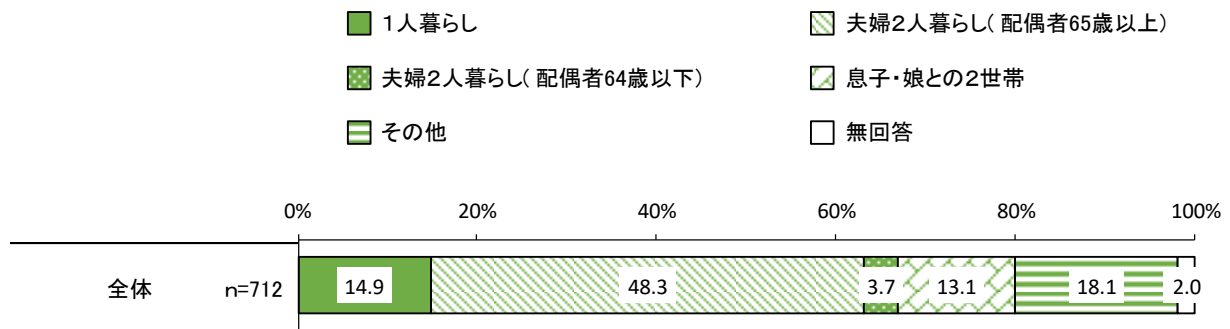
④【お住まいの地区（小学校区）】

「本地原小学校区」が14.5%で最も高く、次いで「三郷小学校区」が13.2%、「旭丘小学校区」が12.6%となっています。



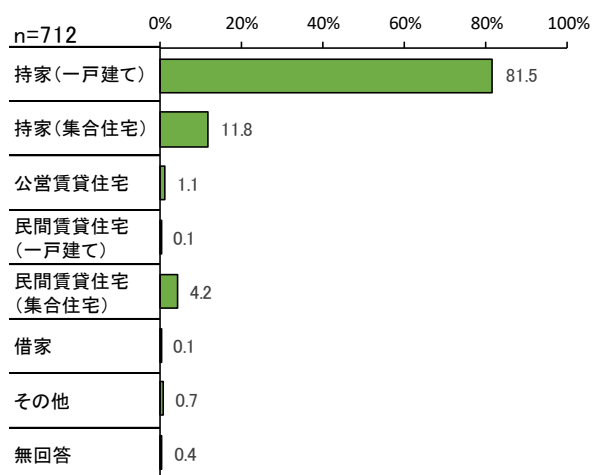
問3 あなたの家族構成を教えてください。（○は1つ）

「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が48.3%で最も高く、「1人暮らし」が14.9%、「息子・娘との2世帯」が13.1%となっています。



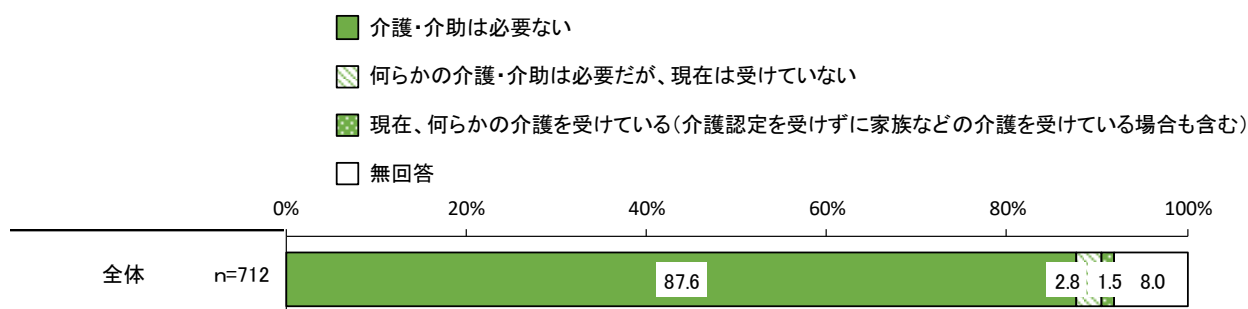
問4 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(○は1つ)

「持家(一戸建て)」が81.5%で最も高く、次いで「持家(集合住宅)」が11.8%となっています。



問5 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)

「介護・介助は必要ない」が87.6%となっています。

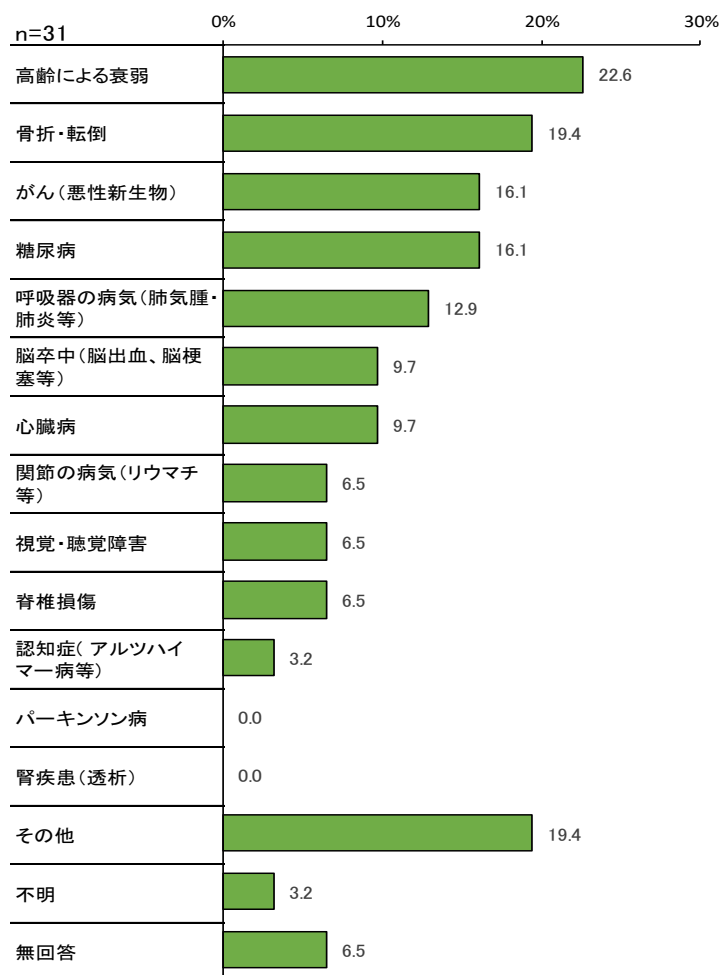


※介護・介助…入浴、排せつ、食事等の日常生活における基本的な動作について手助けすること。

問5で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護を受けている」と答えた方は以下の問5-1の質問にお答えください。

問5-1 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(〇はいくつでも)

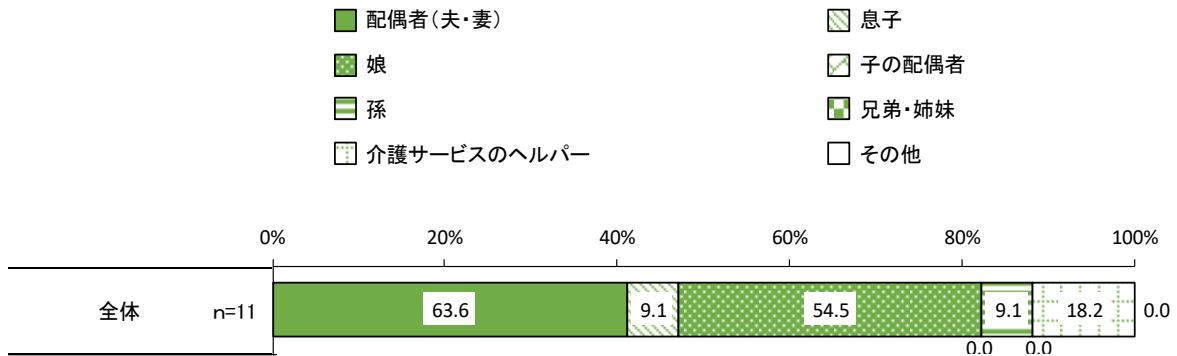
「高齢による衰弱」が22.6%で最も高く、次いで「骨折・転倒」が19.4%、「がん(悪性新生物)」「糖尿病」がそれぞれ16.1%となっています。



問5で「現在、何らかの介護を受けている」と答えた方のみ以下の問5-2・問5-3の質問にお答えください。

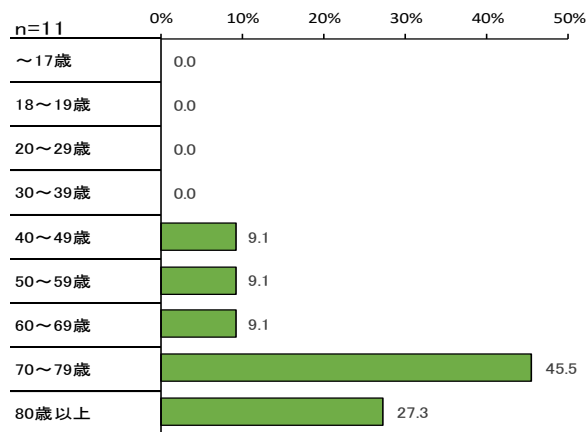
問5-2 主にどなたの介護、介助を受けていますか。(〇はいくつでも)

「配偶者(夫・妻)」が63.6%で最も高く、次いで「娘」が54.5%、「介護サービスのヘルパー」が18.2%となっています。



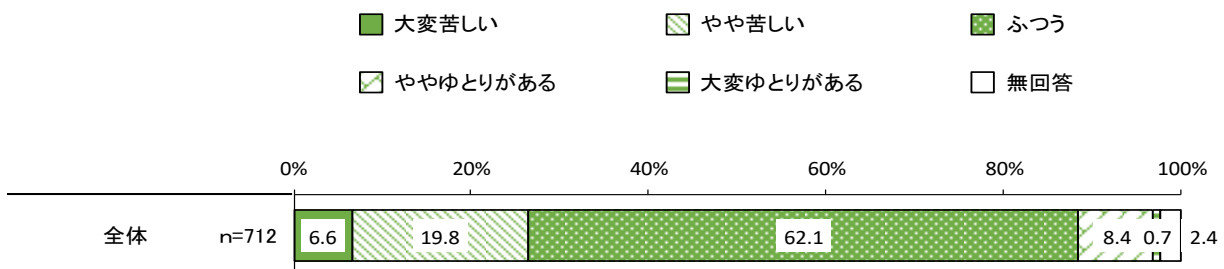
問5-3 ご家族で主に介護、介助する人はおいくつですか。(〇は1つ)

「70~79歳」が45.5%で最も高く、次いで「80歳以上」が27.3%となっています。



問6 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(〇は1つ)

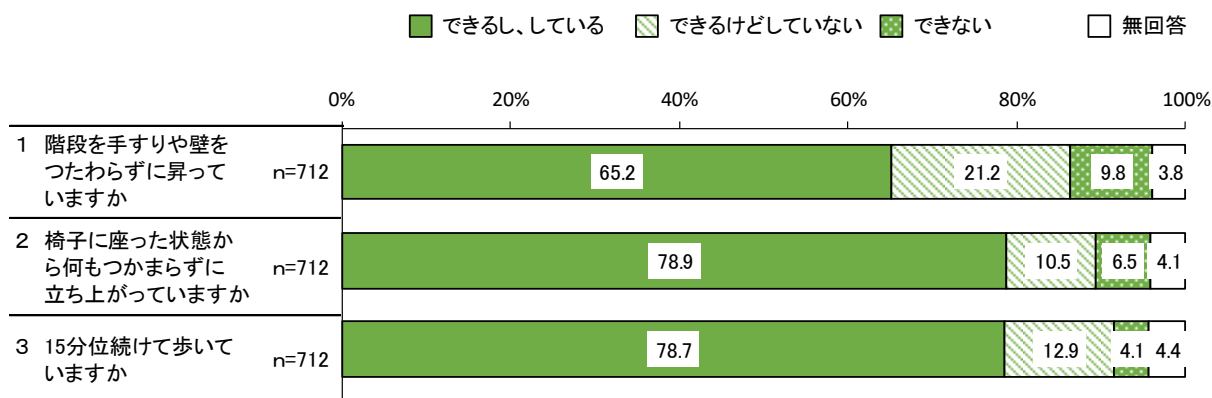
「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた『苦しい』が26.4%、「ふつう」が62.1%、「ややゆとりがある」と「大変ゆとりがある」を合わせた『ゆとりがある』が9.1%となっています。



3 からだを動かすことについて

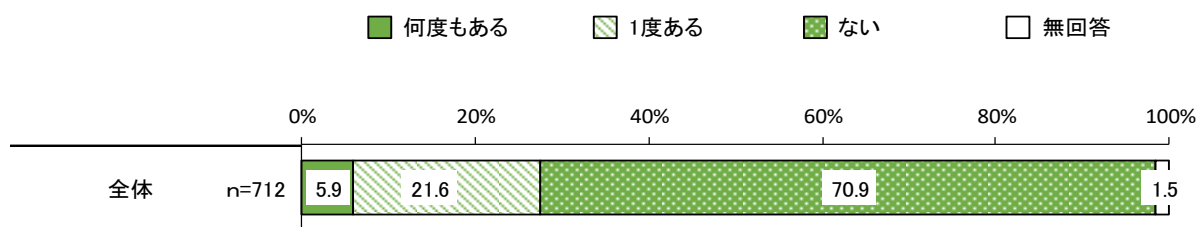
問7 運動能力や身体状況についてお答えください。(○はそれぞれ1つ)

「1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか」は、「できるし、している」(87.6%)が8割を超えています。



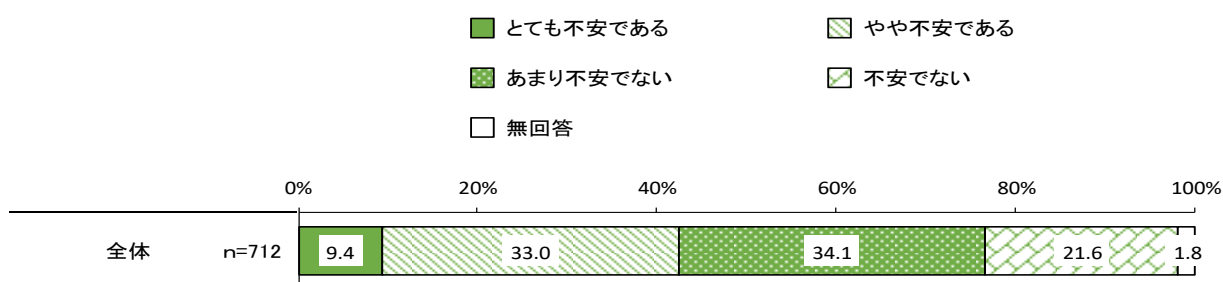
問8 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)

「何度もある」と「1度ある」を合わせた『ある』が27.5%、「ない」が70.9%となっています。



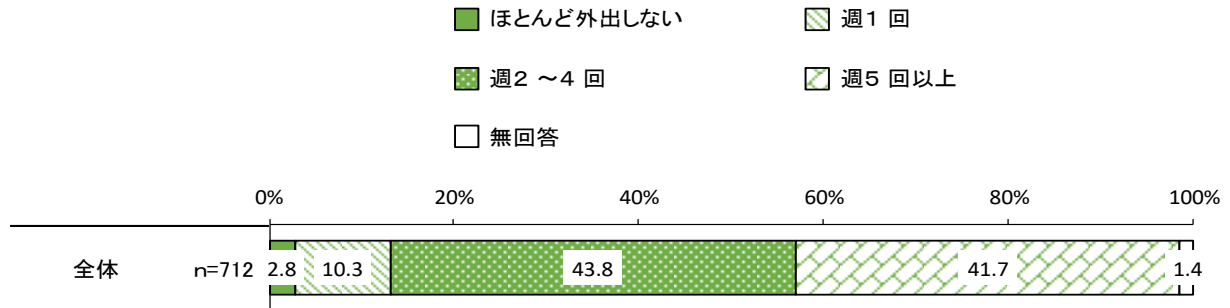
問9 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)

「とても不安である」と「やや不安である」を合わせた『不安である』が42.4%、「あまり不安でない」と「不安でない」を合わせた『不安でない』が55.7%となっています。



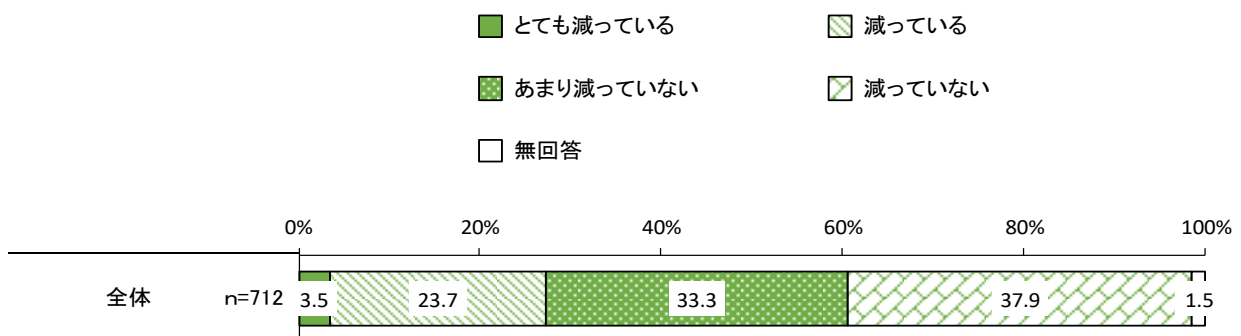
問10 週に1回以上は外出していますか。(○は1つ)

「週1回」と「週2～4回」と「週5回以上」を合わせた『週1回以上外出する』が95.8%、「ほとんど外出しない」が2.8%となっています。



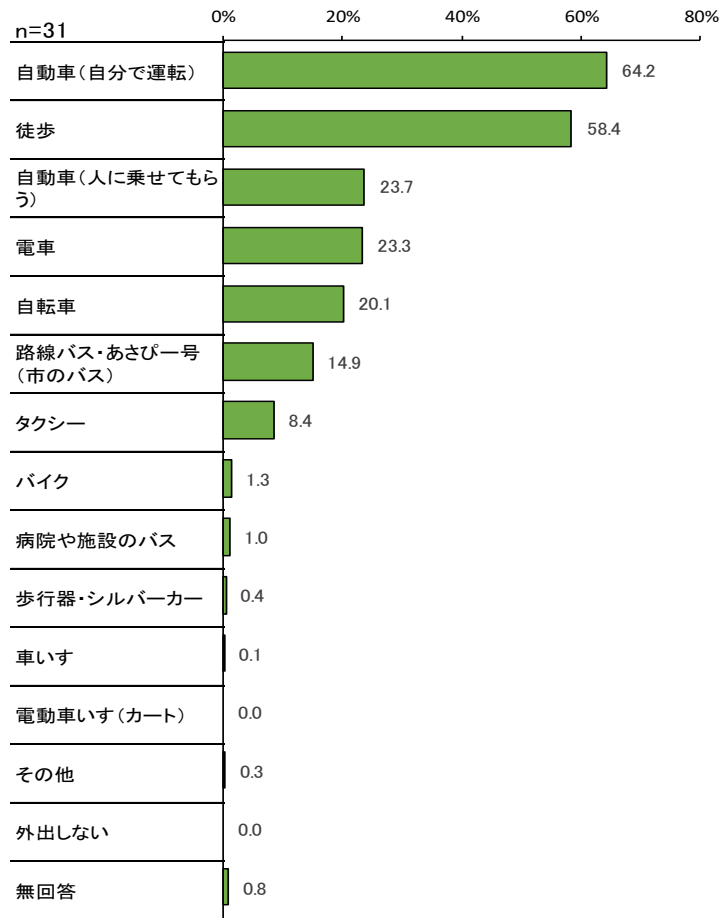
問11 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)

「とても減っている」と「減っている」を合わせた『減っている』が27.2%、「あまり減っていない」と「減っていない」を合わせた『減っていない』が71.2%となっています。



問12 外出する際の移動手段は何ですか。(〇はいくつでも)

「自動車（自分で運転）」が64.2%で最も高く、次いで「徒歩」が58.4%、「自動車（人に乗せてもらう）」が23.7%となっています。

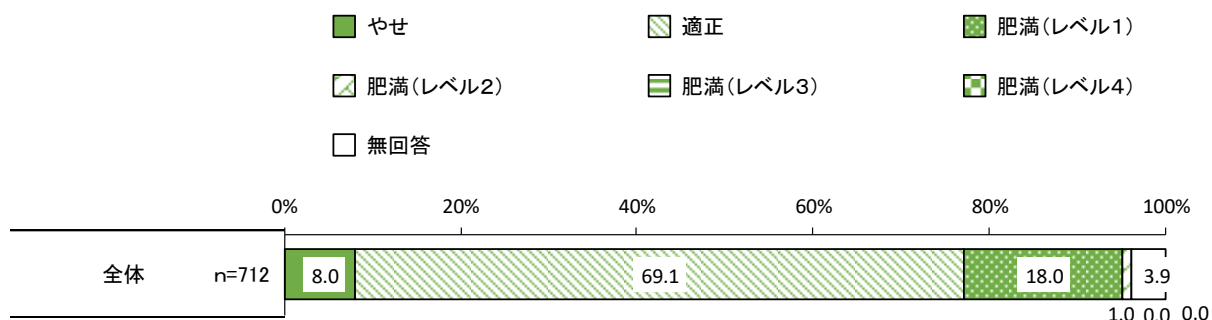


4 食べることについて

問13 現在のあなたの身長と体重を教えてください。（数字を記入）

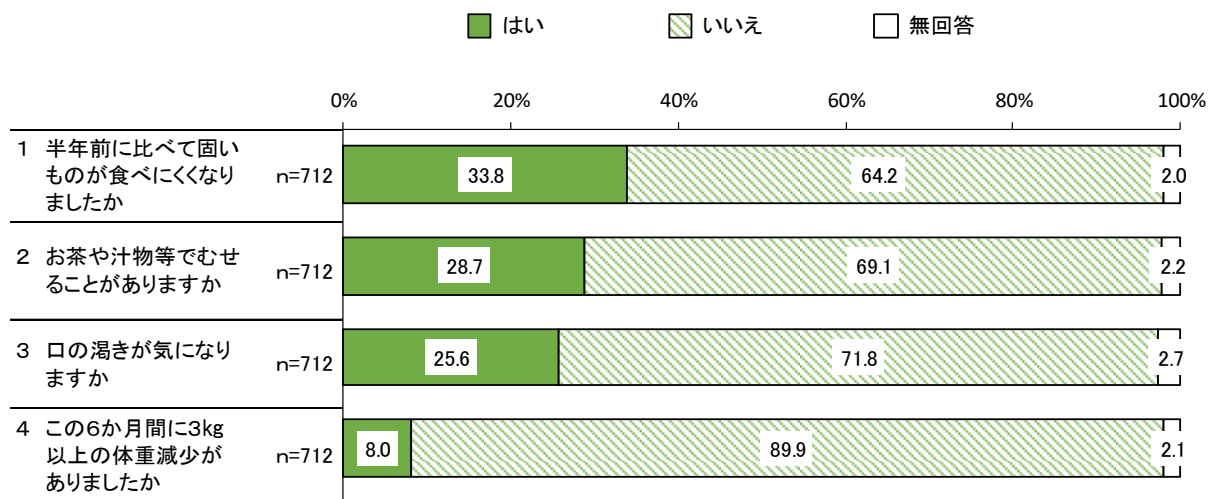
【BMI】

「適正」が69.1%で最も高く、次いで「肥満（レベル1）」が18.0%、「やせ」が8.0%となっています。



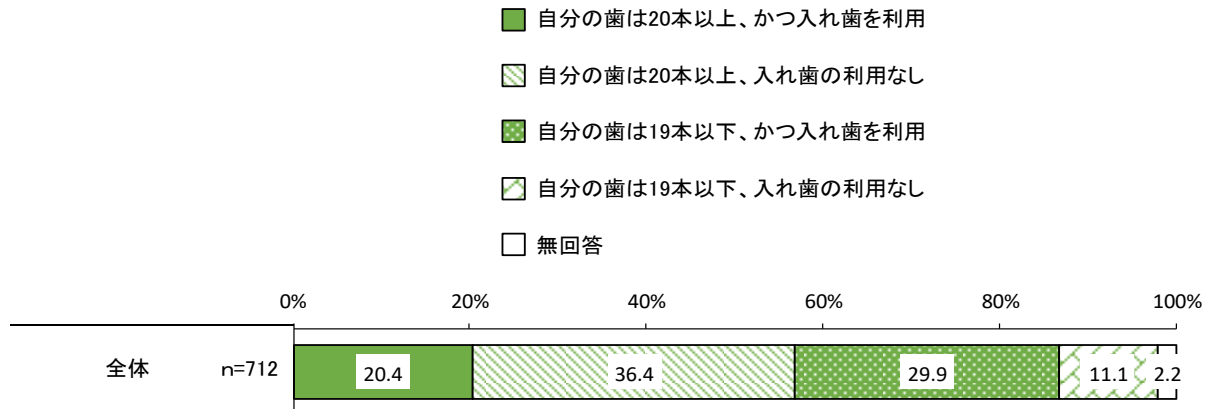
問14 歯や口の健康状態及び体重の変化について、それぞれ「はい」か「いいえ」に○をつけてください。

「1 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか」は、「はい」（33.8%）が3割を超えています。



問15 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(○は1つ)

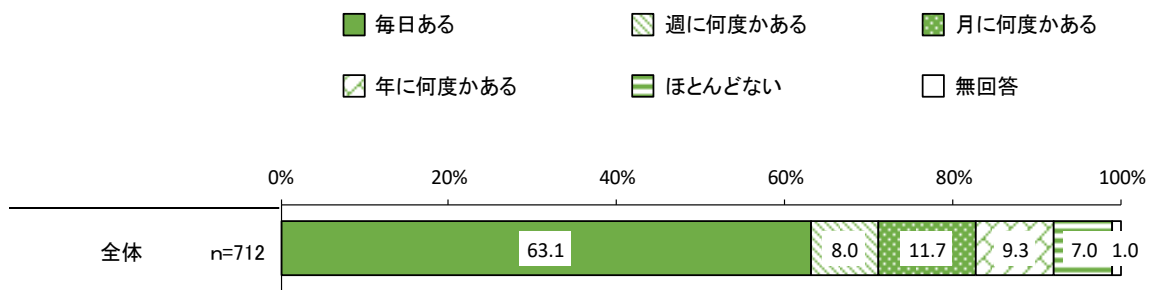
「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が36.4%で最も高く、次いで「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が29.9%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が20.4%となっています。



※成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。

問16 どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(○は1つ)

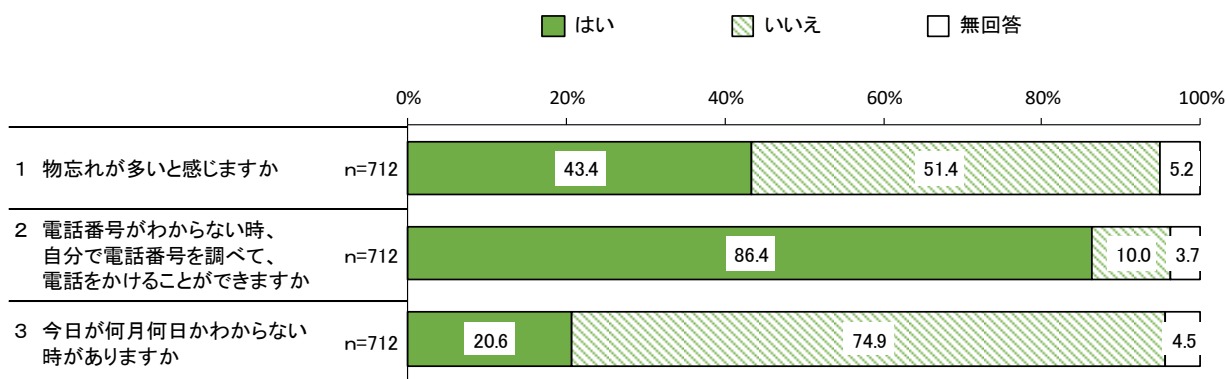
「毎日ある」と「週に何度かある」「月に何度かある」と「年に何度かある」を合わせた『ある』が92.1%、「ほとんどない」が7.0%となっています。



5 毎日の生活について

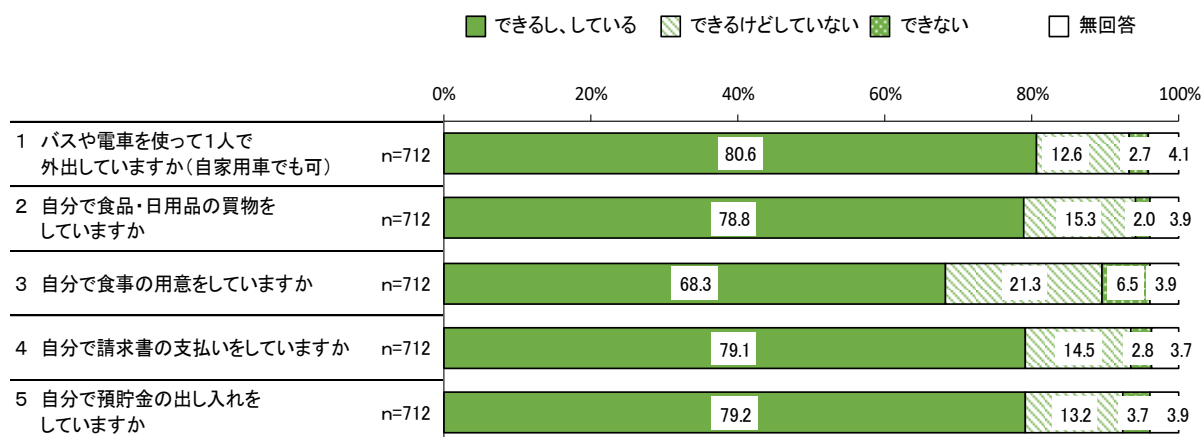
問17 日常生活での物忘れについて、それぞれ「はい」か「いいえ」に○をつけてください。

「2 電話番号がわからない時、自分で電話番号を調べて、電話をかけることができますか」は、「はい」(86.4%)が8割を超えています。



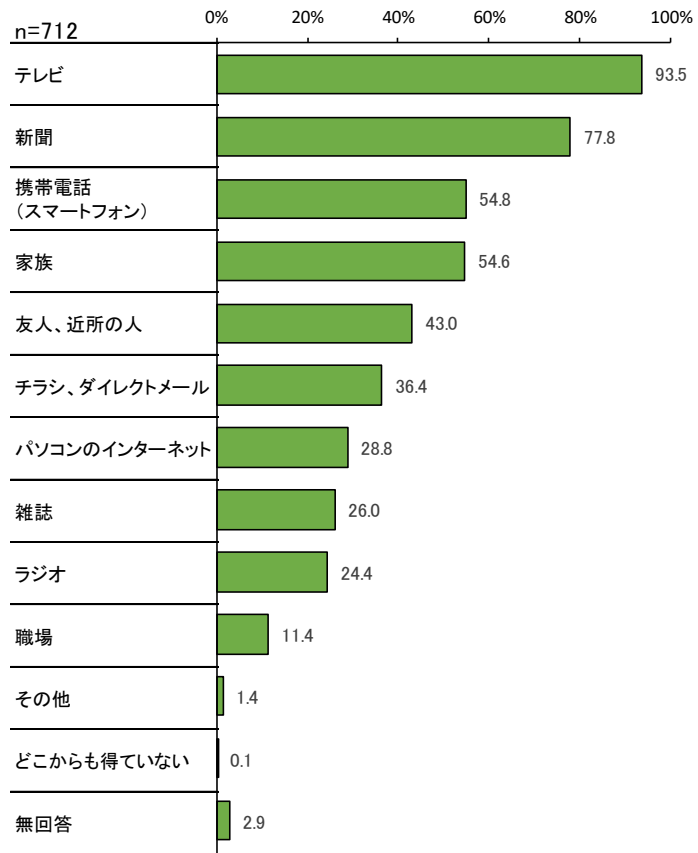
問18 日常生活での活動や行動について、それぞれあてはまるものに○をつけてください。

「1 バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)」は、「できるし、している」(80.6%)が8割を超えています。また、「3 自分で食事の用意をしていますか」は、「できるけどしていない」(21.3%)が2割を超えています。



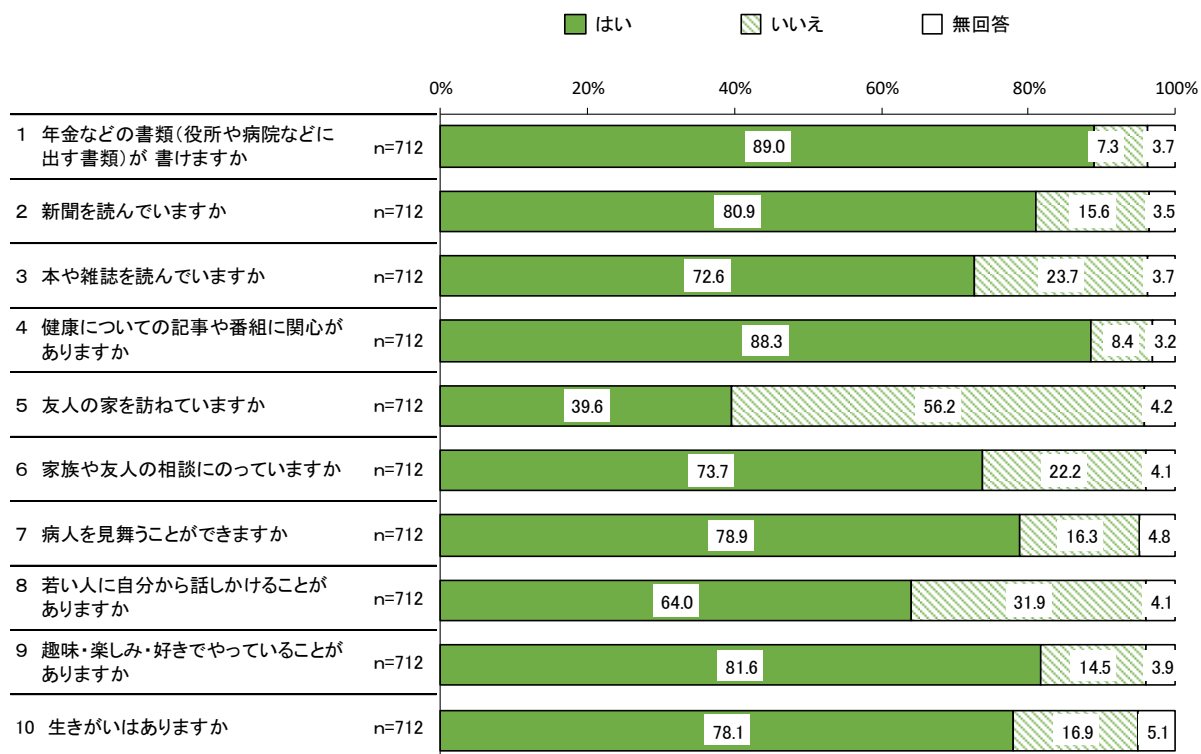
問19 日常生活に関する情報をどこから得ていますか。(〇はいくつでも)

「テレビ」が93.5%で最も高く、次いで「新聞」が77.8%、「携帯電話(スマートフォン)」が54.8%となっています。



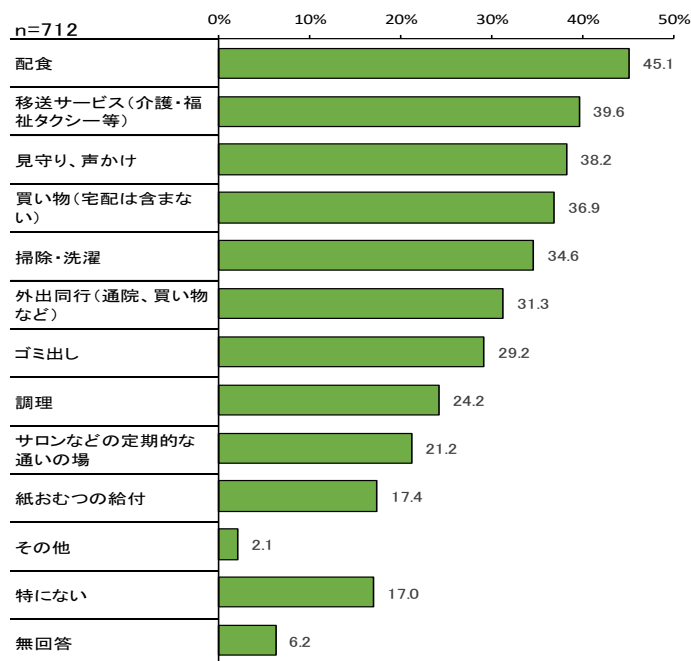
問20 社会との関わりについて、それぞれ「はい」か「いいえ」に○をつけてください。

「1 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか」（89.0%）、「2 新聞を読んでいますか」（80.9%）、「4 健康についての記事や番組に関心がありますか」（88.3%）、「9 趣味・楽しみ・好きでやっていることがありますか」（81.6%）、は、「はい」が8割を超えています。



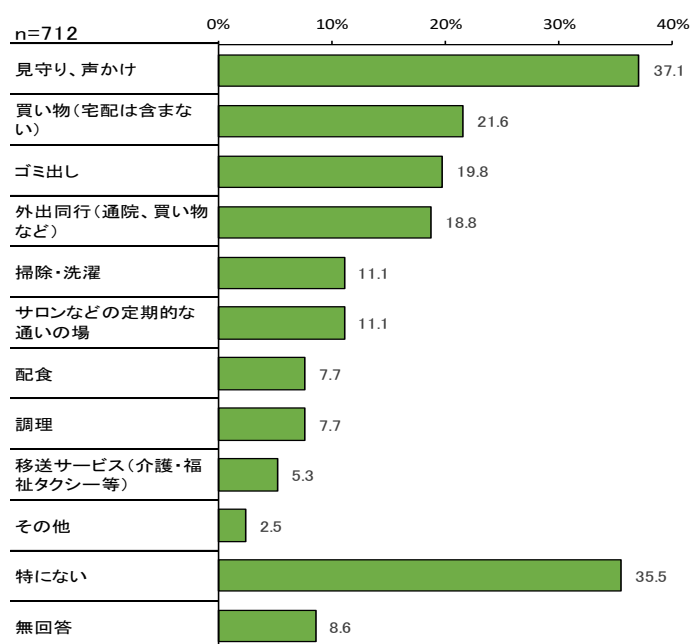
問21 今後の高齢者の在宅生活の継続に必要だと感じる支援・サービスについてお答えください。（〇はいくつでも）

「配食」が45.1%で最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が39.6%、「見守り、声かけ」が38.2%となっています。



問22 問21で示した支援・サービスのなかで、あなた自身が支援する側としてできる・やってみたいと思うものをお答えください。（〇はいくつでも）

「声かけ、見守り」が37.1%で最も高く、「買い物（宅配は含まない）」が21.6%、「ゴミ出し」が19.8%となっています。一方、「特にない」は35.5%となっています。



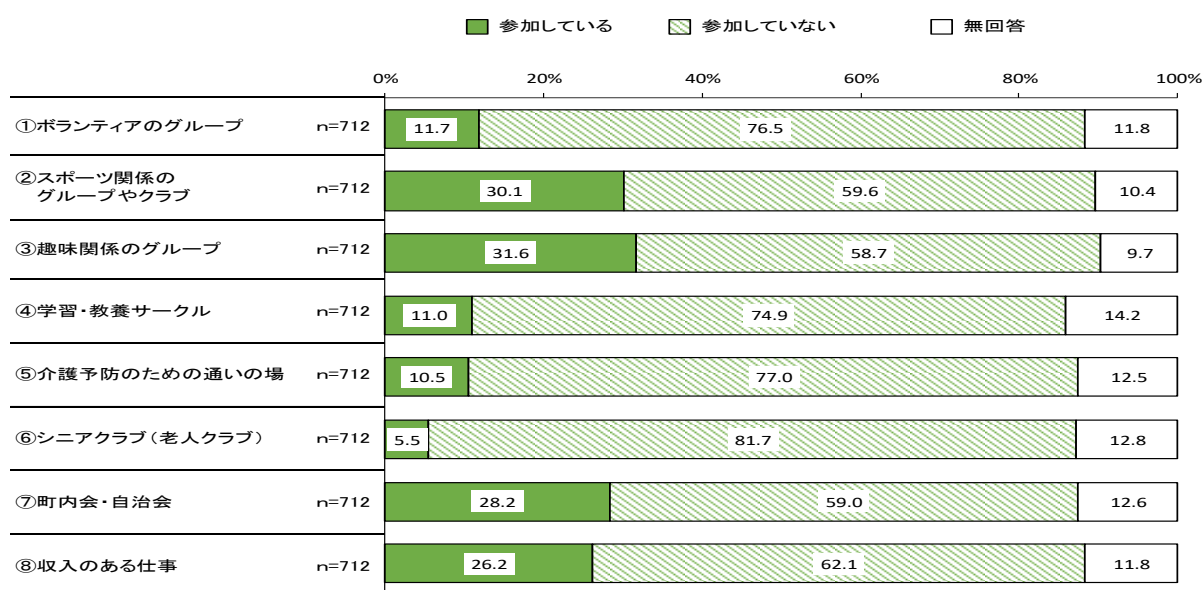
6 地域での活動について

問23 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
(○はそれぞれ1つ)

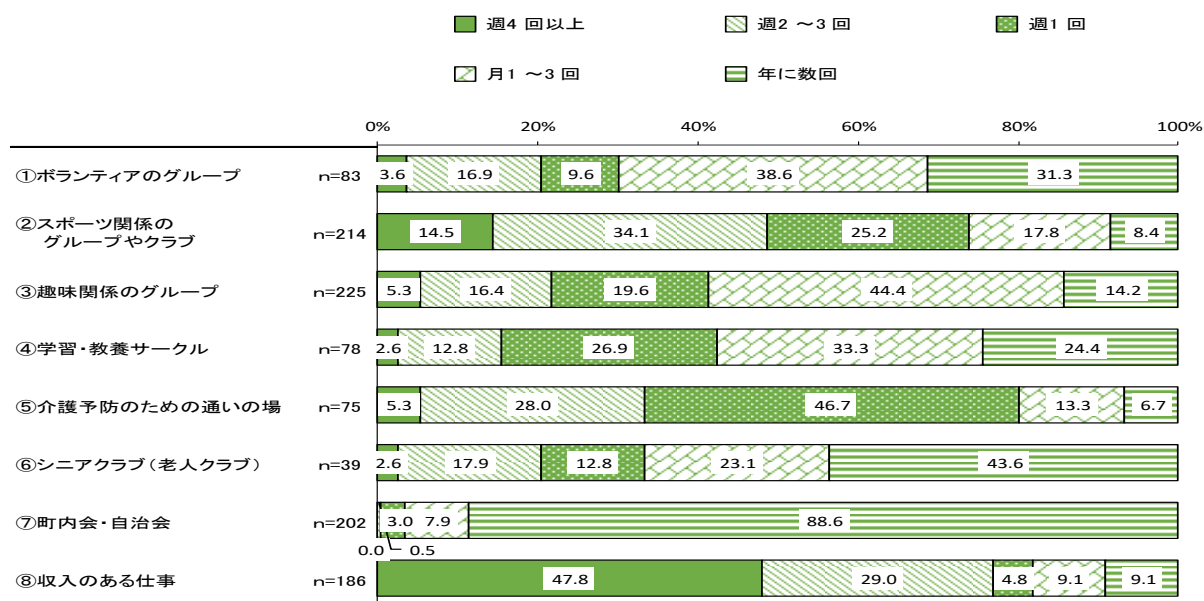
「②スポーツ関係のグループやクラブ」「③趣味関係のグループ」は、「参加している」が3割を超えています。

参加している方の参加頻度は、「⑦町内会・自治会」は、「年に数回」が8割を超えています。また、「⑧収入のある仕事」は「週4回以上」(47.8%)で割合が高くなっています。

【参加状況】

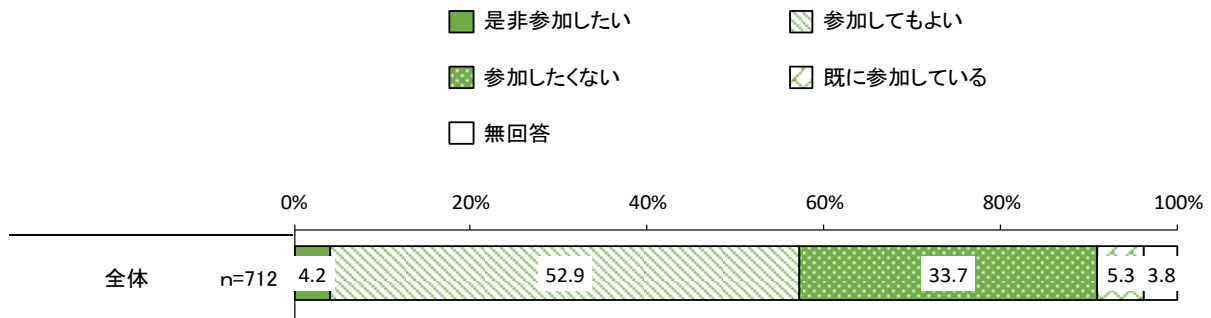


【参加頻度】



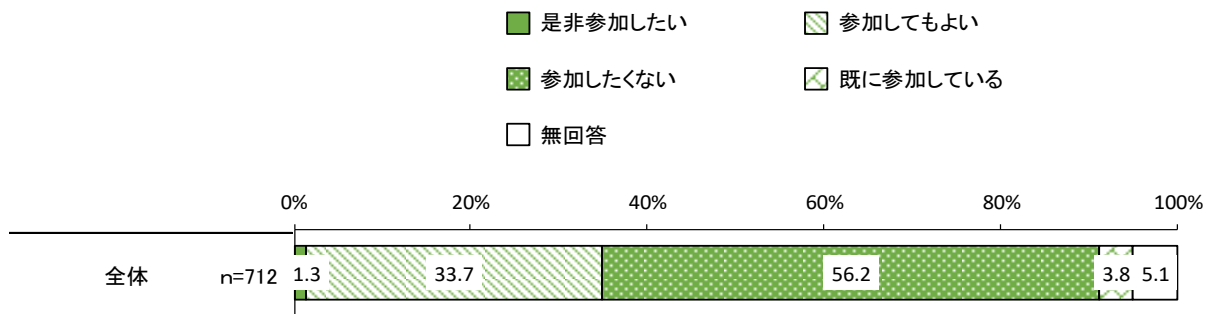
問24 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に**参加者として**参加してみたいと思いますか。（○は1つ）

「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせた『参加意向あり』が57.1%、「参加したくない」が33.7%となっています。



問25 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に**企画・運営（お世話役）として**参加してみたいと思いますか。（○は1つ）

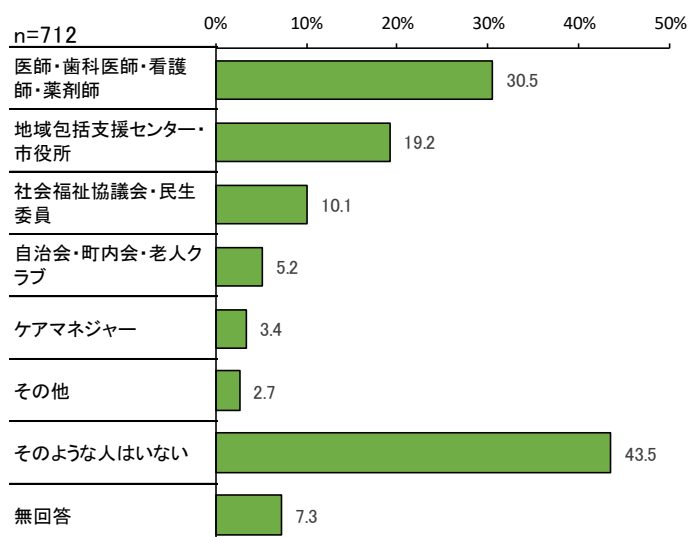
「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせた『参加意向あり』が35.0%、「参加したくない」が56.2%となっています。



7 たすけあいについて

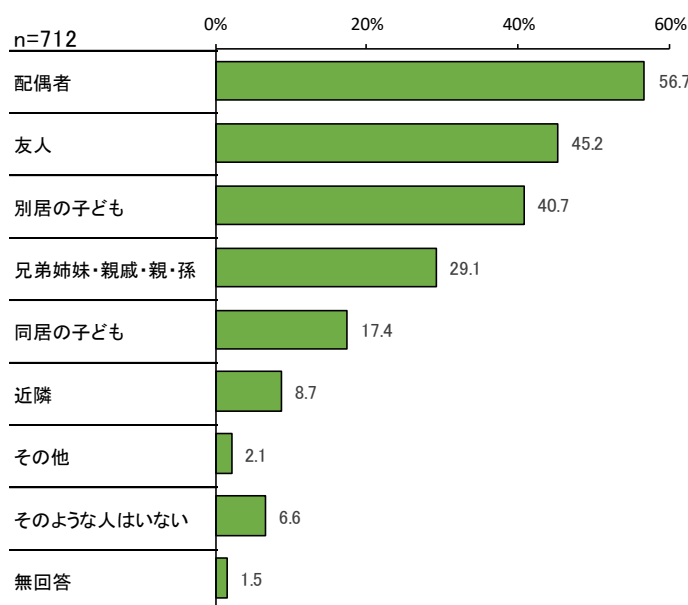
問26 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。
(○はいくつでも)

「医師・歯科医師・看護師・薬剤師」が 30.5%、「地域包括支援センター・市役所」が 19.2%、「社会福祉協議会・民生委員」が 10.1%となっています。一方、「そのような人はいない」は 43.5%で最も高くなっています。



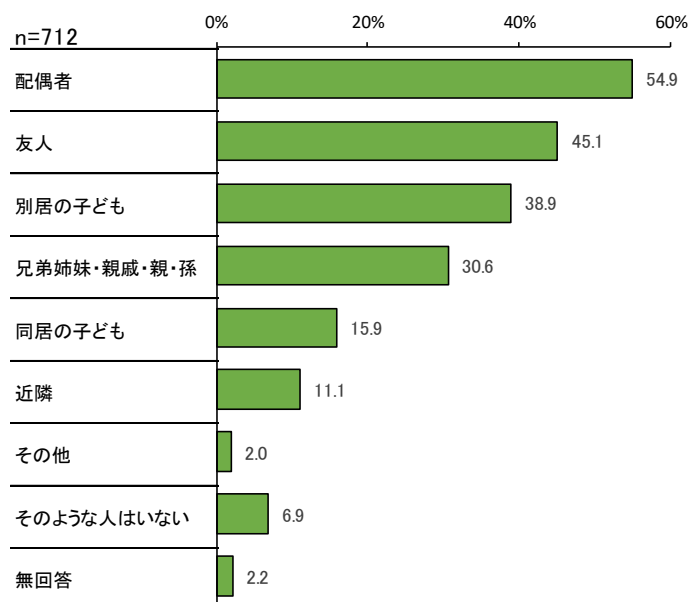
問27 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はいますか。
(○はいくつでも)

「配偶者」が 56.7%で最も高く、次いで「友人」が 45.2%、「別居の子ども」が 40.7%となっています。



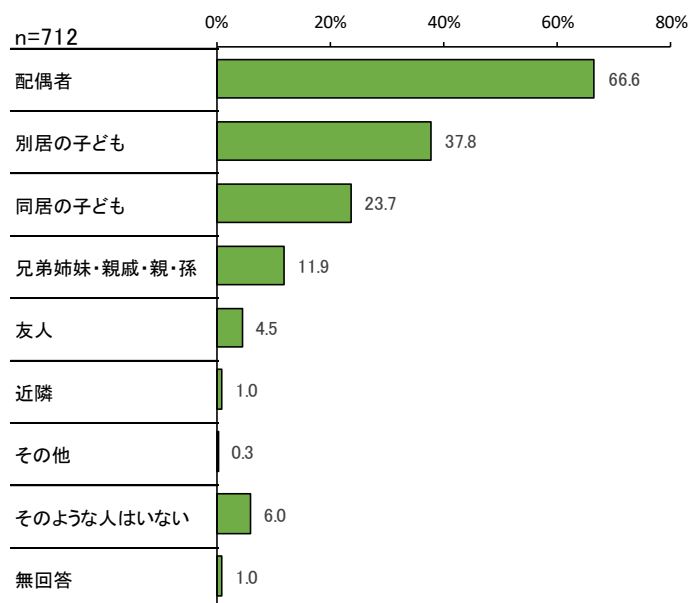
問28 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人はいますか。
 (○はいいくつでも)

「配偶者」が 54.9%で最も高く、次いで「友人」が 45.1%、「別居の子ども」が 38.9%となっています。



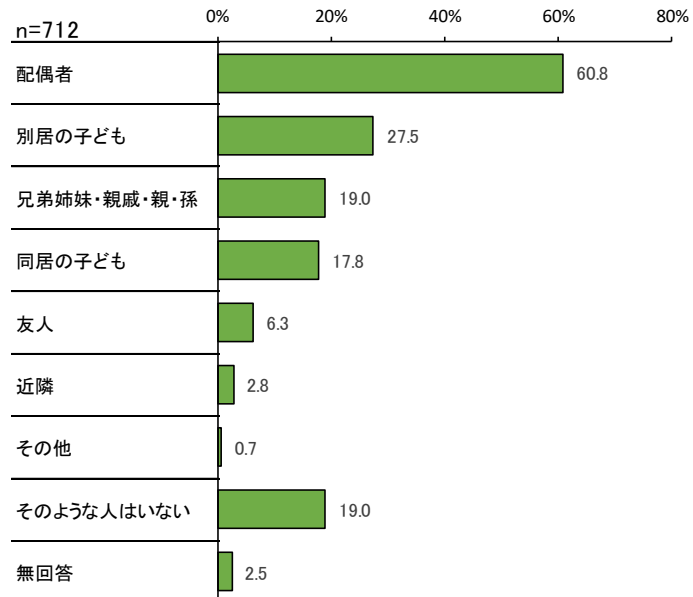
問29 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はいますか。
 (○はいいくつでも)

「配偶者」が 66.6%で最も高く、次いで「別居の子ども」が 37.8%、「同居の子ども」が 23.7%となっています。



問30 反対に、看病や世話をしてあげる人はいますか。(〇はいくつでも)

「配偶者」が60.8%で最も高く、次いで「別居の子ども」が27.5%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が19.0%となっています。



8 あなたの健康について

問31 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

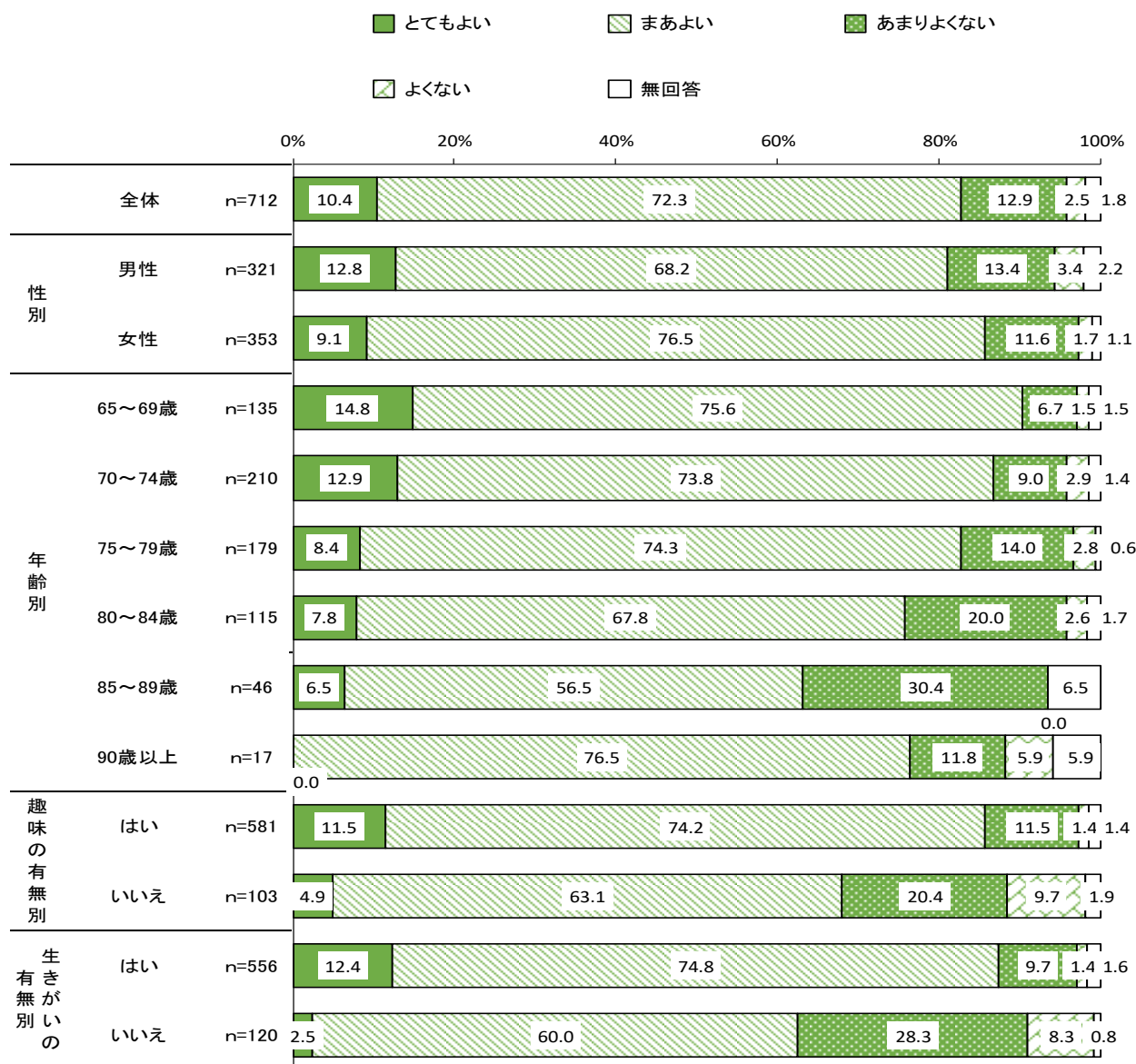
「とてもよい」と「まあよい」を合わせた『よい』が82.7%、「あまりよくない」と「よくない」を合わせた『よくない』が15.4%となっています。

性別では、大きな差異はみられません。

年齢別では、65～69歳で『よい』(90.4%)の割合が高くなっています。

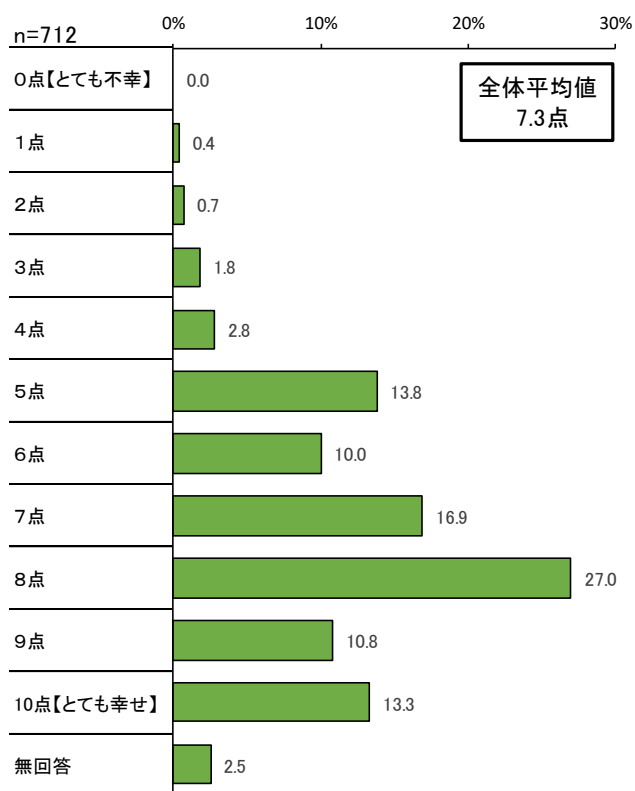
趣味の有無別では、「はい」で『よい』が85.7%と、「いいえ」と比べて17.7ポイント高くなっています。

生きがいの有無別では、「いいえ」で『よくない』が36.6%と、「はい」と比べて25.5ポイント高くなっています。



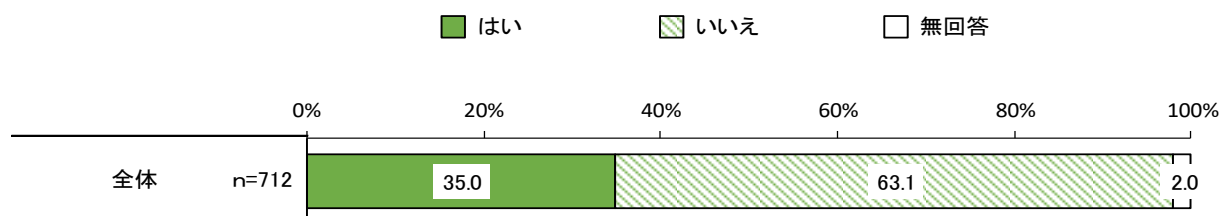
問32 あなたは、現在どの程度幸せですか。「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、該当する点数に○を1つつけてください。

「8点」が27.0%で最も高く、次いで「7点」が16.9%、「5点」が13.8%となっています。なお、全体の平均値は7.3点（「無回答」を除いた平均）となっています。



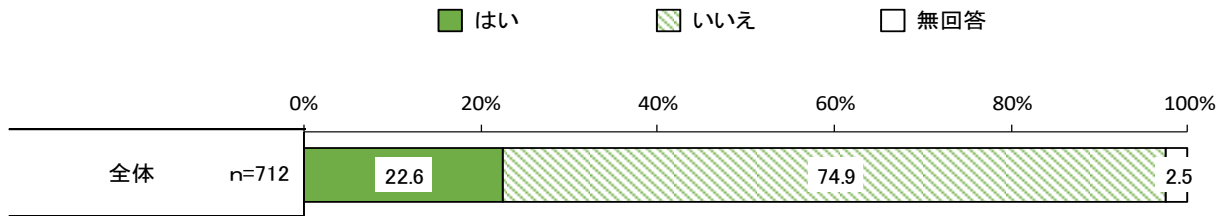
問33 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。（○は1つ）

「はい」が35.0%、「いいえ」が63.1%となっています。



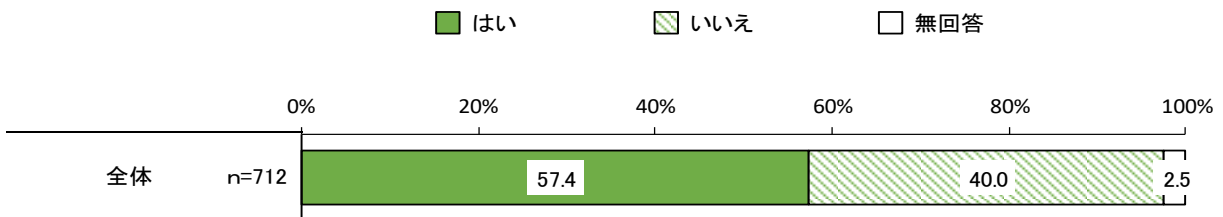
問34 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つ)

「はい」が22.6%、「いいえ」が74.9%となっています。



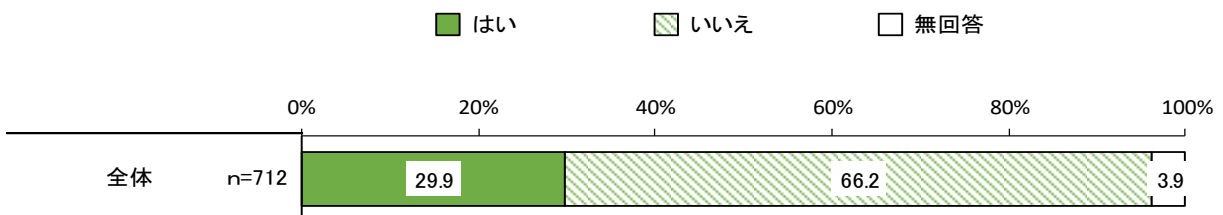
問35 以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられることがありますか。(○は1つ)

「はい」が57.4%、「いいえ」が40.0%となっています。



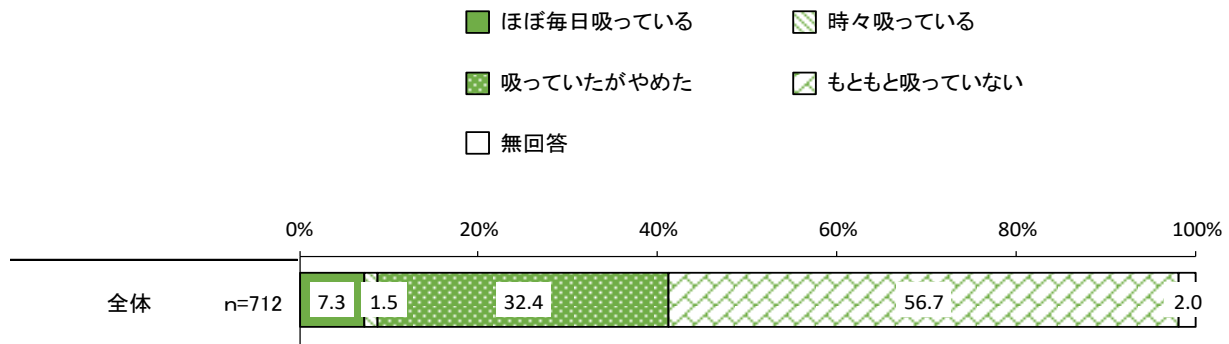
問36 自分が役に立つ人間だと思えないことがありますか(○は1つ)

「はい」が29.9%、「いいえ」が66.2%となっています。



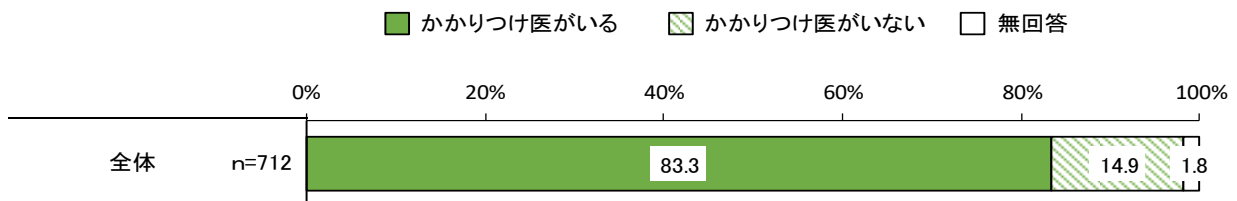
問37 タバコは吸っていますか。(○は1つ)

「ほぼ吸っている」と「時々吸っている」を合わせた『吸っている』が8.8%、「吸っていたがやめた」が32.4%、「もともと吸っていない」が56.7%となっています。



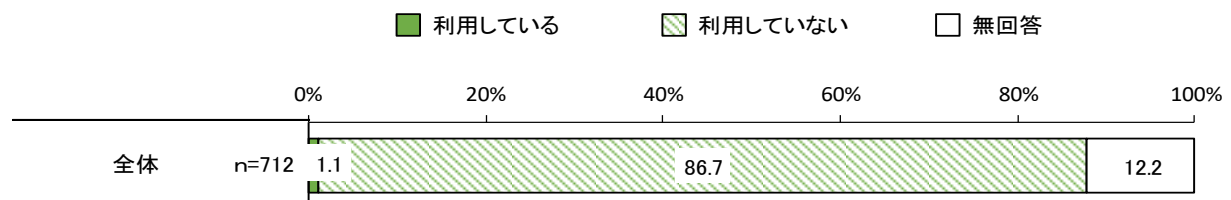
問38 日ごろから治療や指導を受けたり、健康について相談できる「かかりつけ医」はいますか。(○は1つ)

「かかりつけ医がいる」が83.3%、「かかりつけ医がない」が14.9%となっています。



問39 現在、訪問診療（医師の訪問）を利用していますか。(○は1つ)

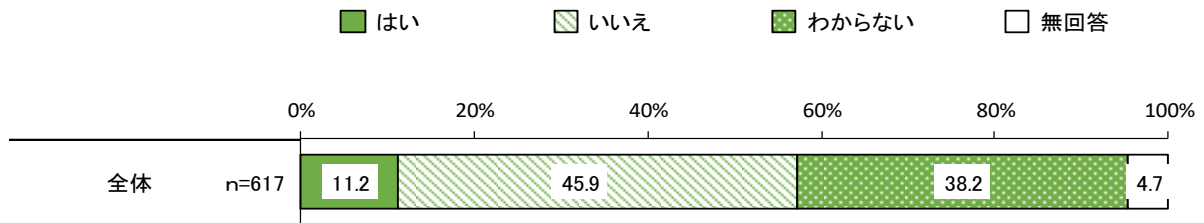
「利用している」が1.1%、「利用していない」が86.7%となっています。



問39-1 問39で「利用していない」と答えた方にお伺いします。

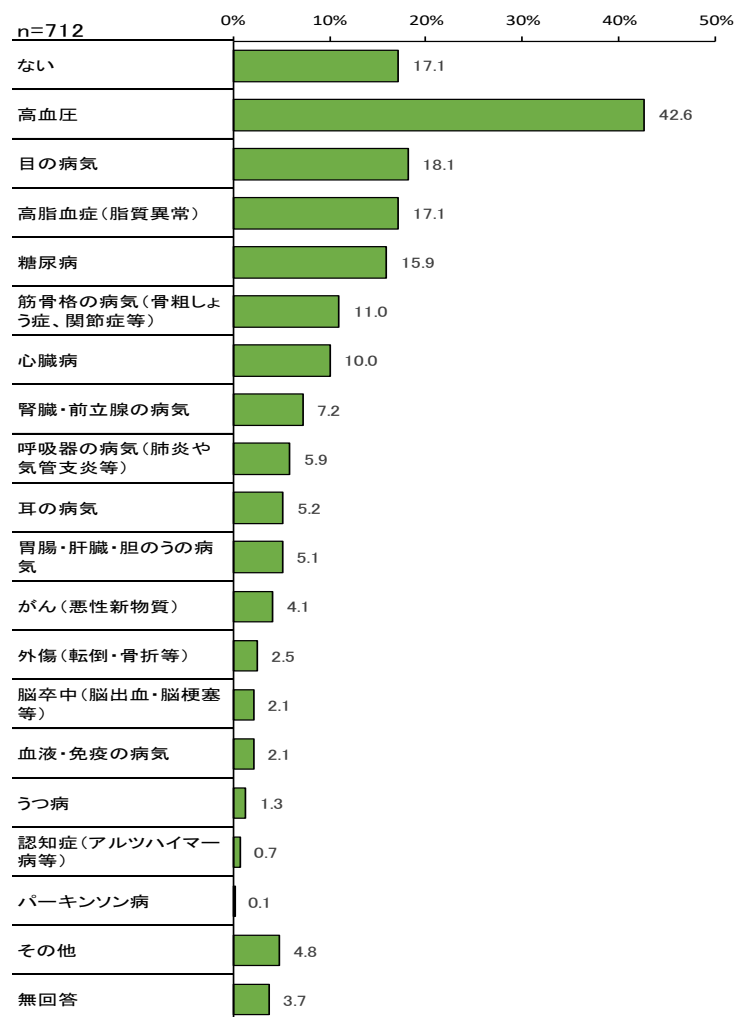
訪問診療（医師の訪問）を利用したいと思いませんか。（○は1つ）

「はい」が11.2%、「いいえ」が45.9%、「わからない」が38.2%となっています。



問40 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。（○はいくつでも）

「高血圧」が42.6%で最も高く、次いで「目の病気」が18.1%、「高脂血症（脂質異常）」が17.1%となっています。一方、「ない」は17.1%となっています。



【性別・年齢別】

性別では、男女ともに「高血圧」が最も高くなっています。

年齢別では、80～84歳で「高血圧」（52.2%）の割合が高くなっています。また、85～89歳で「目の病気」（28.3%）の割合が高くなっています。

単位：%

	全体 (件)	ない	高血圧	脳卒中 (脳出血・脳梗 塞等)	心臓 病	糖 尿 病	高 脂 血 症 (脂 質 異 常)	呼 吸 器 の 病 気 (肺 炎 や 気 管 支 炎 等)	胃 腸 ・ 肝 臓 ・ 胆 の う の 病 気	腎 臓 ・ 前 立 腺 の 病 気	筋 骨 格 の 病 気 (骨 粗 鬆 症 、 関 節 症 等)
性別											
男性	321	13.4	44.9	2.5	15.3	22.4	15.3	8.7	6.5	14.0	3.7
女性	353	20.7	39.9	1.7	5.7	9.6	19.3	3.7	4.0	1.1	17.6
年齢別											
65～69歳	135	21.5	32.6	0.0	4.4	14.8	21.5	6.7	3.7	3.7	7.4
70～74歳	210	24.3	38.1	2.9	10.0	16.7	18.6	3.8	4.3	5.7	7.6
75～79歳	179	14.5	49.7	1.1	11.7	16.2	16.8	5.6	3.4	7.3	16.2
80～84歳	115	5.2	52.2	3.5	10.4	20.0	13.9	8.7	8.7	12.2	15.7
85～89歳	46	15.2	47.8	4.3	19.6	4.3	15.2	8.7	10.9	8.7	8.7
90歳以上	17	11.8	29.4	0.0	11.8	11.8	0.0	5.9	5.9	5.9	0.0
	全体 (件)	外傷 (転倒・骨折等)	がん (悪性新物質)	血液・免疫の 病気	うつ 病	認知症 (アルツ ハイ マー病等)	パー キン ソン 病	目 の 病 気	耳 の 病 気	そ の 他	無 回 答
性別											
男性	321	1.9	5.3	1.6	0.6	1.2	0.3	19.9	5.3	3.7	4.4
女性	353	3.1	3.1	2.8	2.0	0.0	0.0	17.3	5.4	5.9	2.8
年齢別											
65～69歳	135	0.7	1.5	3.0	3.0	0.0	0.0	15.6	6.7	4.4	3.0
70～74歳	210	1.4	6.2	2.9	1.4	0.0	0.5	13.8	2.4	4.8	3.8
75～79歳	179	3.9	3.9	2.2	0.6	0.0	0.0	19.0	2.8	6.1	3.9
80～84歳	115	2.6	4.3	0.9	0.9	1.7	0.0	23.5	7.8	5.2	0.9
85～89歳	46	6.5	4.3	0.0	0.0	2.2	0.0	28.3	15.2	0.0	6.5
90歳以上	17	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	29.4	11.8	5.9	5.9

機能別リスク該当者割合の分析

市の指標に基づき分析した内容は次のとおりです。

(1) 運動器

調査票の以下の設問を抽出し、5項目のうち3項目以上に該当する人を運動器の機能低下リスク該当者と判定しました。

【判定設問】

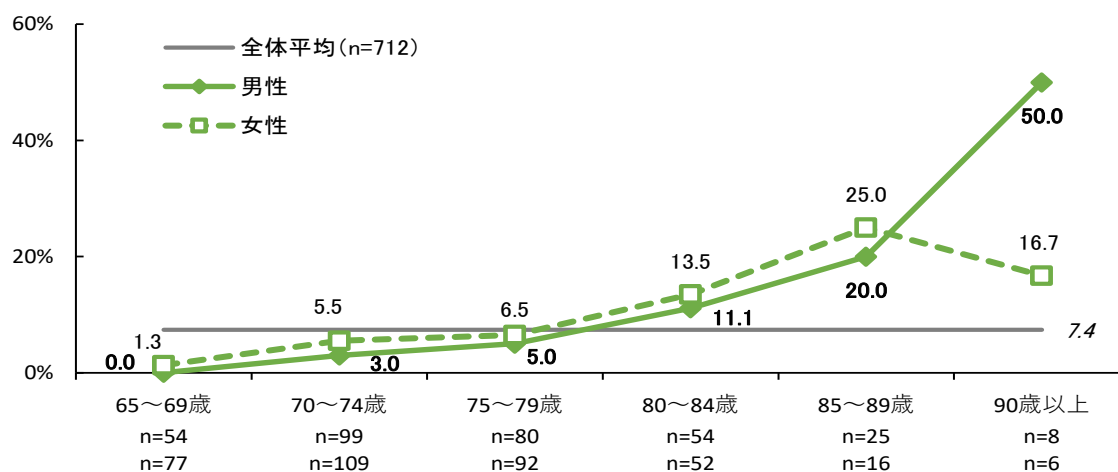
問番号	設問	該当する選択肢
問7 1	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	3. できない
問7 2	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	3. できない
問7 3	15分くらい続けて歩いていますか。	3. できない
問8	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある
問9	転倒に対する不安は大きいですか。	1. とても不安である 2. やや不安である

【リスク該当状況】

運動器の評価結果をみると、全体平均で7.4%が運動器の機能低下リスク該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、80～84歳で全体平均を上回り、85～89歳では25.0%と80～84歳に比べ11.5ポイント増加しています。男性では、80～84歳で11.1%と全体平均を上回り、85～89歳では20.0%と80～84歳に比べ8.9ポイント増加、90歳以上では50.0%と85～89歳に比べて30ポイント増加しています。

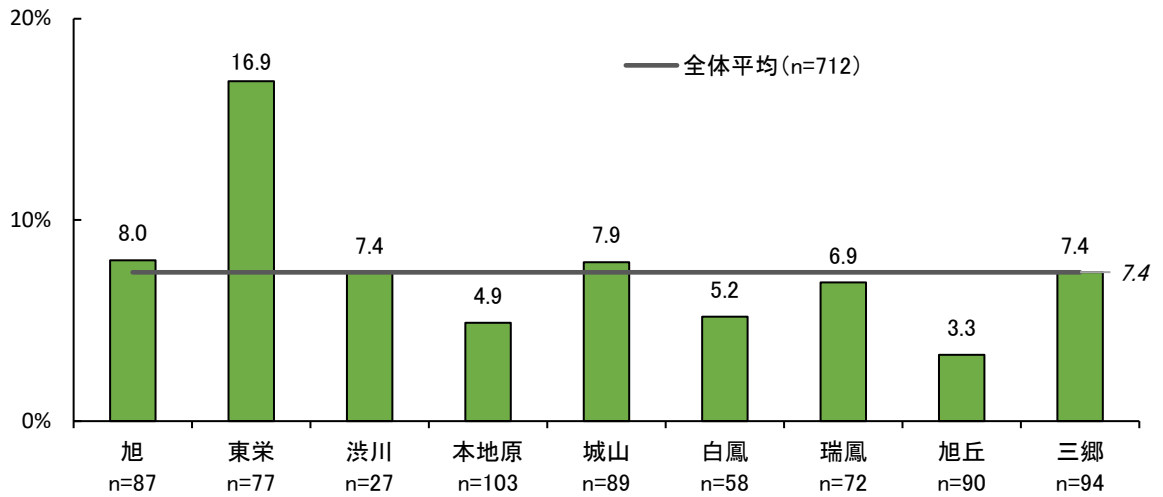
【性別・年代別】



小学校区別にみると、旭、東栄、渋川、城山、三郷で該当者割合が全体平均の7.4%を超えています。

また、最も高い小学校区は東栄で16.9%、最も低い小学校区は旭丘で3.3%となっており、13.6ポイントの差となっています。

【小学校区別】



(2) 栄養

調査票の以下の設問を抽出し、2項目のすべてに該当する人を低栄養のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

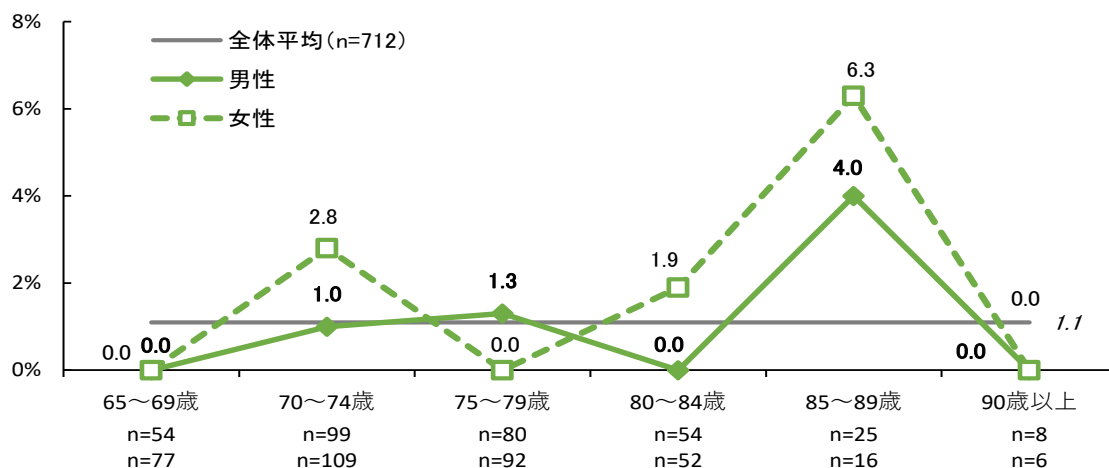
問番号	設問	該当する選択肢
問14 4	この6か月間に3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい
問13	身長・体重	BMI 18.5未満

【リスク該当状況】

栄養の評価結果をみると、全体平均で1.1%が低栄養のリスク該当者となっています。

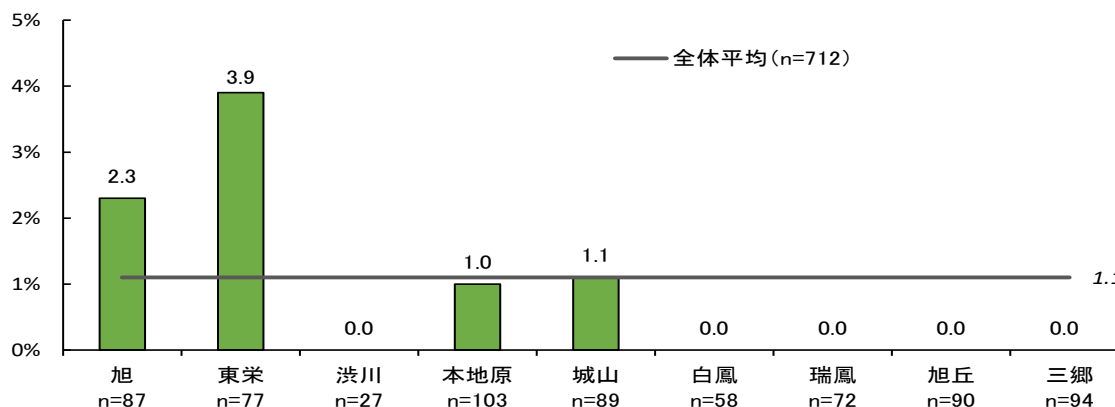
性別・年齢階級別にみると、男女ともに85～89歳が最も高く、女性で6.3%、男性で4.0%となっています。

【性別・年代別】



小学校区別にみると、旭、東栄、城山で該当者割合が全体平均の1.1%を超えています。また、最も高い小学校区は東栄で3.9%となっています。

【小学校区別】



(3) 口腔

調査票の以下の設問を抽出し、3項目のすべてに該当する人を口腔機能低下のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

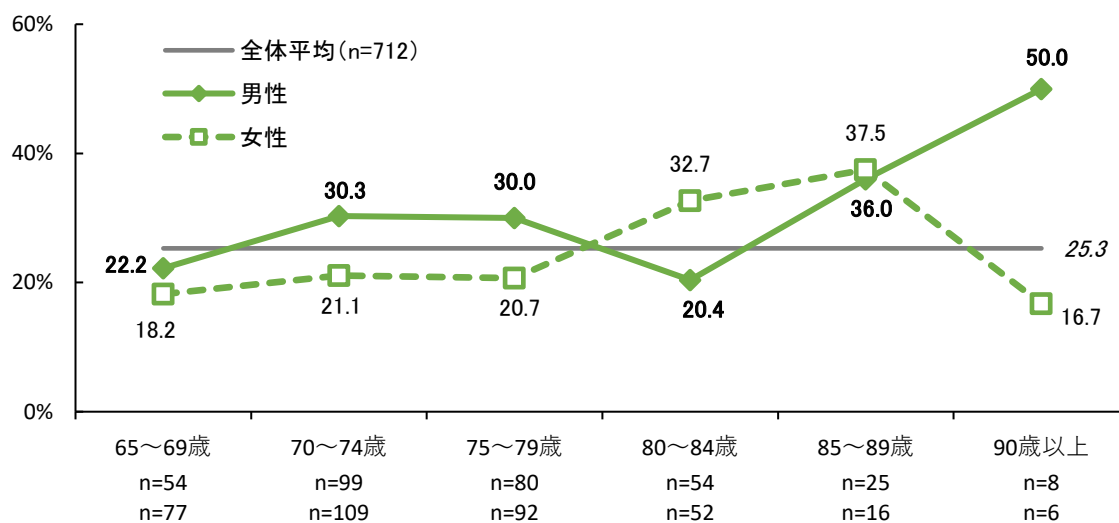
問番号	設問	該当する選択肢
14 1	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい
14 2	お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい
14 3	口の渇きが気になりますか	1. はい

【リスク該当状況】

口腔の評価結果をみると、全体平均で 25.3%が口腔機能低下のリスク該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、80～84歳・85～89歳で全体平均を上回り、85～89歳が 37.5%と最も高くなっています。男性では、65～69歳・80～84歳以外は全体平均を上回り、90歳以上で 50.0%と最も高くなっています。

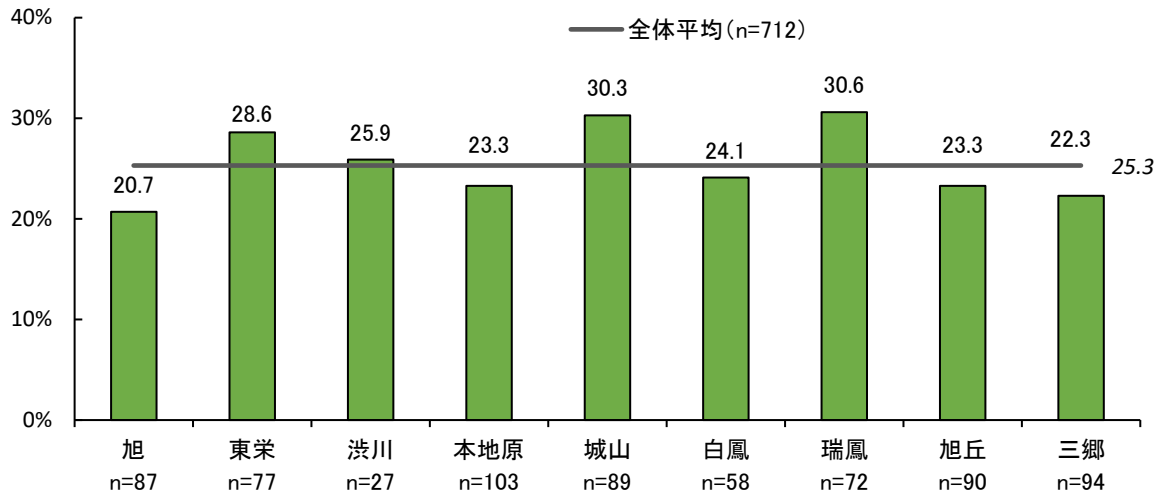
【性別・年代別】



小学校区別にみると、東栄、渋川、城山、瑞鳳で該当者割合が全体平均の 25.3%を超えています。

また、最も高い小学校区は瑞鳳で 30.6%、最も低い小学校区は本地原と旭で 20.7%となっており、9.9 ポイントの差となっています。

【小学校区別】



(4) 閉じこもり

調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を閉じこもり傾向ありのリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

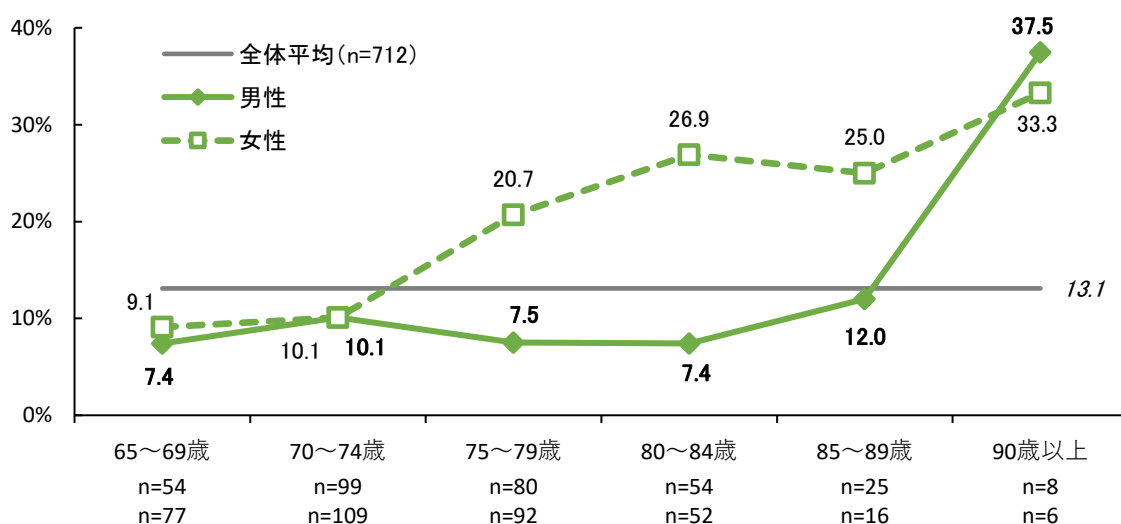
問番号	設問	該当する選択肢
問10	週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない

【リスク該当状況】

閉じこもりの評価結果をみると、全体平均で13.1%が閉じこもり傾向ありのリスク該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、75～79歳で全体平均を上回り、80～84歳では26.9%と75～79歳に比べ6.2ポイント増加しています。男性では、85～89歳までは全体平均以内で横ばい推移し、90歳以上では37.5%と全体平均を大きく上回っています。

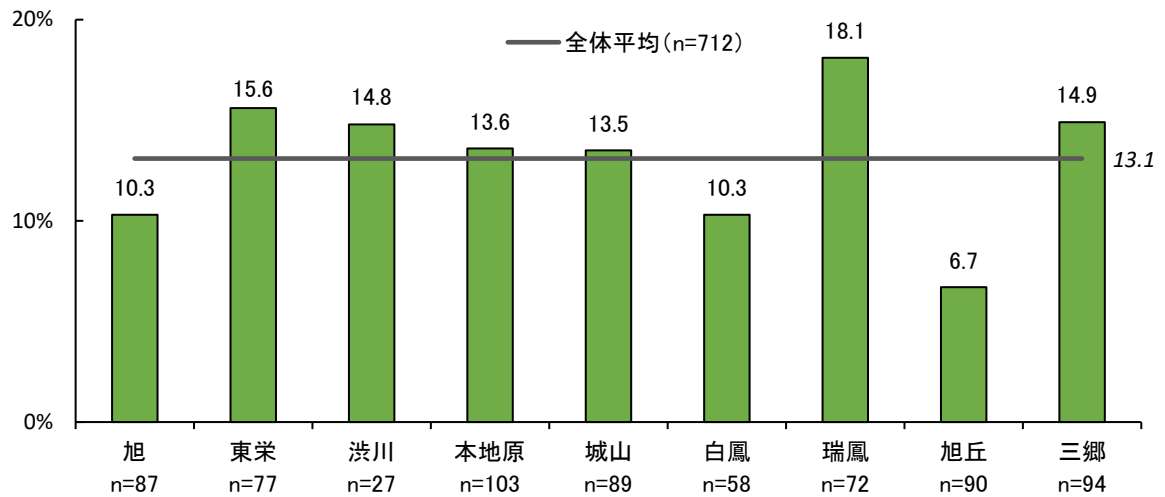
【性別・年代別】



小学校区別にみると、東栄、渋川、本地原、城山、瑞鳳、三郷で該当者割合が全体平均の 13.1% を超えています。

また、最も高い小学校区は瑞鳳で 18.1%、最も低い小学校区は旭丘で 6.7%となっており、11.4 ポイントの差となっています。

【小学校区別】



(5) 認知

調査票の以下の設問を抽出し、3項目のうち1項目でも該当する人を認知機能の低下のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

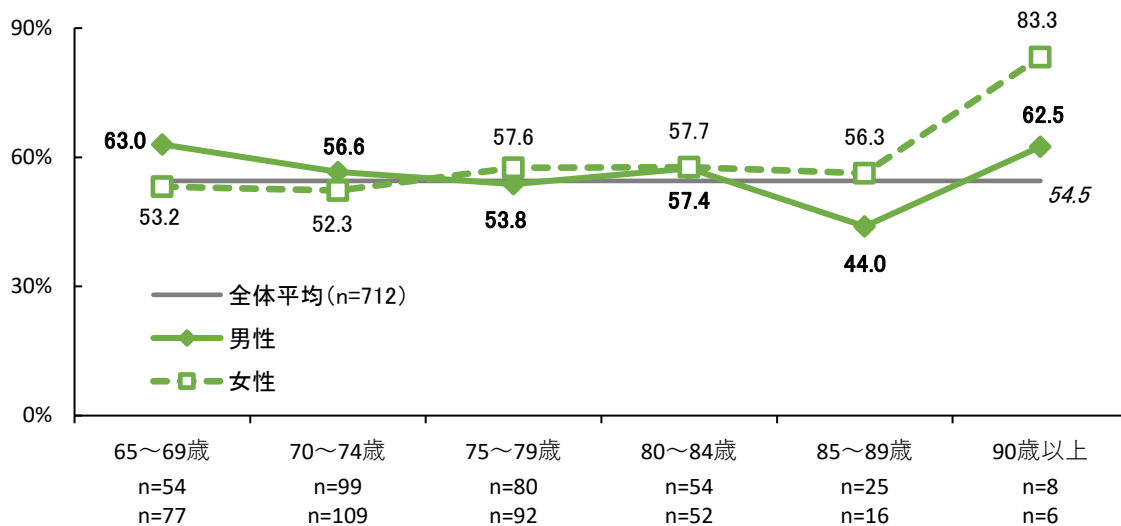
問番号	設問	該当する選択肢
問17 1	物忘れが多いと感じますか	1. はい
問17 2	電話番号がわからない時、自分で電話番号を調べて、電話をかけることができますか	2. いいえ
問17 3	今日が何月何日かわからない時がありますか	1. はい

【リスク該当状況】

認知の評価結果をみると、全体平均で 54.5%が認知機能の低下のリスク該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性は 85～89 歳まで全体平均あたりを横ばいで推移し 90 歳以上で 83.3%と最も高くなっています。男性では 75～79 歳・85～89 歳以外は全体平均を上回り、90 歳以上で 62.5%と最も高くなっています。

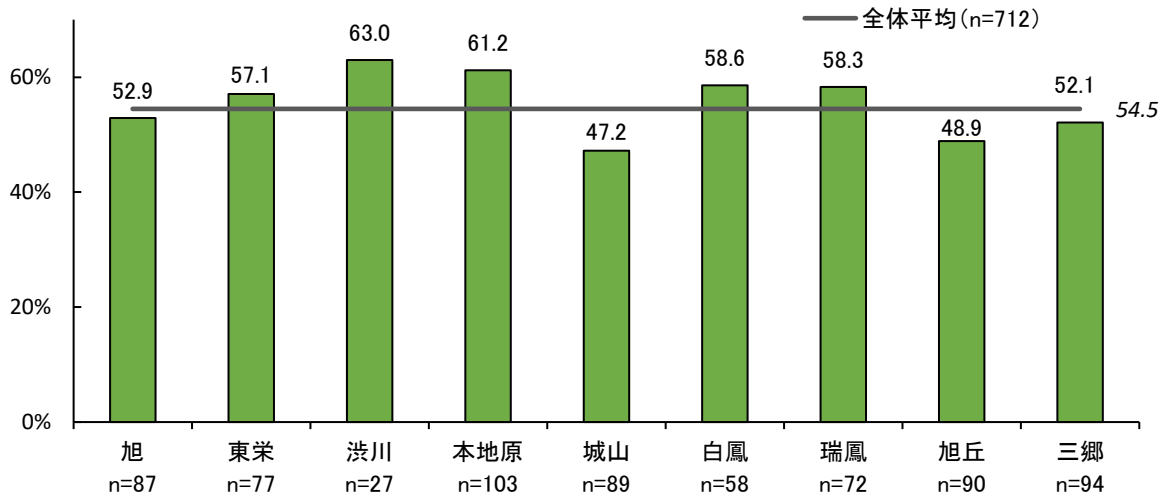
【性別・年代別】



小学校区別にみると、東栄、渋川、本地原、白鳳、瑞鳳で該当者割合が全体平均の54.5%を超えています。

また、最も高い小学校区は渋川で63.0%、最も低い小学校区は城山で47.2%となっており、15.8ポイントの差となっています。

【小学校区別】



(6) 転倒

調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を転倒のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

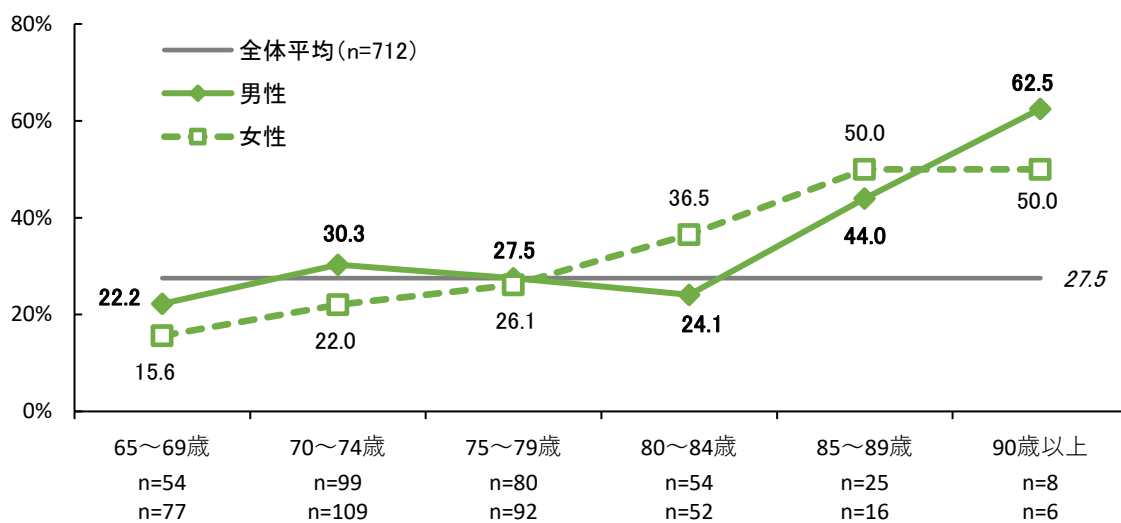
問番号	設問	該当する選択肢
問 8	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある

【リスク該当状況】

転倒の評価結果をみると、全体平均で 27.5%が転倒のリスク該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、80～84 歳で全体平均を上回り、85～89 歳では 50.0%と 80～84 歳に比べ 13.5 ポイント増加しています。男性では、80～84 歳までは全体平均付近で横ばい推移し、85～89 歳では 44.0%と高くなり、90 歳以上では 62.5%と最も高くなっています。

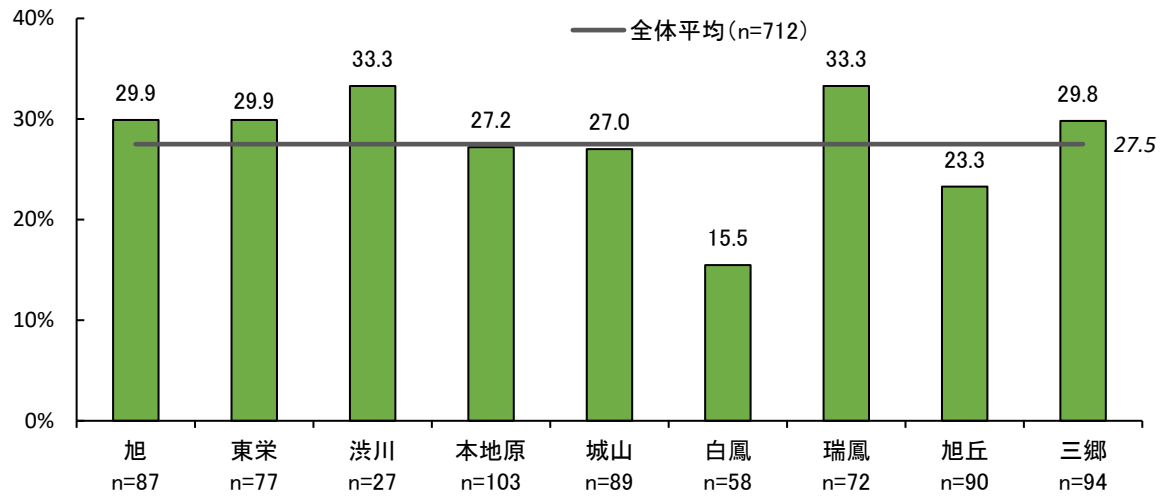
【性別・年代別】



小学校区別にみると、旭、東栄、渋川、瑞鳳、三郷で該当者割合が全体平均の27.5%を超えています。

また、最も高い小学校区は渋川と瑞鳳で33.3%、最も低い小学校区は白鳳で15.5%となっており、17.8ポイントの差となっています。

【小学校区別】



(7) うつ

調査票の以下の設問を抽出し、4項目のうち2項目以上該当する人をうつの可能性のリスク該当者と判定しました。

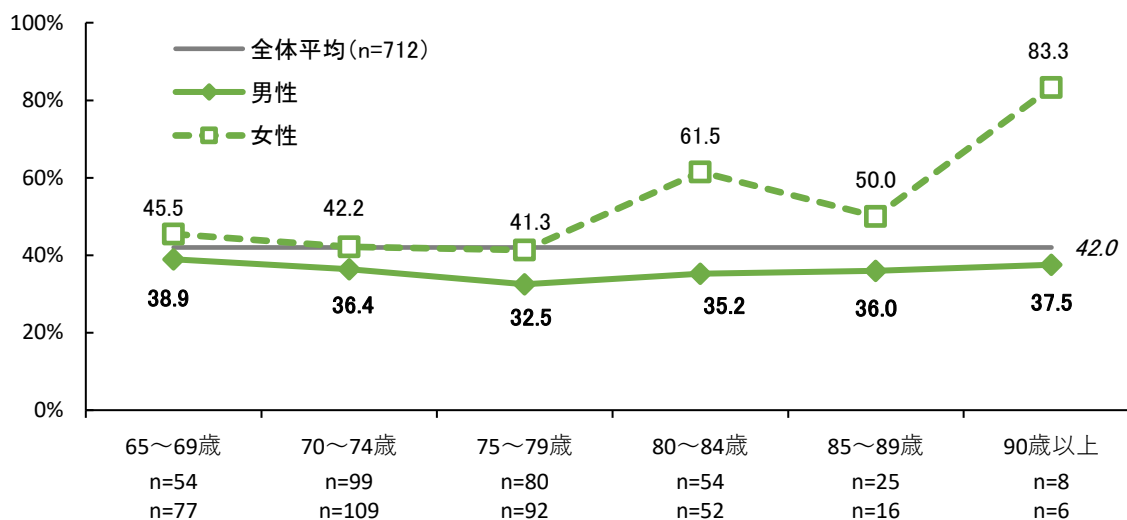
【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問33	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	1. はい
問34	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	1. はい
問35	以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられることがありますか。	1. はい
問36	自分が役に立つ人間だと思えないことがありますか。	1. はい

【リスク該当状況】

うつの評価結果をみると、全体平均で42.0%がうつの可能性のリスク該当者となっています。性別・年齢階級別にみると、女性では、75～79歳以外で全体平均を上回り、90歳以上では83.3%と最も高くなっています。男性では、全体で全体平均以下を推移しています。

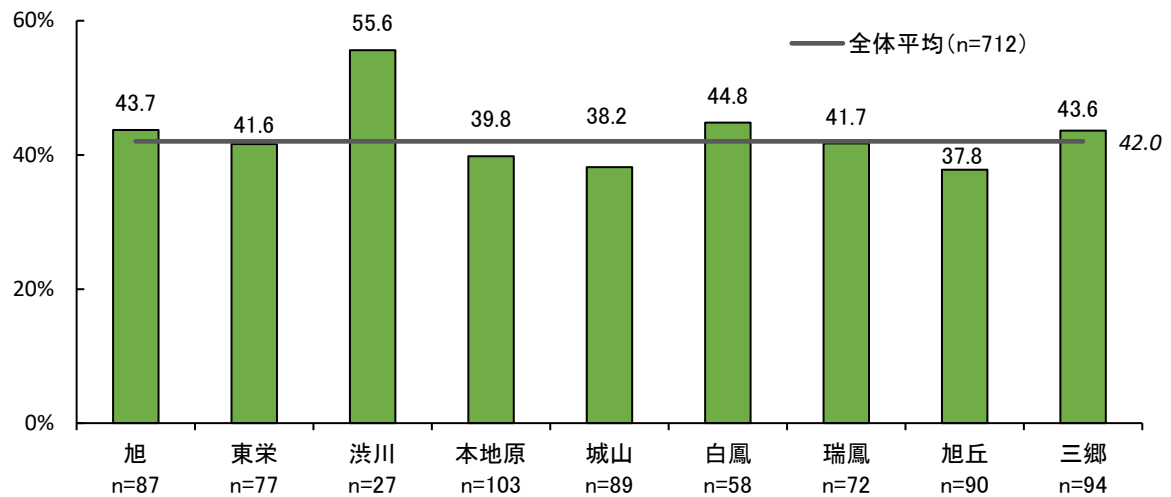
【性別・年代別】



小学校区別にみると、旭、渋川、白鳳、三郷で該当者割合が全体平均の 42.0%を超えています。

また、最も高い小学校区は渋川で 55.6%、最も低い小学校区は旭丘で 37.8%となっており、17.8 ポイントの差となっています。

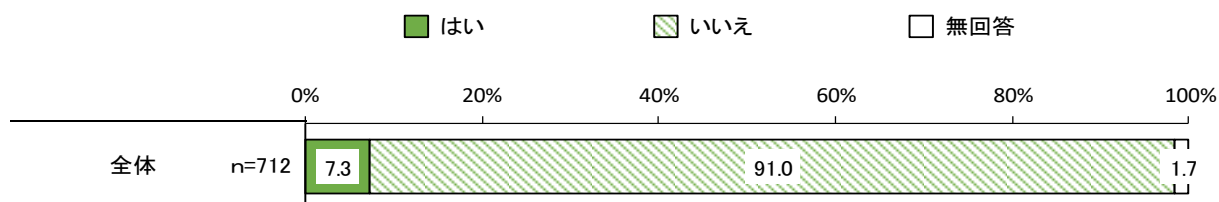
【小学校区別】



9 認知症にかかる相談窓口の把握について

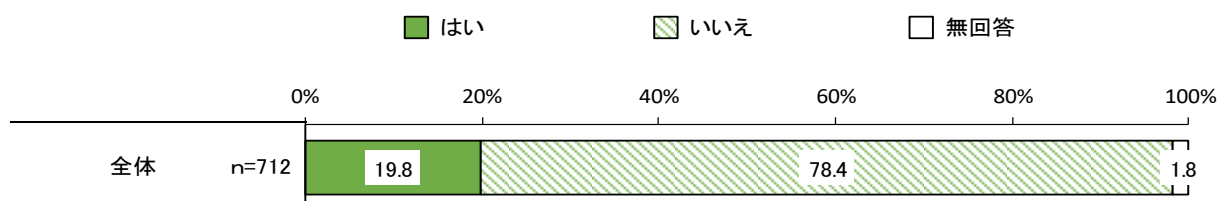
問41 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人はいいますか。(○は1つ)

「はい」が7.3%、「いいえ」が91.0%となっています。



問42 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ)

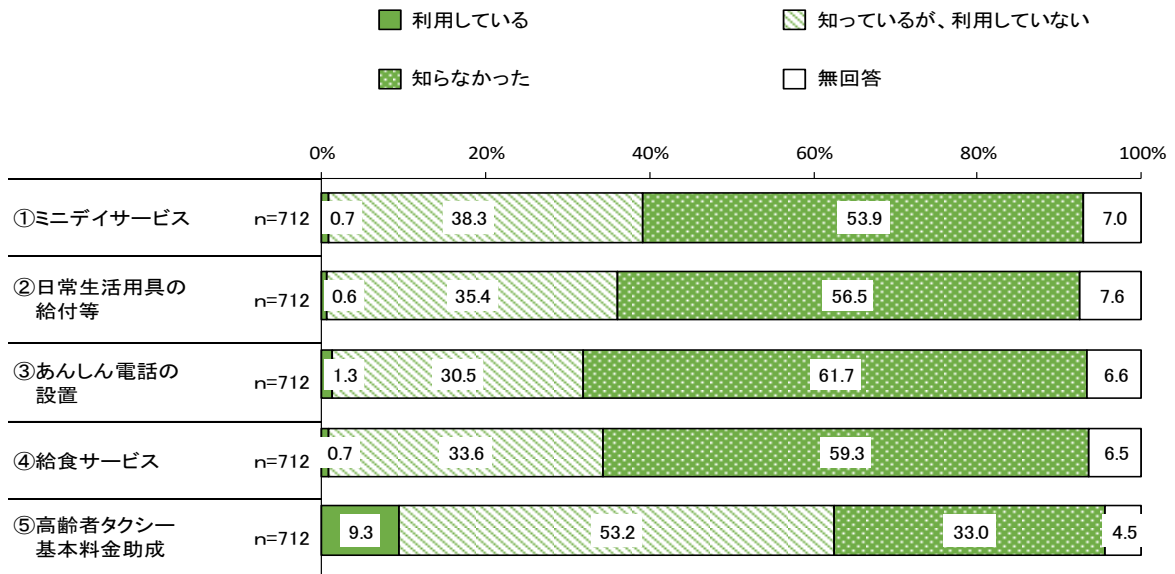
「はい」が19.8%、「いいえ」が78.4%となっています。



10 介護保険制度・高齢社会について

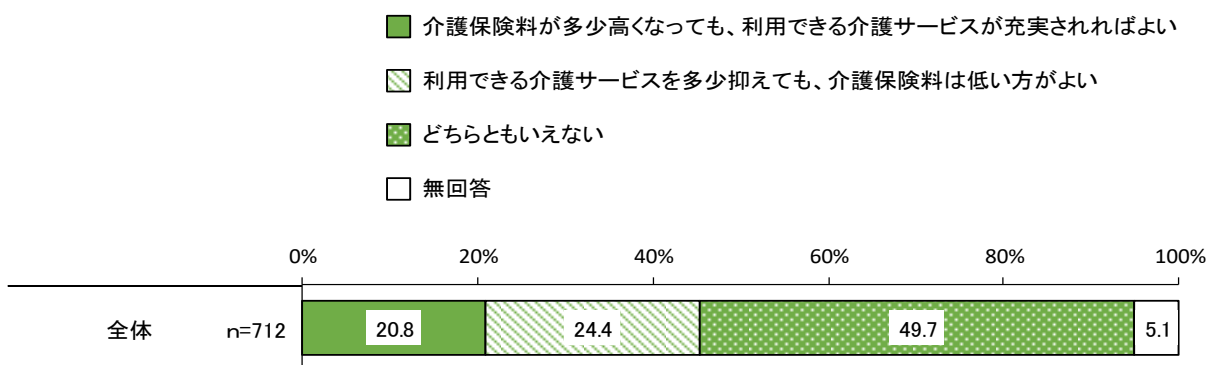
問43 本市で実施している福祉サービス（介護保険以外）についてお答えください。それぞれあてはまるものに○をつけてください。（○は1つずつ）

「③あんしん電話の設置」は、「知らなかった」(61.7%)で6割を超えています。また、「⑤高齢者タクシー基本料金助成」は、「知っているが、利用していない」(53.2%)が5割を超えています。



問44 介護保険料の額は、介護サービスの利用量によって決まります。このため、施設が増えたり、介護サービスが充実するなどして利用量が増えると、保険料も増加することになります。このことを踏まえ、介護保険料と介護サービスの関係について、あなたのお考えに最も近いものは次のうちどれですか。（○は1つ）

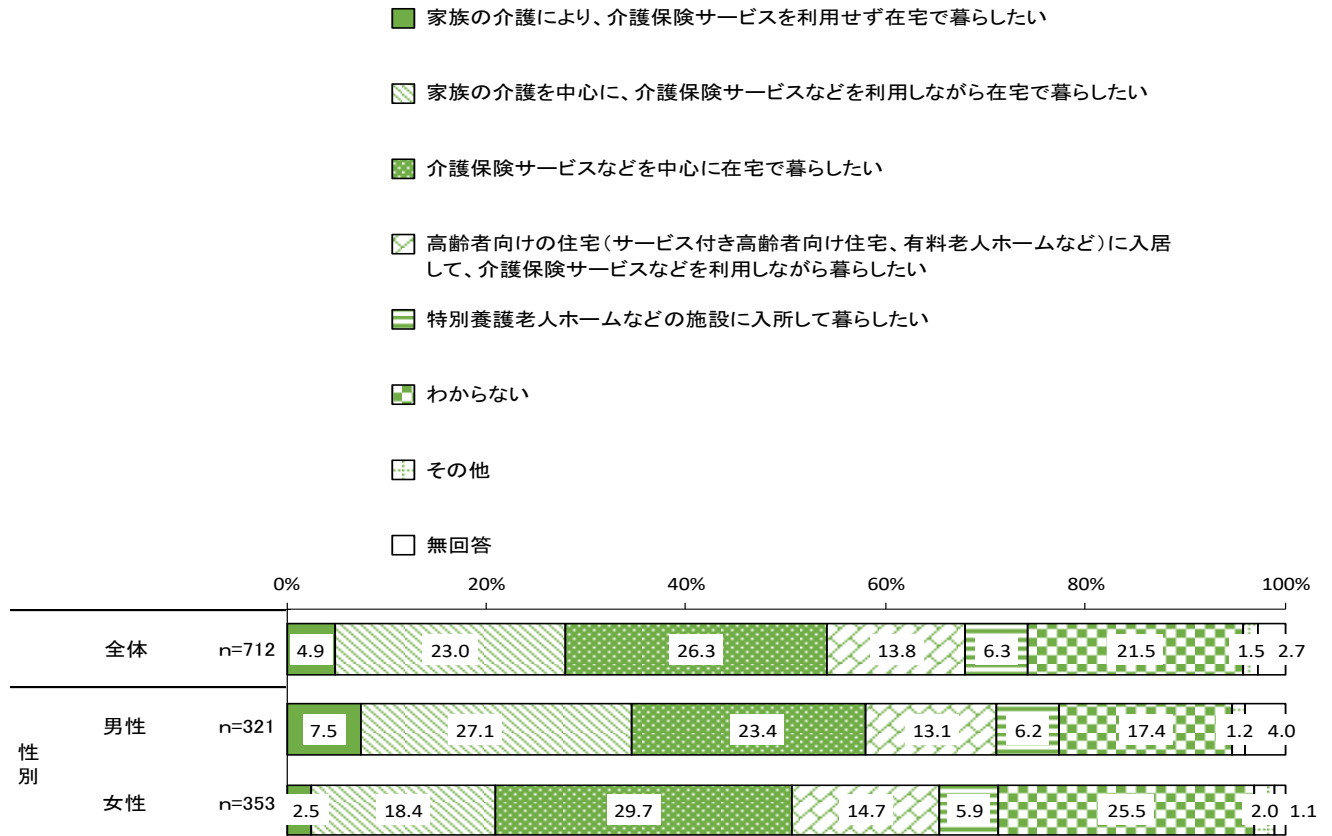
「介護保険料が多少高くなっても、利用できる介護サービスが充実されればよい」が20.8%、「利用できる介護サービスを多少抑えても、介護保険料は低い方がよい」が24.4%、「どちらともいえない」が49.7%となっています。



問45 今後、あなたが介護が必要な状態（介護認定対象者）になったとき、どのような介護を期待しますか。（○は1つ）

「家族の介護により、介護保険サービスを利用せず在宅で暮らしたい」と「家族の介護を中心に、介護保険サービスなどを利用しながら在宅で暮らしたい」と「介護保険サービスなどを中心に在宅で暮らしたい」を合わせた『在宅生活希望』が54.2%となっています。

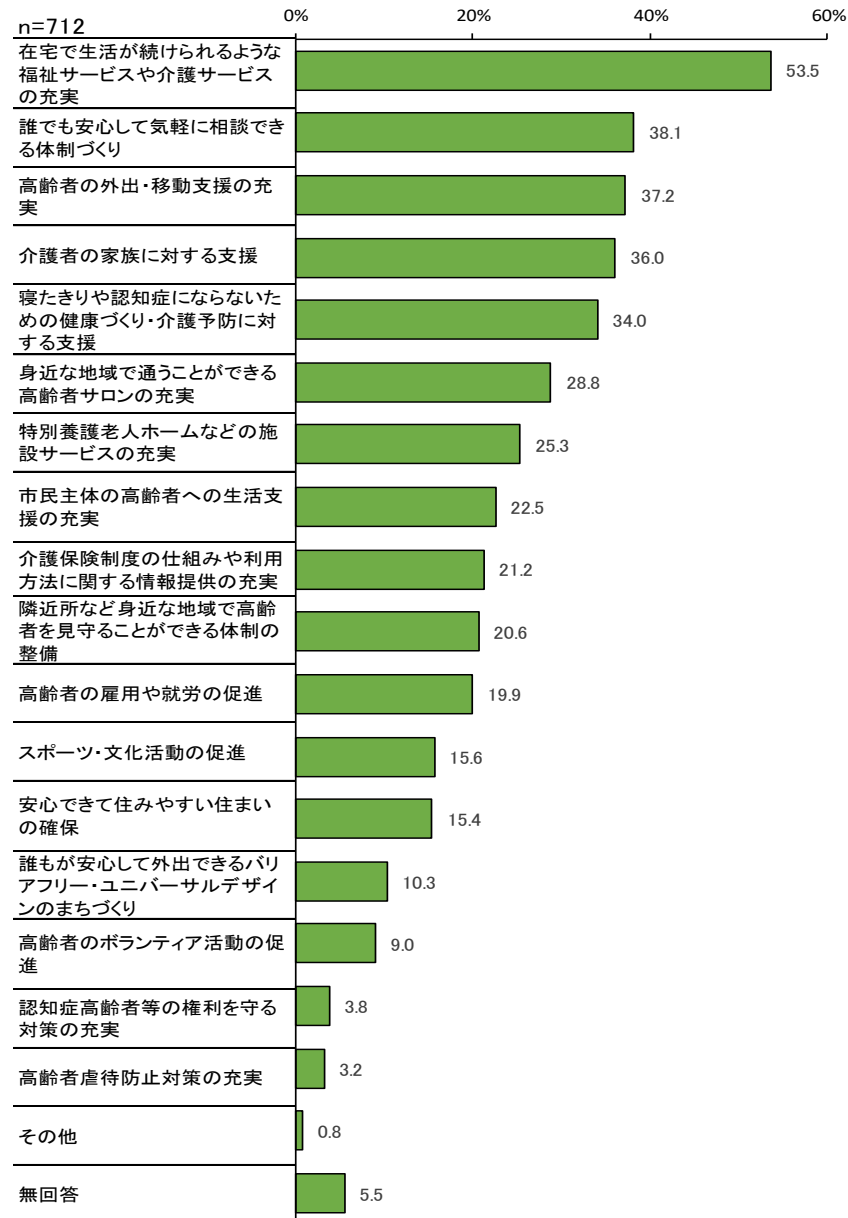
性別では、男性で「家族の介護を中心に、介護保険サービスなどを利用しながら在宅で暮らしたい」が27.1%と、女性に比べて8.7ポイント高くなっています。



問46 高齢社会に向けて、本市は何に重点をおくべきだと思いますか。

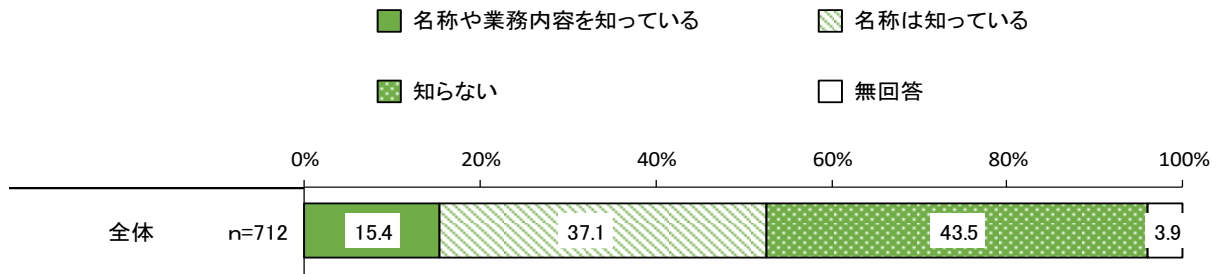
(○は5つまで)

「在宅で生活が続けられるような福祉サービスや介護サービスの充実」が53.5%で最も高く、次いで「誰でも安心して気軽に相談できる体制づくり」が38.1%、「高齢者の外出・移動支援の充実」が37.2%、「介護者の家族に対する支援」が36.0%、「寝たきりや認知症にならないための健康づくり・介護予防に対する支援」が34.0%となっています。



問47 「尾張旭市地域包括支援センター（※）」を知っていますか。（○は1つ）

「名称や業務内容を知っている」が 15.4%、「名称は知っている」が 37.1%、「知らない」が 43.5%となっています。

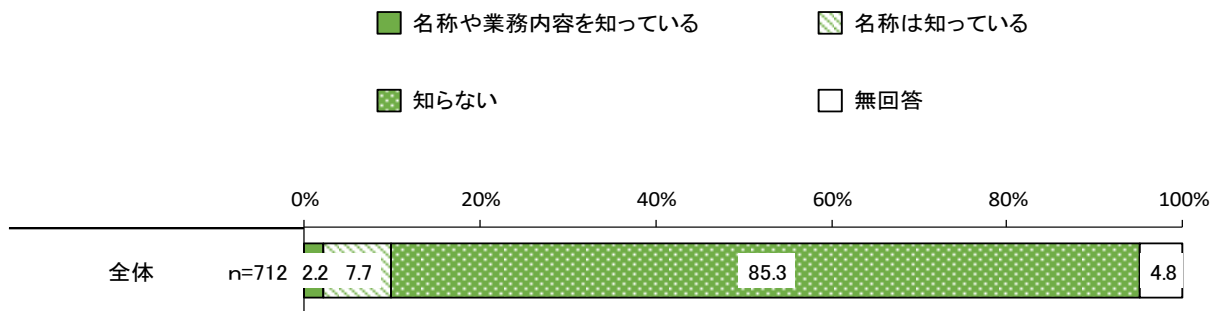


※地域包括支援センターとは

尾張旭市地域包括支援センター（尾張旭市保健福祉センター内・電話0561-55-0654）は、高齢者の皆さんが、いつまでも住み慣れた地域で生活ができるよう支援するための拠点で、介護に関する悩みや心配ごとのほか、健康や福祉、医療に関する様々な支援を行っています。

問48 「尾張東部権利擁護支援センター（※）」を知っていますか。（○は1つ）

「名称や業務内容を知っている」が 2.2%、「名称は知っている」が 7.7%、「知らない」が 85.3%となっています。

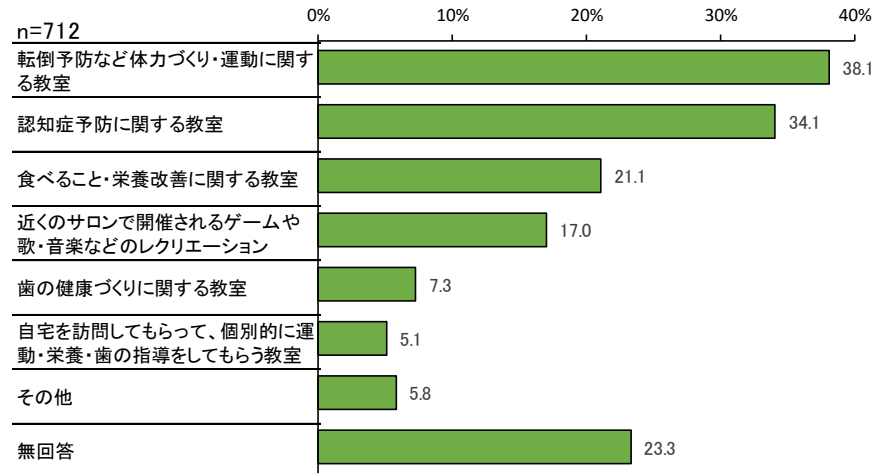


※尾張東部権利擁護支援センターとは

尾張東部権利擁護支援センター（日進市障害者福祉センター内・電話0561-75-5008）は、尾張東部地区の5市1町に居住する判断能力が不十分な認知症の高齢者、知的障がい、精神障がいがある方の財産や権利を守るため、成年後見制度の利用など様々な支援を行っています。

問49 介護予防事業について、興味があるもの、参加したいと思うものをお答えください。（〇は3つまで）

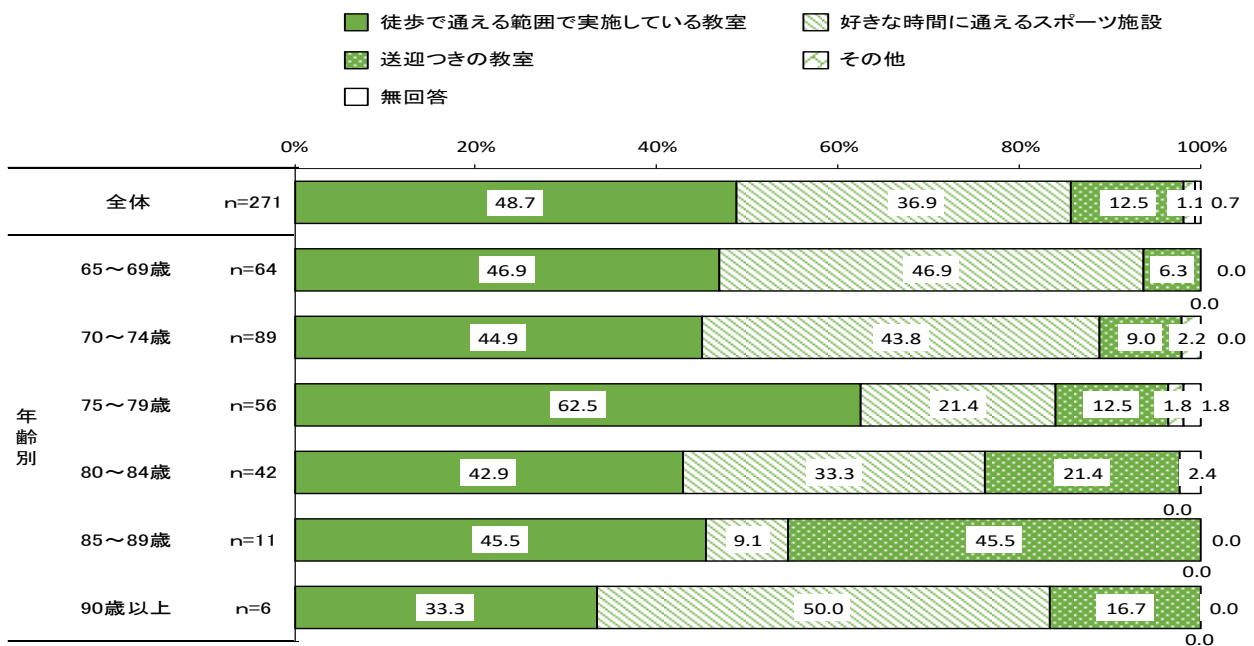
「転倒予防など体力づくり・運動に関する教室」が38.1%で最も高く、次いで「認知症予防に関する教室」が34.1%、「食べること・栄養改善に関する教室」が21.1%となっています。



問49-1 問49で「転倒予防など体力づくり・運動に関する教室」と答えた方にお伺いします。どのような教室であればより参加しやすいと思いますか。（〇は1つ）

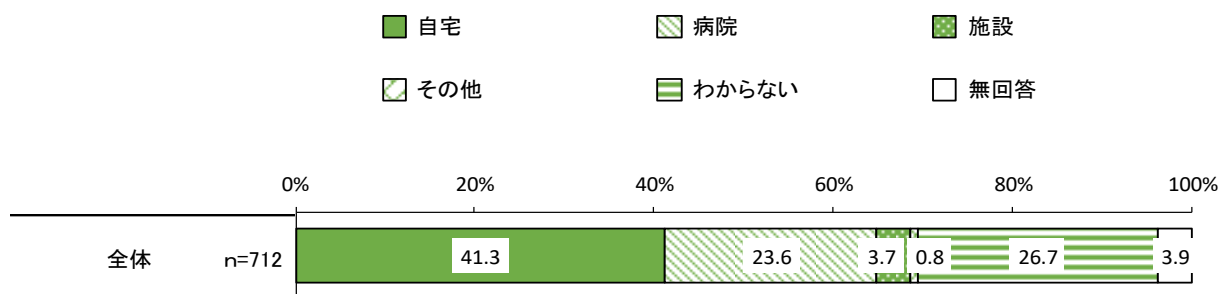
「徒歩で通える範囲で実施している教室」が48.7%、「好きな時間に通えるスポーツ施設」が36.9%、「送迎つきの教室」が12.5%となっています。

年齢別では、75～79歳で「徒歩で通える範囲で実施している教室」（62.5%）の割合が高くなっています。



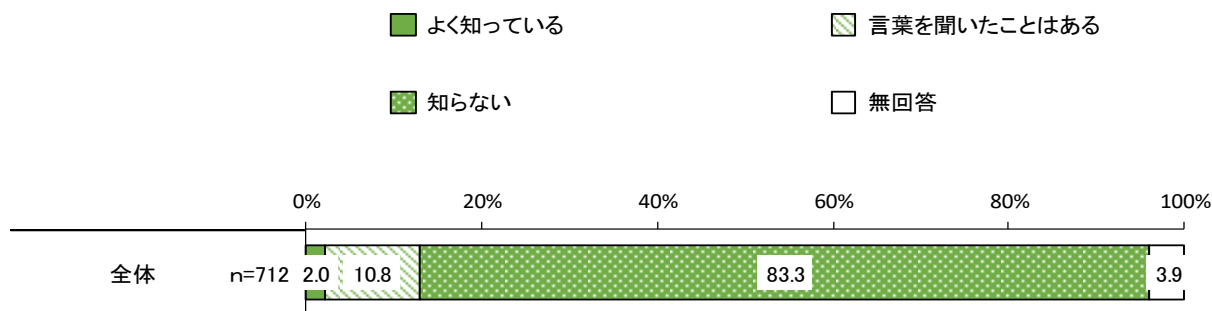
問50 あなたご自身が病気などで最期を迎えるとしたらどこで迎えたいと思いますか。(○は1つ)

「自宅」が41.3%、「病院」が23.6%、「施設」が3.7%となっています。また、「わからない」が26.7%となっています。



問51 「人生会議」(※)または「ACP」について、知っていますか。(○は1つ)

「よく知っている」が2.0%、「言葉を聞いたことはある」が10.8%、「知らない」が83.3%となっています。

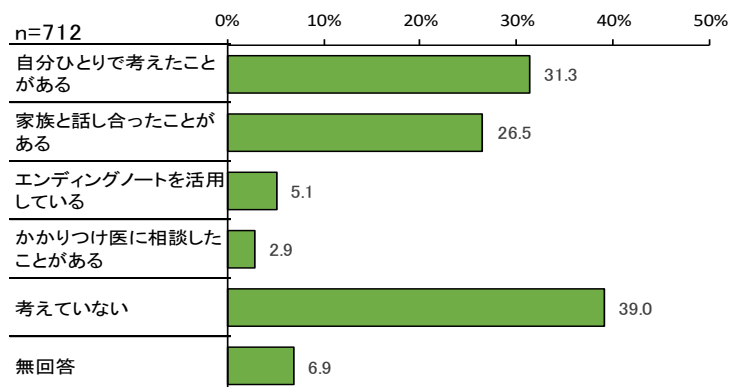


※人生会議 (ACP…アドバンス・ケア・プランニング) とは

もしものときのために、自分自身が望む医療やケアについて前もって考え、信頼できる人や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組のことです。

問52 あなたは、万が一のときに備えて、どのような治療やケアを希望するかについて、以下にあてはまるものに○をつけてください。（○はいくつでも）

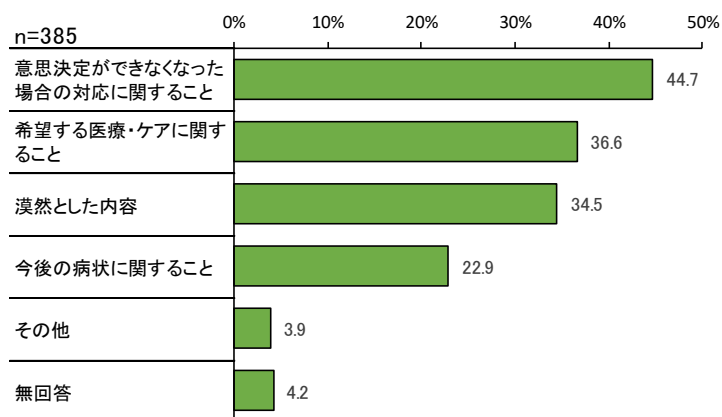
「自分ひとりで考えたことがある」が31.3%、「家族と話し合ったことがある」が26.5%となっています。一方、「考えていない」は39.0%で最も高くなっています。



問52-1 問52で「自分ひとりで考えたことがある」「かかりつけ医に相談したことがある」「家族と話し合ったことがある」「エンディングノートを活用している」と答えた方にお伺いします。

どのような内容を考えましたか、または話しましたか。（○はいくつでも）

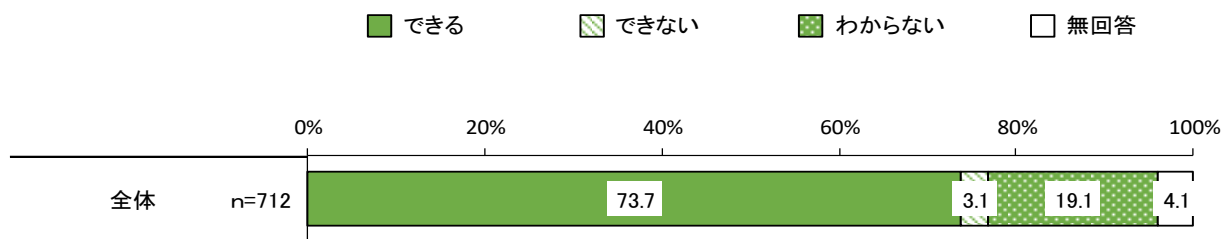
「意思決定ができなくなった場合の対応に関すること」が44.7%で最も高く、次いで「希望する医療・ケアに関すること」が36.6%、「漠然とした内容」が34.5%となっています。



11 防災対策について

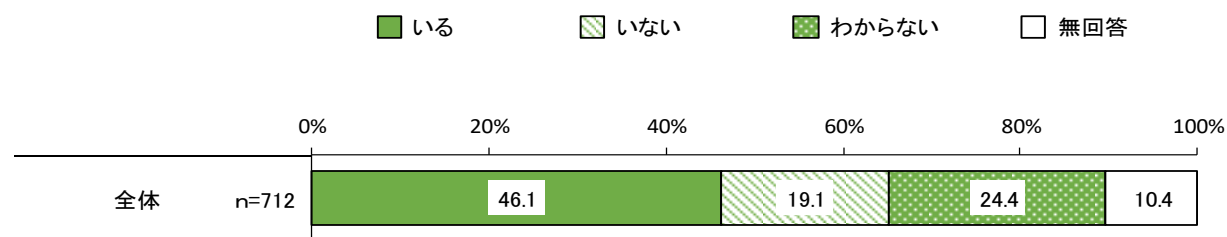
問53 あなたは、災害発生時に、自力で避難することができますか。（○は1つ）

「できる」が73.7%、「できない」が3.1%、「わからない」が19.1%となっています。



問54 避難を支援してくれる人がいますか。（○は1つ）

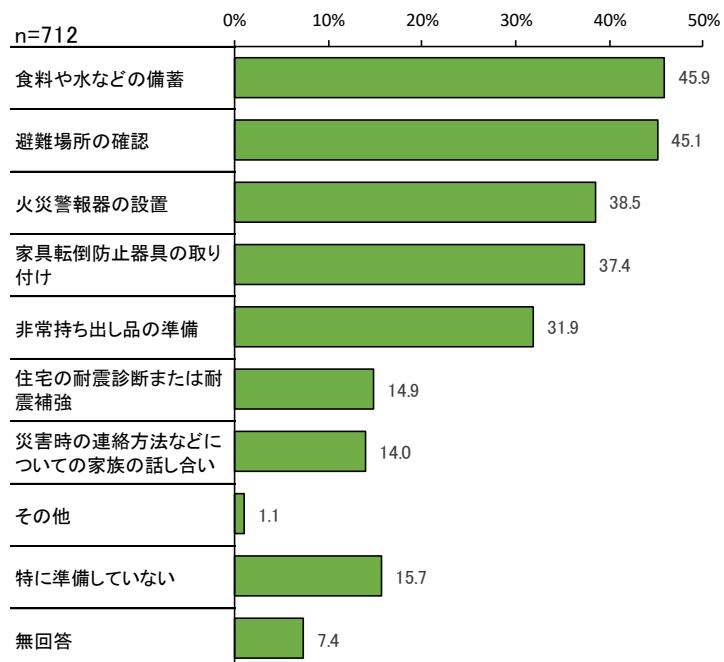
「いる」が46.1%、「いない」が19.1%、「わからない」が24.4%となっています。



問55 ご家庭では地震などに対してどのような備えをしていますか。

(○はいくつでも)

「飲料や水などの備蓄」が45.9%で最も高く、次いで「避難場所の確認」が45.1%、「火災警報器の設置」が38.5%となっています。



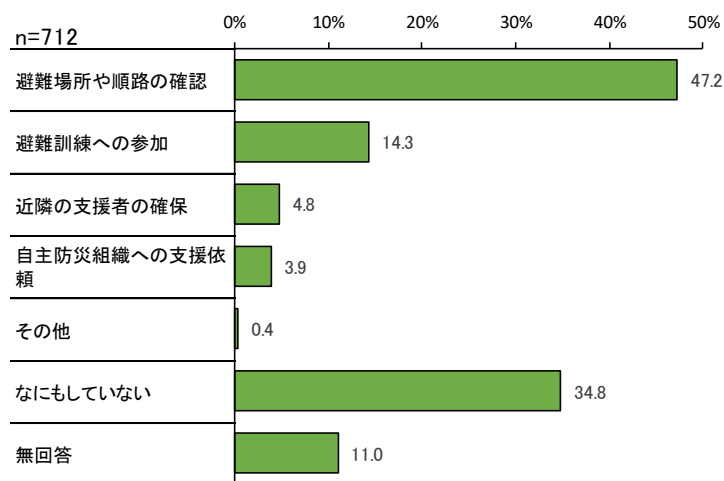
【世帯構成別】

世帯構成別では、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）で「食料や水などの備蓄」（61.5%）が6割を超えています。また、息子・娘との2世帯で「避難場所の確認」（54.8%）が5割を超えています。

	単位：%												
	全体（件）	震補強	住宅の耐震診断または耐	付け	家具転倒防止器具の取り	非常持ち出し品の準備	食料や水などの備蓄	避難場所の確認	火災警報器の設置	災害時の連絡方法などについての家族の話し合い	その他	特に準備していない	無回答
世帯構成別													
1人暮らし	106	6.6	26.4	24.5	33.0	29.2	37.7	3.8	0.0	27.4	9.4		
夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	344	15.4	39.0	33.1	49.7	46.8	38.7	14.5	0.6	13.4	7.0		
夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	26	7.7	46.2	46.2	61.5	46.2	34.6	19.2	0.0	11.5	7.7		
息子・娘との2世帯	93	24.7	40.9	31.2	50.5	54.8	37.6	19.4	2.2	14.0	7.5		
その他	129	14.7	38.8	32.6	43.4	46.5	40.3	15.5	3.1	14.0	6.2		

問56 災害時の避難においてどのような対策をとっていますか。(〇はいくつでも)

「避難場所や順路の確認」が47.2%で最も高く、「避難訓練への参加」が14.3%となっています。一方、「なにもしていない」は34.8%となっています。



【世帯構成別】

世帯構成別では、息子・娘との2世帯で「避難場所や順路の確認」(63.4%)が6割を超えています。また、1人暮らしで「なにもしていない」(50.9%)が5割を超えています。

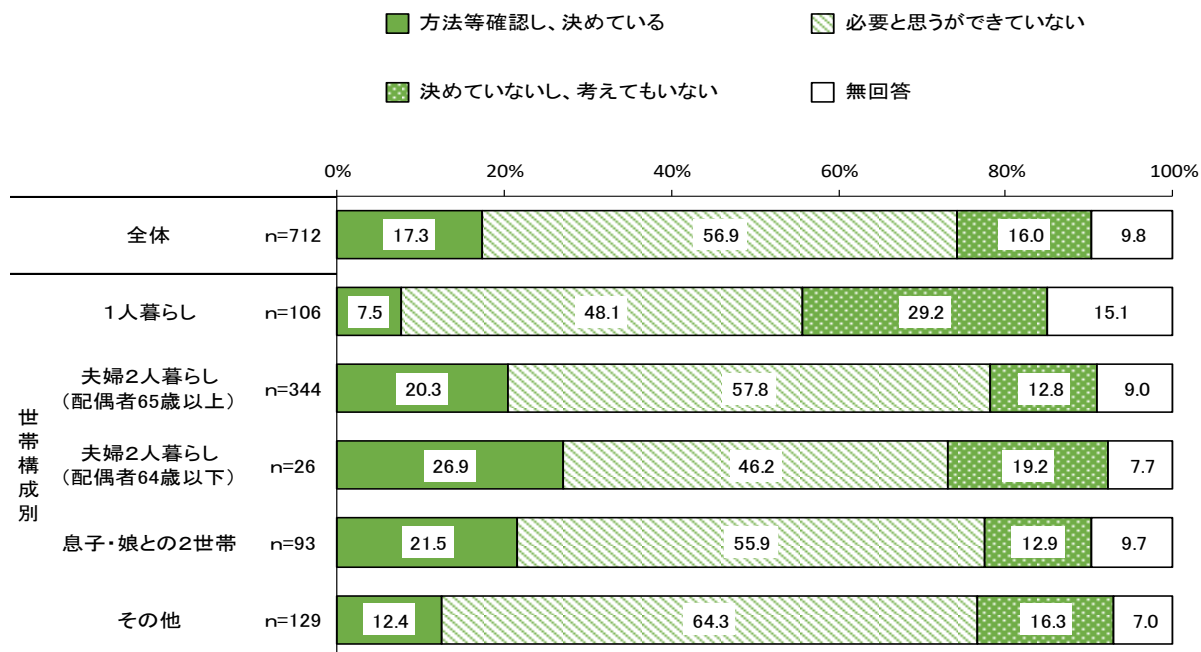
単位：%

	全体 (件)	避難場所や 順路の 確認	近 隣の 支 援 者 の 確 保	自 主 防 災 組 織 へ の 支 援 依 頼	避 難 訓 練 へ の 参 加	そ の 他	な に も し て い な い	無 回 答
世帯構成別								
1人暮らし	106	31.1	4.7	1.9	8.5	0.9	50.9	10.4
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	344	48.5	5.2	5.2	15.7	0.6	34.3	10.5
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	26	57.7	0.0	3.8	15.4	0.0	23.1	11.5
息子・娘との2世帯	93	63.4	6.5	4.3	15.1	0.0	21.5	10.8
その他	129	43.4	3.9	2.3	14.7	0.0	37.2	10.1

問57 ご家族と避難方法や安否確認の方法についての話し合いや決めごとをしていますか。(〇は1つ)

「方法等確認し、決めている」が17.3%、「必要と思うができていない」が56.9%、「決めていないし、考えてもいない」が16.0%となっています。

世帯構成別では、1人暮らしで「決めていないし、考えてもいない」(29.2%)の割合が高くなっています。



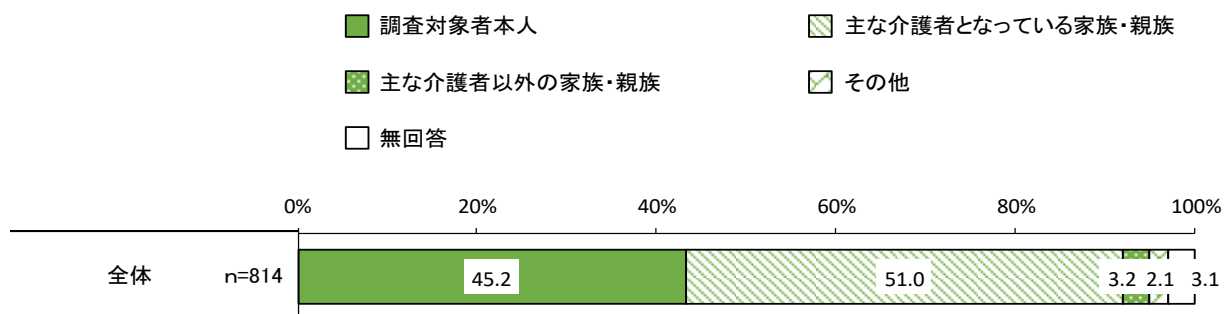
Ⅲ 要支援・要介護認定者調査結果

※グラフ中では、「要支援・要介護認定者」を「認定者」と表しています。「認定者（介護者）」と表記のあるものは、調査対象である要支援・要介護認定者を介護している方の回答となります。

1 回答者について

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。
(あてはまるものすべてに○)

「主な介護者となっている家族・親族」が 51.0%で最も高く、次いで「調査対象者本人」が 45.2%、「主な介護者以外の家族・親族」が 3.2%となっています。

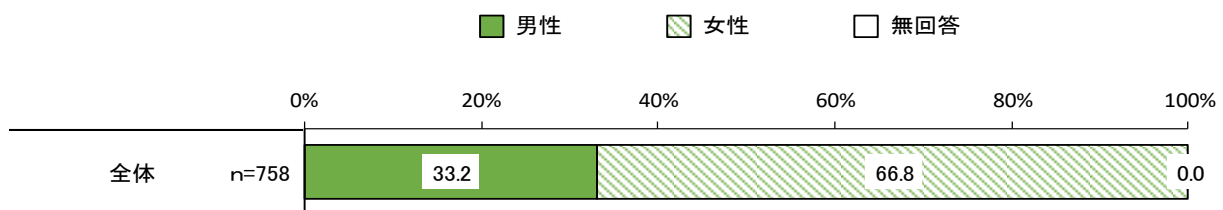


2 ご本人の性別や年齢、生活状況などについて

要支援・要介護認定者

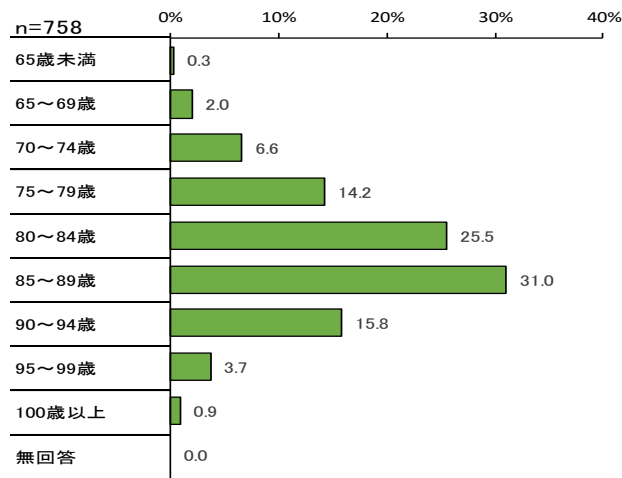
(1) 性別

「男性」が 33.2%、「女性」が 66.8%となっています。



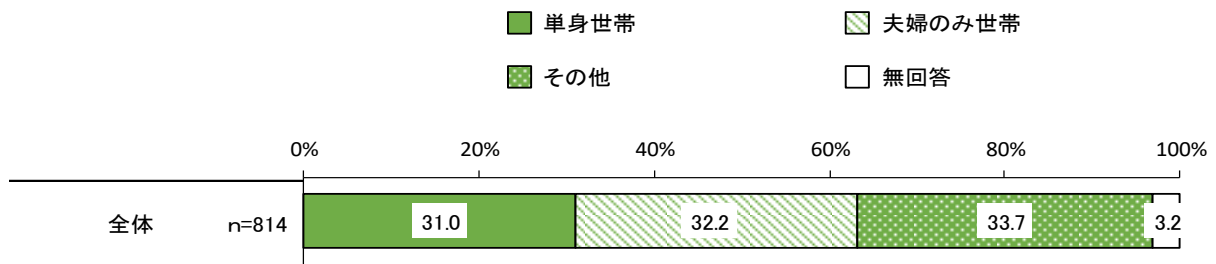
(2) 年齢

「85～89歳」が31.0%で最も高く、次いで「80～84歳」が25.5%、「90～94歳」が15.8%となっています。



問2 世帯類型について、ご回答ください。(○は1つ)

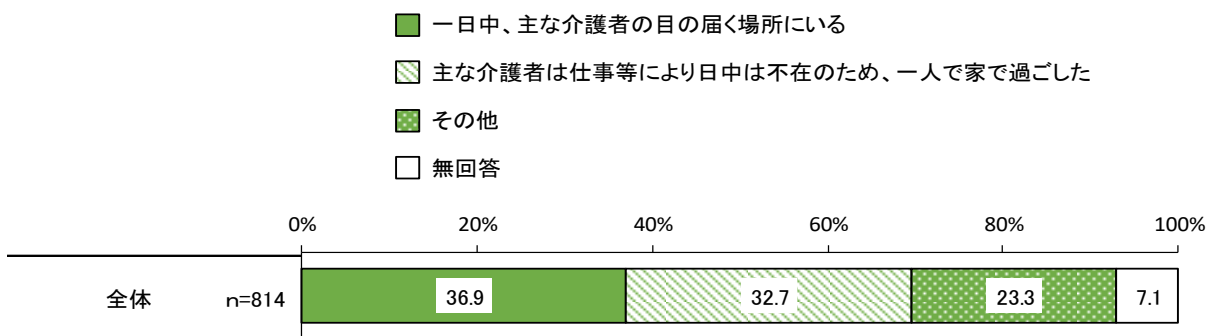
「夫婦のみ世帯」が32.2%、「単身世帯」が31.0%となっています。



問3 ご本人の日中の状況、お住まいの地区についてお答えください。

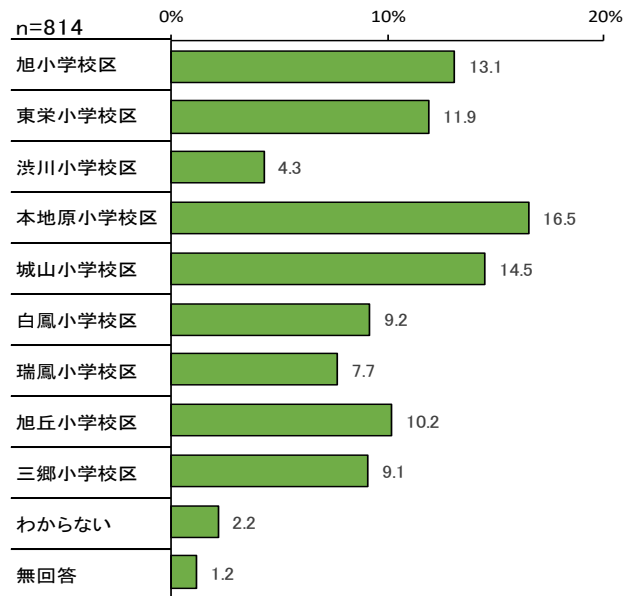
①【ご本人の日中の状況】 (○は1つ)

「一日中、主な介護者の目の届く場所にいる」が36.9%、「主な介護者は仕事等により日中は不在のため、一人で家で過ごした」が32.7%となっています。



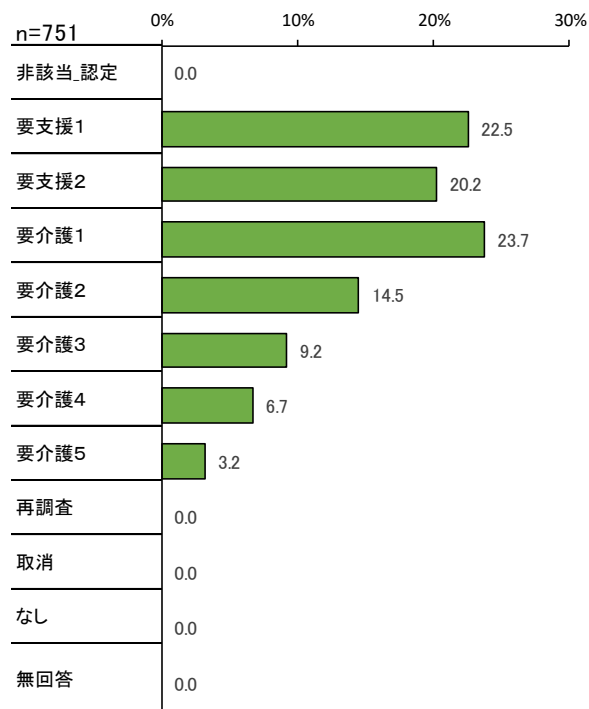
②【お住まいの地区（小学校区）】（○は1つ）

「本地原小学校」が16.5%で最も高く、次いで「城山小学校」が14.5%、「旭小学校」が13.1%となっています。



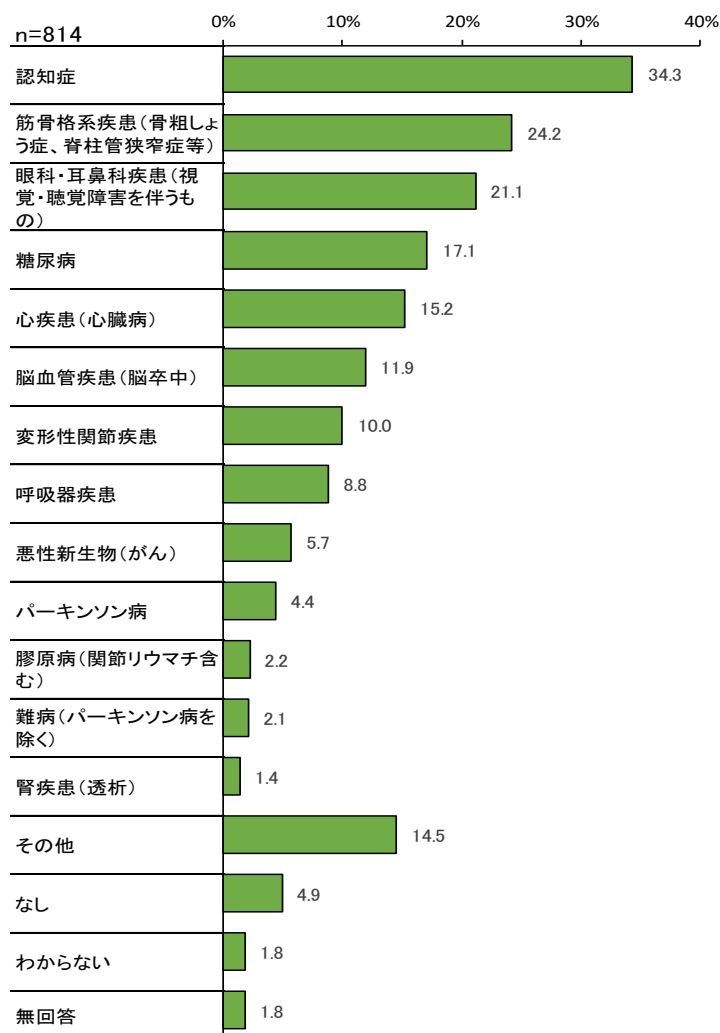
③要介護度

「要介護1」が23.7%で最も高く、次いで「要支援1」が22.5%、「要支援2」が20.2%となっています。



問4 ご本人が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。
 (あてはまるものすべてに○)

「認知症」が34.3%で最も高く、次いで「筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊椎管狭窄症等)」が24.2%、「眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)」が21.1%となっています。



【要介護度別】

要介護度別では、要支援1と要支援2で「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が最も高くなっています。また、要介護1～要介護5で「認知症」が最も高くなっています。

単位：％

	全体（件）	脳血管疾患（脳卒中）	心疾患（心臓病）	悪性新生物（がん）	呼吸器疾患	腎疾患（透析）	筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）	膠原病（関節リウマチ含む）	変形性関節疾患	認知症
--	-------	------------	----------	-----------	-------	---------	------------------------	---------------	---------	-----

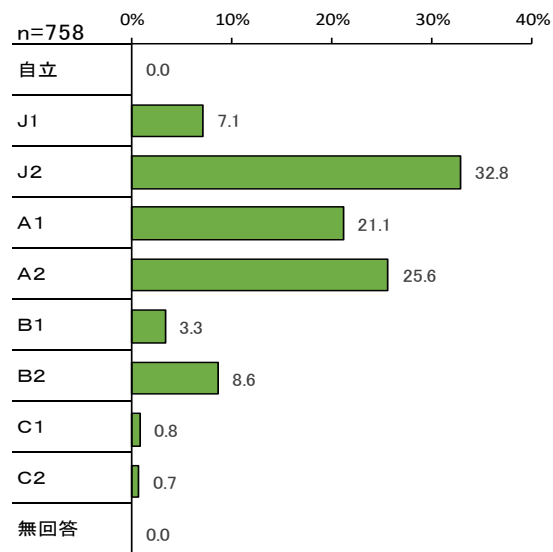
要介護度別										
要支援1	169	11.8	11.8	4.7	11.8	0.6	30.2	0.6	12.4	10.1
要支援2	152	7.9	12.5	8.6	9.2	1.3	35.5	4.6	15.8	1.3
要介護1	178	6.7	16.3	3.9	6.7	0.6	14.0	1.7	5.6	68.0
要介護2	109	17.4	18.3	5.5	7.3	0.9	23.9	1.8	7.3	44.0
要介護3	69	18.8	20.3	4.3	10.1	2.9	21.7	2.9	10.1	55.1
要介護4	50	18.0	20.0	10.0	8.0	6.0	10.0	4.0	8.0	48.0
要介護5	24	16.7	12.5	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	4.2	66.7

	全体（件）	パーキンソン病	難病（パーキンソン病を除く）	糖尿病	眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）	その他	なし	わからない	無回答
--	-------	---------	----------------	-----	------------------------	-----	----	-------	-----

要介護度別									
要支援1	169	2.4	4.1	15.4	29.0	14.8	5.3	3.6	3.0
要支援2	152	5.3	0.7	15.1	28.3	13.8	4.6	1.3	3.3
要介護1	178	3.4	1.7	17.4	14.0	17.4	5.6	0.6	0.6
要介護2	109	6.4	2.8	20.2	19.3	9.2	5.5	1.8	2.8
要介護3	69	10.1	1.4	13.0	14.5	10.1	0.0	1.4	0.0
要介護4	50	4.0	2.0	20.0	12.0	20.0	2.0	2.0	2.0
要介護5	24	4.2	0.0	20.8	4.2	16.7	8.3	4.2	0.0

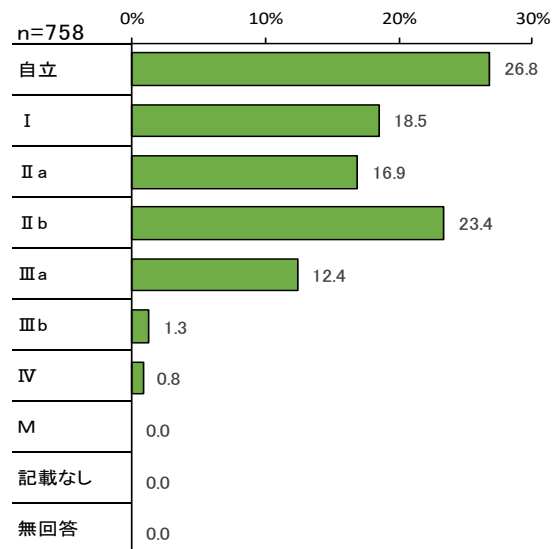
(1) 障害高齢者の日常生活自立度

「J2」が32.8%で最も高く、次いで「A2」が25.6%、「A1」が21.1%となっています。



(2) 認知症高齢者の日常生活自立度

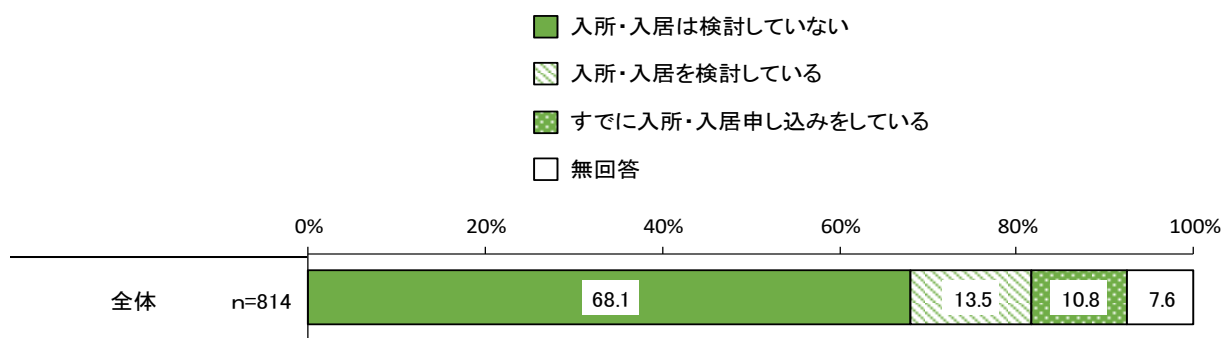
「自立」が26.8%で最も高く、次いで「II b」が23.4%、「I」が18.5%となっています。



3 生活拠点に関する意向について

問5 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。
(○は1つ)

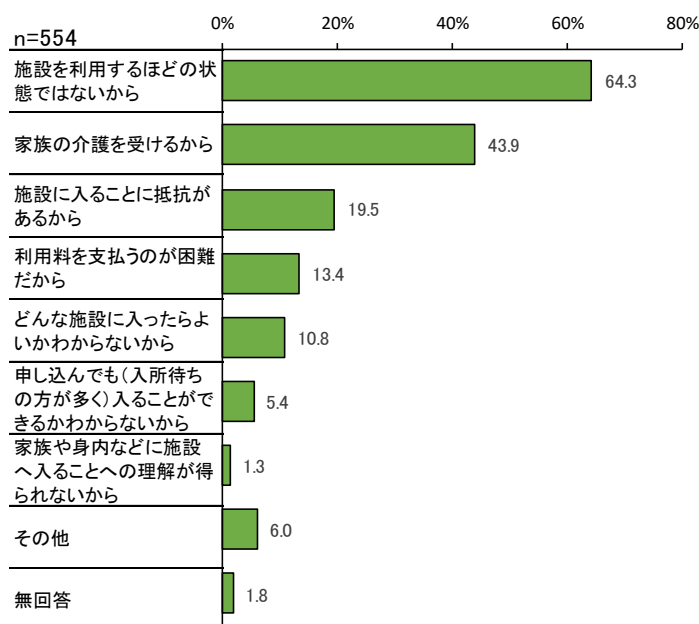
「入所・入居は検討していない」が68.1%で最も高く、次いで「入所・入居を検討している」が13.5%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が10.8%となっています。



※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、介護付有料老人ホームなどの特定施設（自立して生活できる方や要介護度の低い方向けの住宅型有料老人ホームを除く）、グループホーム、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

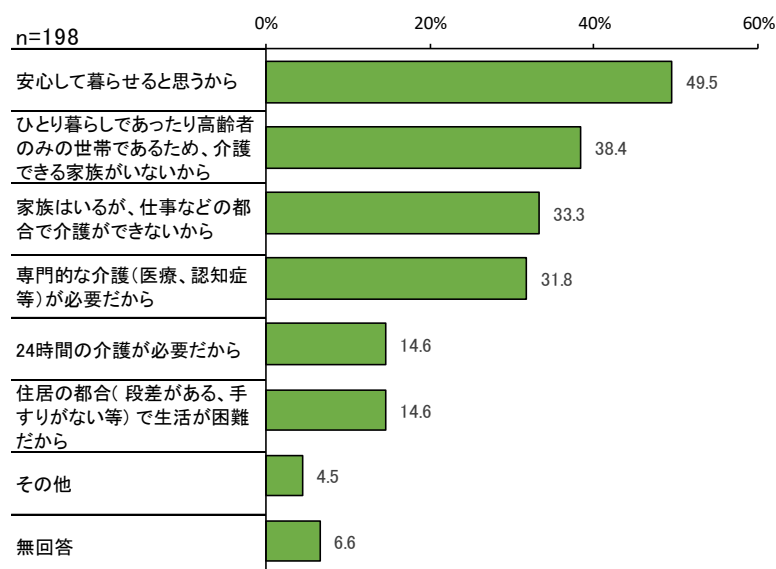
問5-1 問5で「入所・入居は検討していない」と答えた方にお伺いします。
その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「施設を利用するほどの状態ではないから」が64.3%で最も高く、次いで「家族の介護を受けるから」が43.9%、「施設に入ることには抵抗があるから」が19.5%となっています。



問5-2 問5で「入所・入居を検討している」「すでに入所・入居申し込みをしている」と答えた方にお伺いします。入所を申し込んでいる（考えている）理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

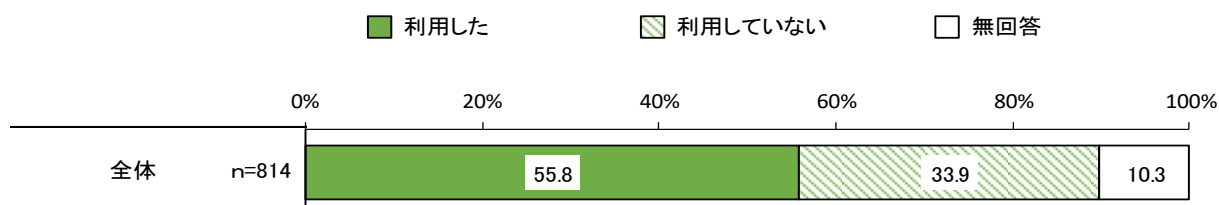
「安心して暮らせると思うから」が49.5%で最も高く、次いで「ひとり暮らしであったり高齢者のみの世帯であるため、介護できる家族がいないから」が38.4%、「家族はいるが、仕事などの都合で介護ができないから」が33.3%となっています。



4 居宅サービスの利用について

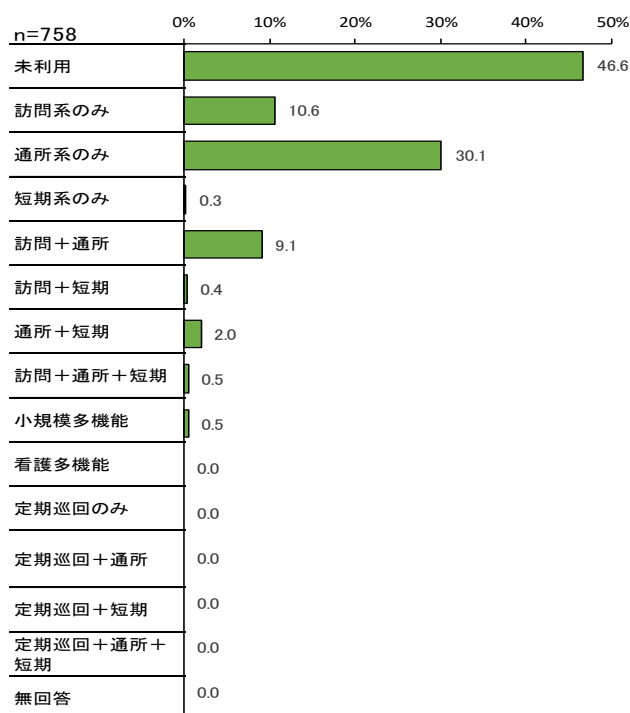
問6 令和4年12月の1か月の間に、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用しましたか。（○は1つ）

「利用した」が55.8%、「利用していない」が33.9%となっています。



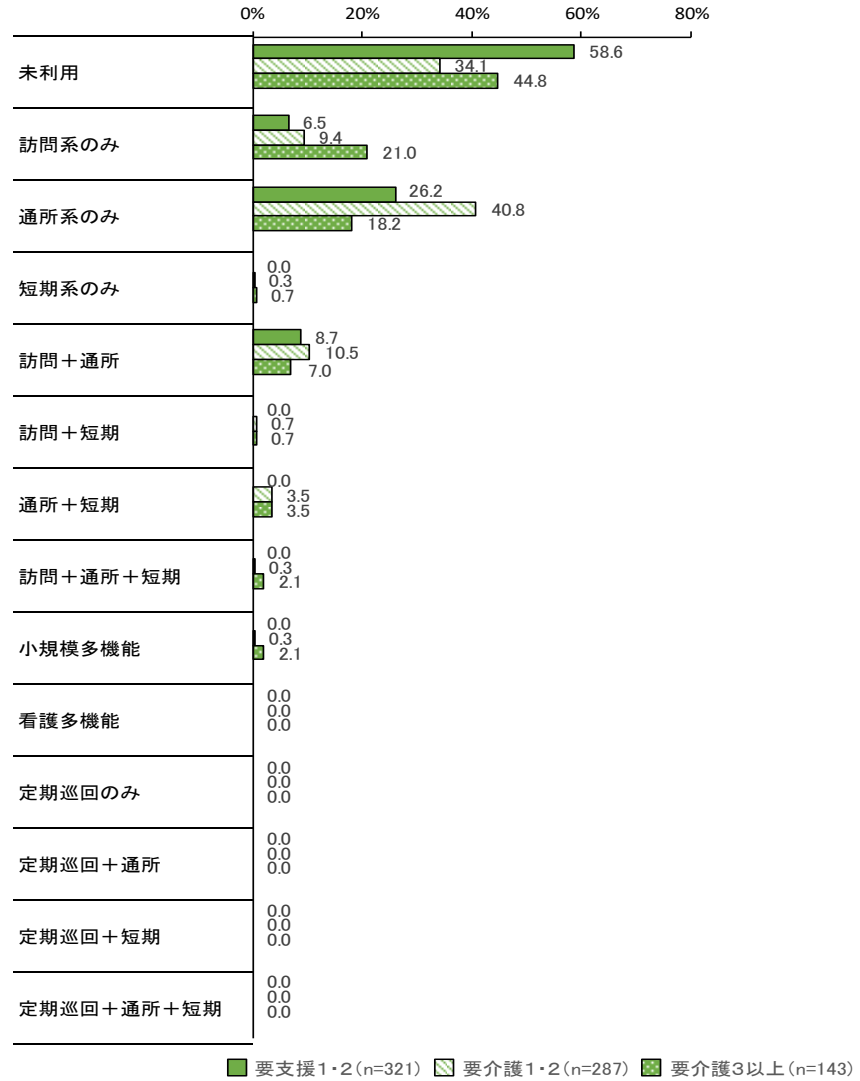
(1) サービス利用の組み合わせ

「未利用」が46.6%で最も高く、次いで「通所系のみ」が30.1%、「訪問系のみ」が10.6%となっています。



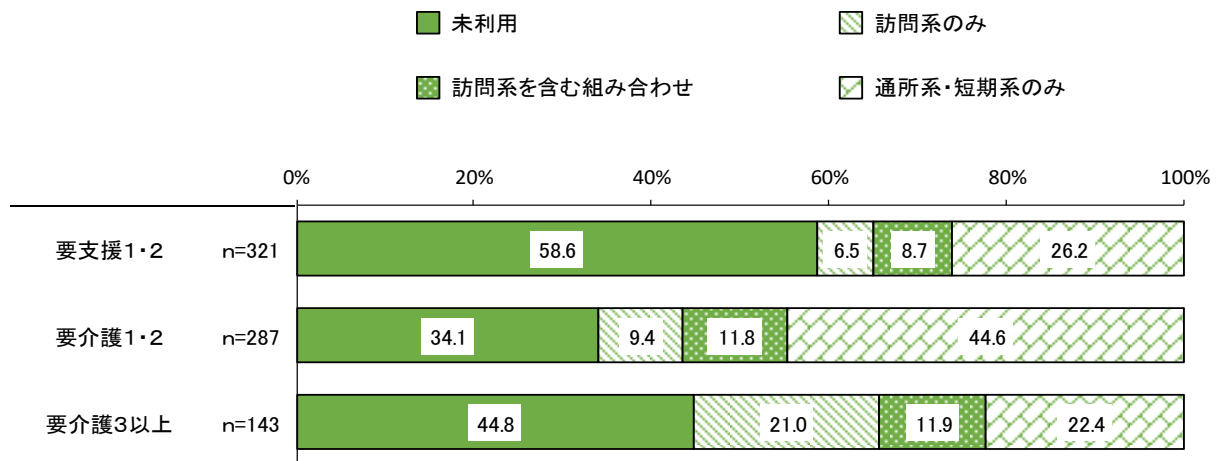
【要介護度別・サービス利用の組み合わせ】

サービス利用の組み合わせを要介護度別にみると、要支援1・2では「未利用」が58.6%で最も高く、次いで「通所系のみ」が26.2%、「訪問+通所」が8.7%となっています。要介護1・2では「通所系のみ」が40.8%で最も高く、次いで「未利用」が34.1%、「訪問+通所」が10.5%となっています。要介護3以上では「未利用」が44.8%が最も高く、次いで「訪問系のみ」が21.0%、「通所系のみ」が18.2%となっています。



【要介護度別・サービス利用の組み合わせ】

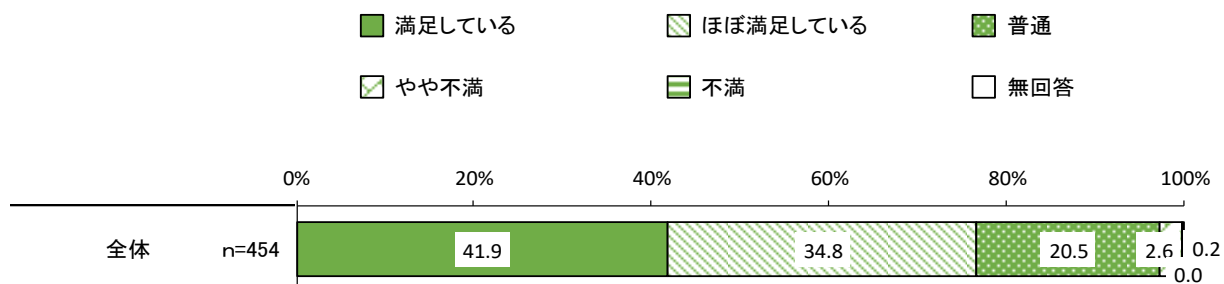
サービス利用の組み合わせを要介護度別にみると、要支援1・2では「未利用」が58.6%で最も高く、次いで「通所系・短期系のみ」が26.2%、「訪問系を含む組み合わせ」が8.7%となっています。要介護1・2では「通所系・短期系のみ」が44.6%で最も高く、次いで「未利用」が34.1%、「訪問系を含む組み合わせ」が11.8%となっています。要介護3以上では「未利用」が44.8%で最も高く、次いで「通所系・短期系のみ」が22.4%、「訪問系のみ」が21.0%となっています。



問6で「利用した」と回答された方のみお伺いします。

問6-1 現在利用している「介護サービス」について満足していますか。(○は1つ)

「満足している」と「ほぼ満足している」を合わせた『満足している』が76.7%、「ふつう」が20.5%、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』が2.6%となっています。

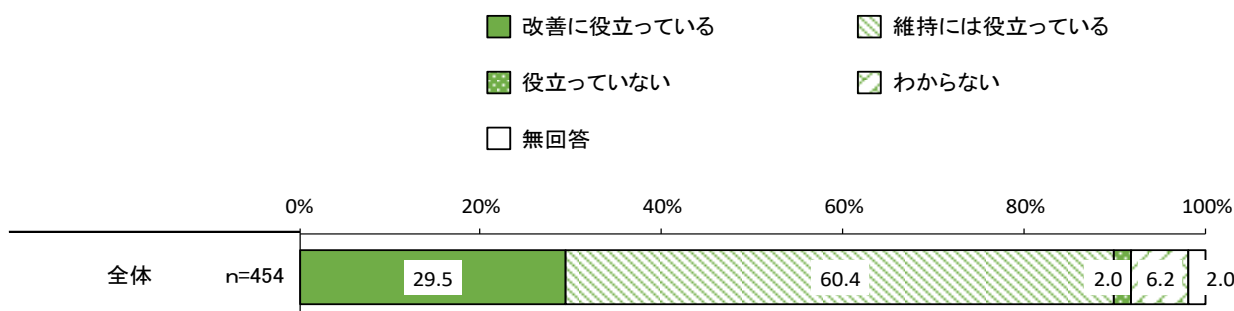


問6-2 問6-1で「やや不満」「不満」と答えた方にお伺いします。不満の理由は何ですか。(自由記述)

- もう少し、自己負担を減らしてほしい。(2件)
- リハビリの時間が少なすぎる。
- お遊戯が多くてつまらない。機能改善の為のリハビリの時間が少ない。
- 日曜日に利用出来るデイサービスがあまりに少ない。グループホームの施設の少なさ。
- 土日困る。
- 101才と1人で満足に何も出来ない。週1回の介護サービスのみ。
- 医療保険と介護保険のリハビリに差があり快方に向かうか不安。患者が多く医師へ疑問や説明がきけない。
- 通院の同行をヘルパーさんをお願いしたい時があるが、介護保険では利用できません。
- 本人が利用しない。

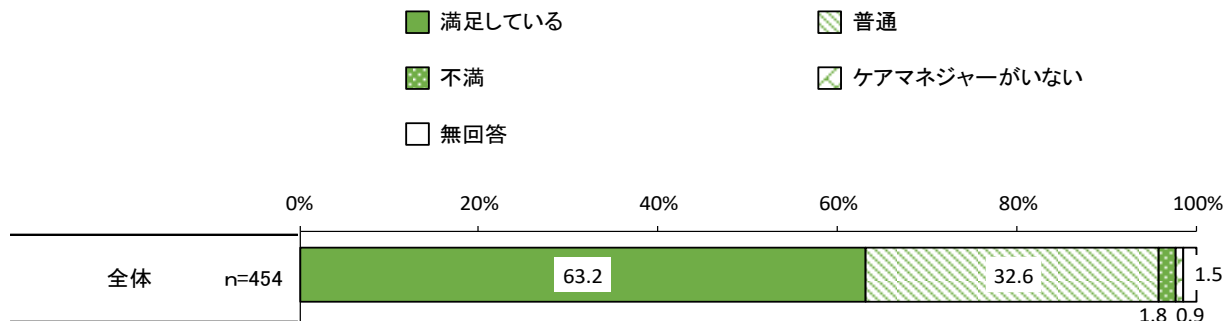
問6-3 介護サービスを利用していることによって、心身の状態の改善・維持に役立っていると思いますか。(○は1つ)

「改善に役立っている」と「維持には役立っている」を合わせた『役立っている』が89.9%、「役立っていない」が2.0%、「わからない」が6.2%となっています。



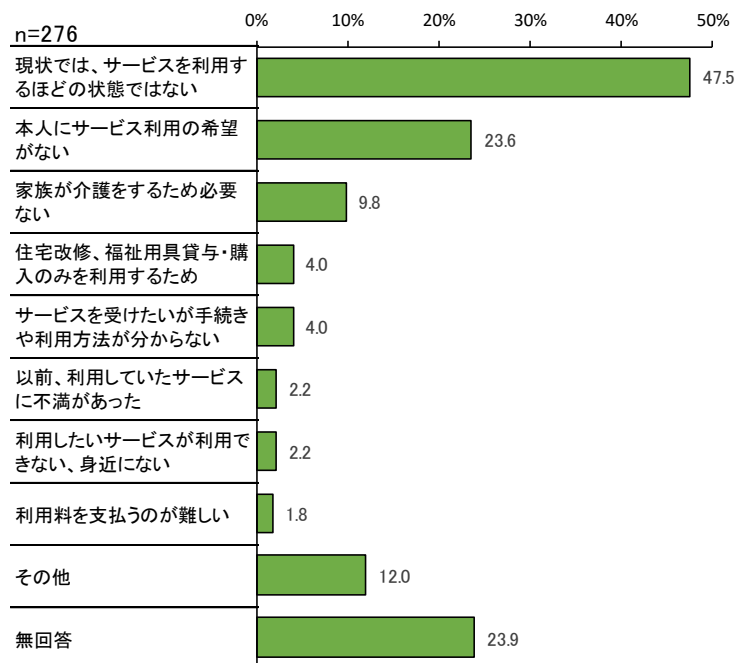
問6-4 介護支援専門員（ケアマネジャー）の対応についてどのように思われますか。（○は1つ）

「満足している」が63.2%、「普通」が32.6%、「不満」が1.8%、「ケアマネジャーがない」が0.9%となっています。



問6-5 問6で「利用していない」と答えた方にお伺いします。
介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が47.5%で最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が23.6%、「家族が介護をするために必要ない」が9.8%となっています。



【要介護度別】

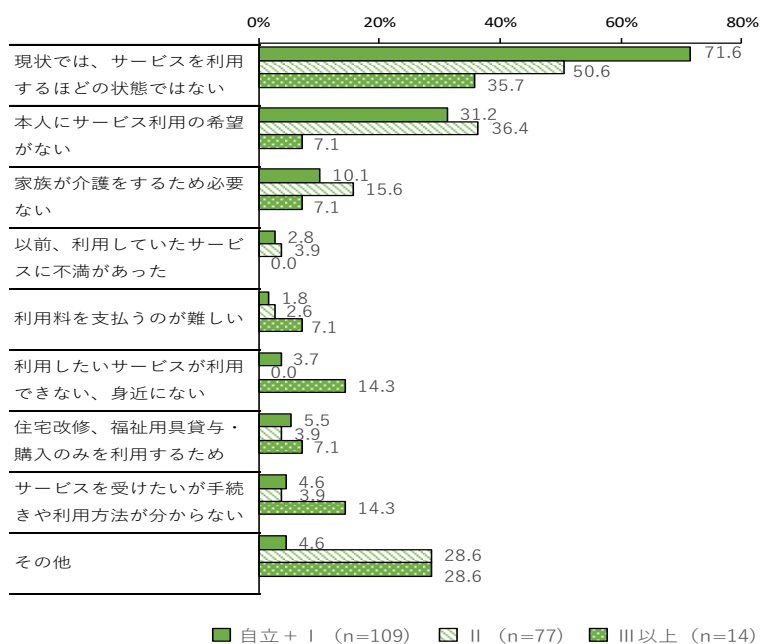
要介護度別では、要支援1で「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」（60.0%）の割合が高くなっています。

単位：%

	全体（件）	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	以前、利用していたサービスに不満があった	利用料を支払うのが難しい	利用したいサービスが利用できない、身近にない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない	その他	無回答
要介護度別											
要支援1	90	60.0	28.9	11.1	2.2	2.2	4.4	6.7	3.3	3.3	16.7
要支援2	51	49.0	21.6	3.9	2.0	2.0	0.0	0.0	5.9	7.8	21.6
要介護1	59	40.7	32.2	13.6	3.4	1.7	0.0	1.7	1.7	13.6	27.1
要介護2	24	41.7	20.8	8.3	4.2	0.0	0.0	8.3	0.0	20.8	29.2
要介護3	9	44.4	22.2	22.2	0.0	11.1	0.0	11.1	11.1	33.3	11.1
要介護4	12	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	8.3	41.7	8.3
要介護5	8	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	37.5	25.0

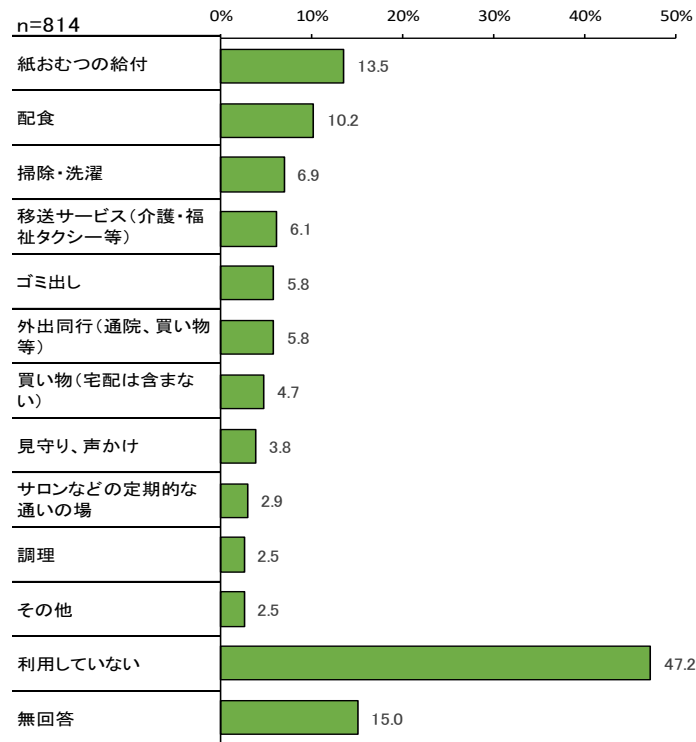
【認知症高齢者自立度別・介護保険サービスを利用していない理由】

介護保険サービスを利用していない理由を認知症高齢者自立度別にみると、自立+Ⅰでは「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が71.6%で最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が31.2%、「家族が介護をするため必要ない」が10.1%となっています。Ⅱでは「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が50.6%で最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が36.4%となっています。Ⅲ以上では「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が35.7%で最も高く、「利用したいサービスが利用できない、身近にない」「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」がそれぞれ14.3%となっています。



問7 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。（あてはまるものすべてに○）

「紙おむつ」が13.5%、「配食」が10.2%、「掃除・洗濯」が6.9%となっています。一方、「利用していない」は47.2%で最も高くなっています。



※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

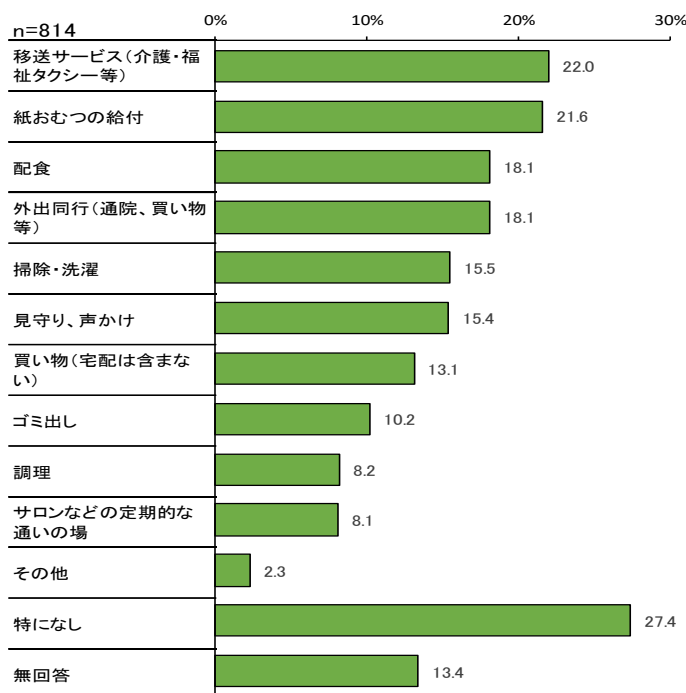
【要介護度別】

要介護度別では、要介護3で「紙おむつの給付」（60.9%）の割合が高くなっています。

	単位：%													
	全体 (件)	配食	調理	掃除・ 洗濯	買い物(宅配は 含まない)	ゴミ出し	外出同行(通院、 買い物等)	福祉タクシー等 (介護・移送サ ービス)	見守り、 声かけ	サロンの 定期的な 通いの場	紙おむ つの給 付	その他	利用 してい ない	無回 答
要支援1	169	11.2	0.6	7.1	4.1	5.9	6.5	3.0	1.8	3.0	1.8	3.0	52.1	20.1
要支援2	152	9.2	4.6	9.9	7.2	8.6	4.6	6.6	2.6	2.0	3.3	2.0	47.4	17.8
要介護1	178	12.4	0.6	7.3	3.9	3.9	7.3	5.1	6.2	5.1	3.9	2.2	57.9	11.8
要介護2	109	11.9	3.7	5.5	7.3	5.5	7.3	6.4	2.8	3.7	5.5	0.9	52.3	17.4
要介護3	69	8.7	4.3	4.3	0.0	5.8	1.4	2.9	5.8	1.4	60.9	5.8	21.7	8.7
要介護4	50	2.0	2.0	0.0	0.0	2.0	0.0	12.0	6.0	2.0	52.0	4.0	32.0	8.0
要介護5	24	0.0	0.0	0.0	4.2	8.3	4.2	8.3	8.3	0.0	66.7	4.2	29.2	0.0

問8 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。
（あてはまるものすべてに○）

「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が22.0%、「紙おむつの給付」が21.6%、「配食」「外出同行（通院、買い物等）」がそれぞれ18.1%となっています。一方、「特になし」は27.4%で最も高くなっています。



※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

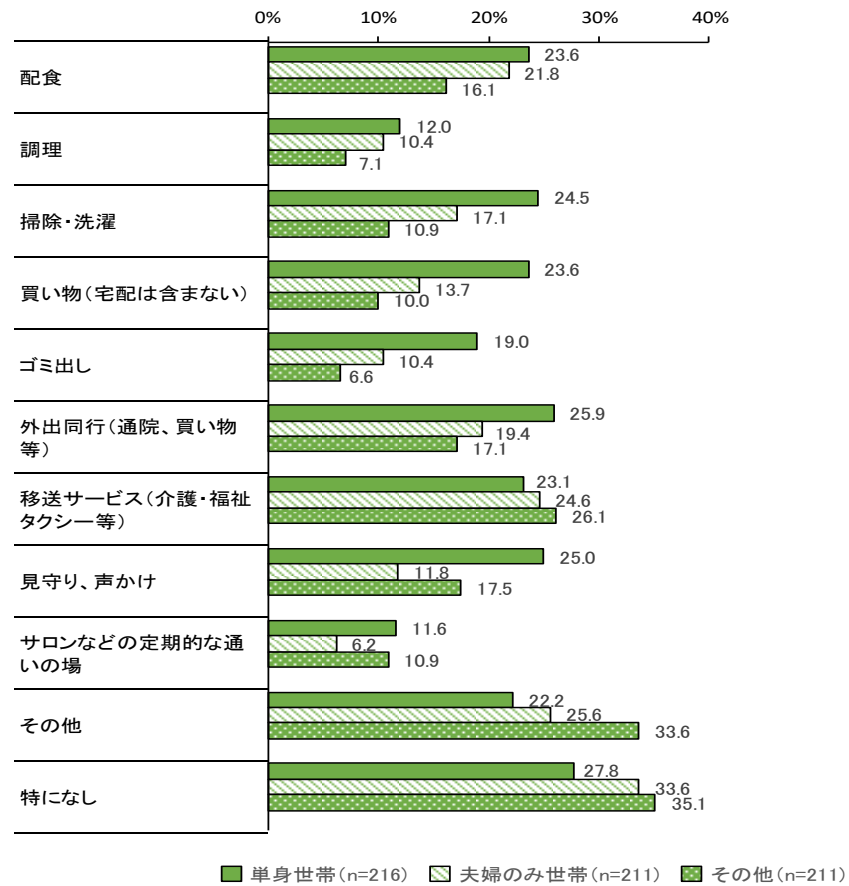
【要介護度別】

要介護度別では、要介護2～要介護5で「紙おむつの給付」が最も高くなっています。

要介護度別	単位：%													
	全体(件)	配食	調理	掃除・洗濯	買い物(宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行(通院、買い物等)	福祉タクシー等	移送サービス(介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	紙おむつの給付	その他	特になし
要支援1	169	18.9	10.1	19.5	20.1	14.8	16.6	18.9	16.6	8.3	10.1	0.6	26.6	16.6
要支援2	152	18.4	7.9	19.7	12.5	11.8	22.4	19.7	15.1	7.9	11.2	1.3	28.9	15.1
要介護1	178	19.1	10.1	12.4	12.4	6.7	18.5	19.7	19.1	10.1	17.4	2.8	32.6	12.4
要介護2	109	15.6	6.4	9.2	11.0	9.2	14.7	22.9	12.8	6.4	32.1	2.8	23.9	11.0
要介護3	69	23.2	8.7	18.8	11.6	8.7	21.7	29.0	17.4	7.2	44.9	7.2	21.7	10.1
要介護4	50	12.0	4.0	6.0	8.0	6.0	8.0	26.0	10.0	10.0	48.0	4.0	18.0	12.0
要介護5	24	8.3	4.2	8.3	8.3	12.5	16.7	20.8	8.3	8.3	37.5	0.0	29.2	12.5

【世帯類型別・在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】

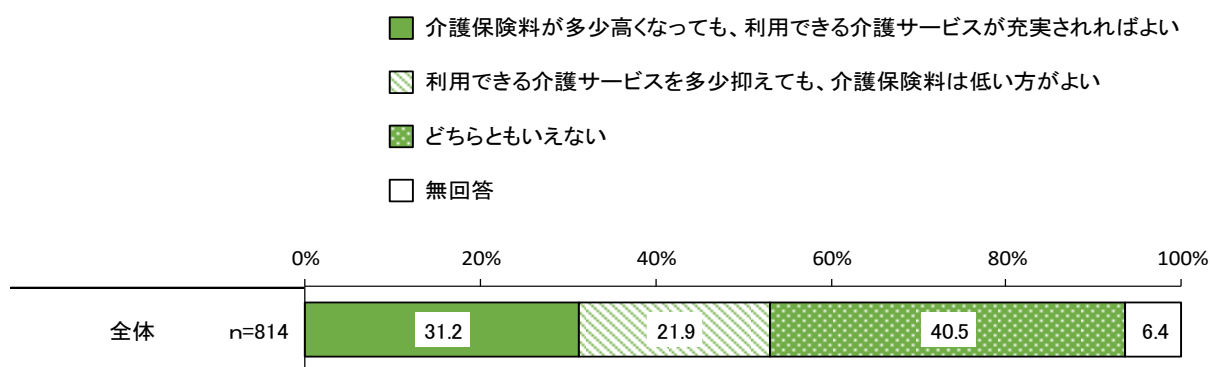
在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスを世帯類型別にみると、単身世帯では「外出同行（通院、買い物など）」が25.9%、「見守り、声かけ」が25.0%、「掃除・洗濯」が24.5%となっています。一方、「特になし」は27.8%で最も高くなっています。夫婦のみ世帯では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が24.6%、「配食」が21.8%、「外出同行（通院、買い物等）」が19.4%となっています。一方、「特になし」が33.6%で最も高くなっています。その他では「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が26.1%、「見守り、声かけ」が17.5%、「外出同行（通院、買い物等）」が17.1%となっています。一方、「特になし」が35.1%で最も高くなっています。



5 介護保険制度・高齢社会について

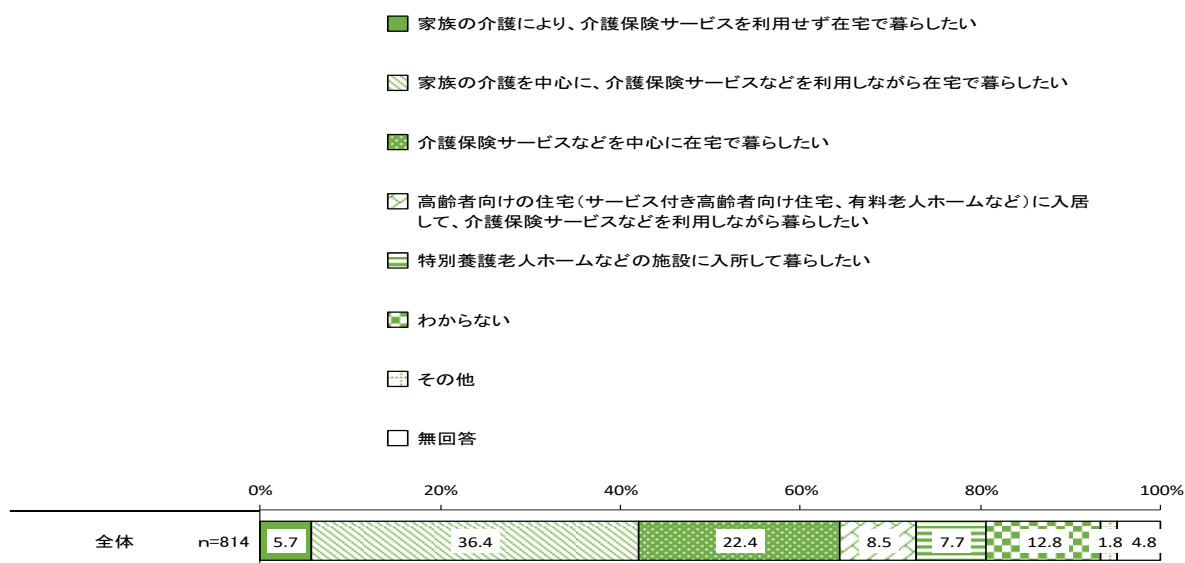
問9 介護保険料の額は、介護サービスの利用量によって決まります。このため、施設が増えたり、介護サービスが充実するなどして利用量が増えると、保険料も増加することになります。このことを踏まえ、介護保険料と介護サービスの関係について、ご本人のお考えに最も近いものは次のうちどれですか。（○は1つ）

「介護保険料が多少高くなっても、利用できる介護サービスが充実されればよい」が 31.2%、「利用できる介護サービスを多少抑えても、介護保険料は低い方がよい」が 21.9%、「どちらともいえない」が 40.5%となっています。



問10 今後、どのように介護してほしいと思いますか。（○は1つ）

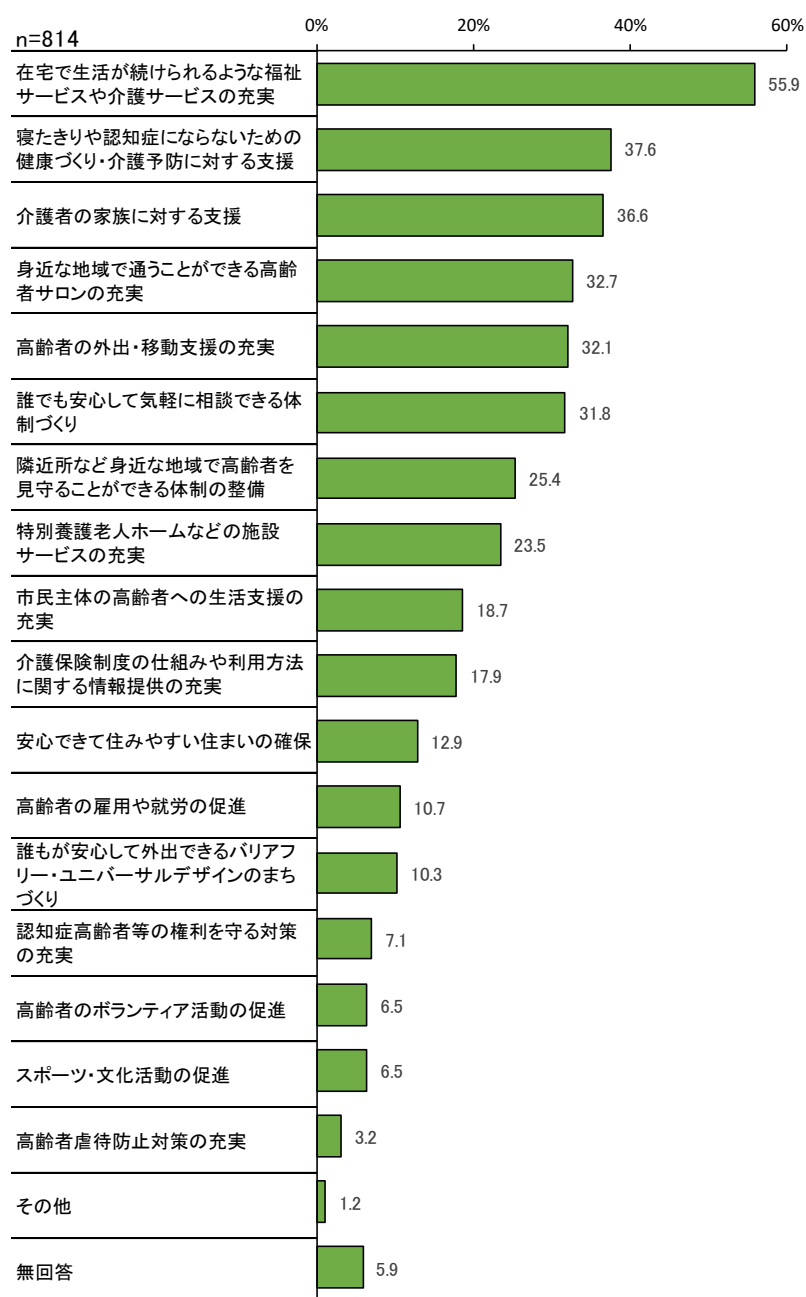
「家族の介護により、介護保険サービスを利用せず在宅で暮らしたい」と「家族の介護を中心に、介護保険サービスなどを利用しながら在宅で暮らしたい」と「介護保険サービスなどを中心に在宅で暮らしたい」を合わせた『在宅生活希望』が 64.5%、「高齢者向けの住宅（サービス付き高齢者向け住宅、有料老人ホームなど）に入居して、介護保険サービスなどを利用しながら暮らしたい」が 8.5%、「特別養護老人ホームなどの施設に入所して暮らしたい」が 7.7%、「わからない」が 12.8%となっています。



問11 高齢社会に向けて、本市は何に重点をおくべきだと思いますか。

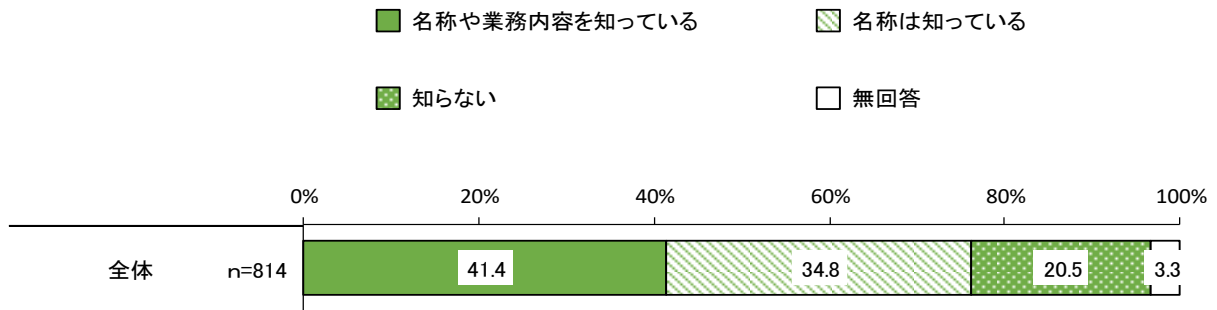
(○は5つまで)

「在宅で生活が続けられるような福祉サービスや介護サービスの充実」が55.9%で最も高く、次いで「寝たきりや認知症にならないための健康づくり・介護予防に対する支援」が37.6%、「介護者の家族に対する支援」が36.6%、「身近な地域で通うことができる高齢者サロンの充実」が32.7%、「高齢者の外出・移動支援の充実」が32.1%となっています。



問12 「尾張旭市地域包括支援センター（※）」を知っていますか。（○は1つ）

「名称や業務内容を知っている」が 41.4%、「名称は知っている」が 34.8%、「知らない」が 20.5%となっています。

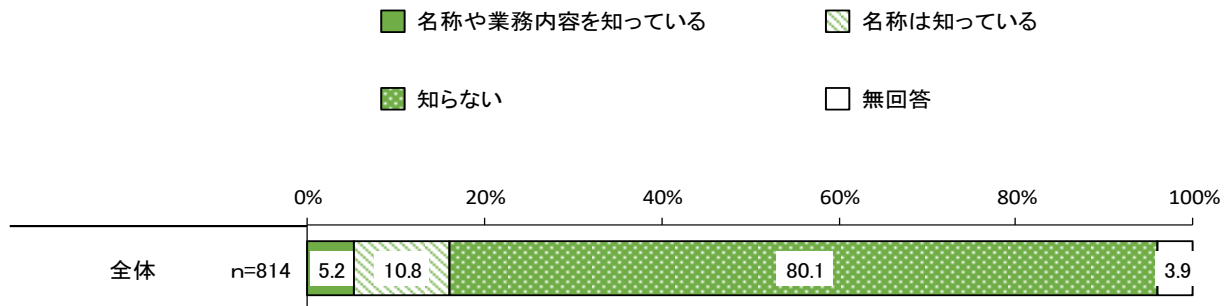


※地域包括支援センターとは

尾張旭市地域包括支援センター（尾張旭市保健福祉センター内・電話0561-55-0654）は、高齢者の皆さんが、いつまでも住み慣れた地域で生活ができるよう支援するための拠点で、介護に関する悩みや心配ごとのほか、健康や福祉、医療に関する様々な支援を行っています。

問13 「尾張東部権利擁護支援センター（※）」を知っていますか。（○は1つ）

「名称や業務内容を知っている」が 5.2%、「名称は知っている」が 10.8%、「知らない」が 80.1%となっています。

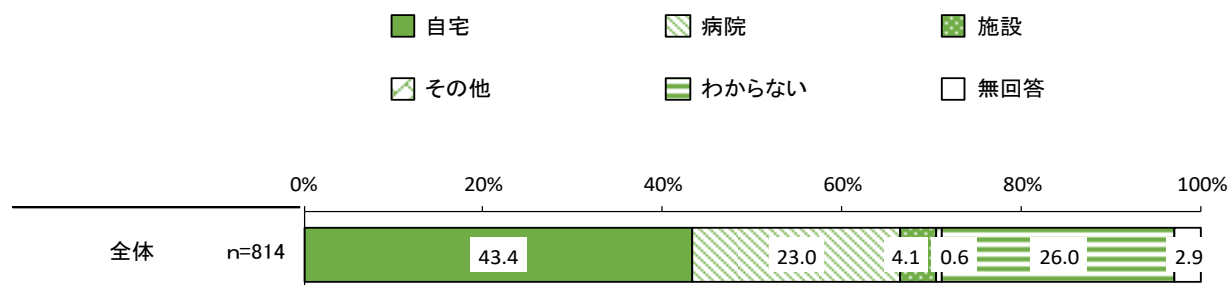


※尾張東部権利擁護支援センターとは

尾張東部権利擁護支援センター（日進市障害者福祉センター内・電話0561-75-5008）は、尾張東部地区の5市1町に居住する判断能力が不十分な認知症の高齢者、知的障がい、精神障がいがある方の財産や権利を守るため、成年後見制度の利用など様々な支援を行っています。

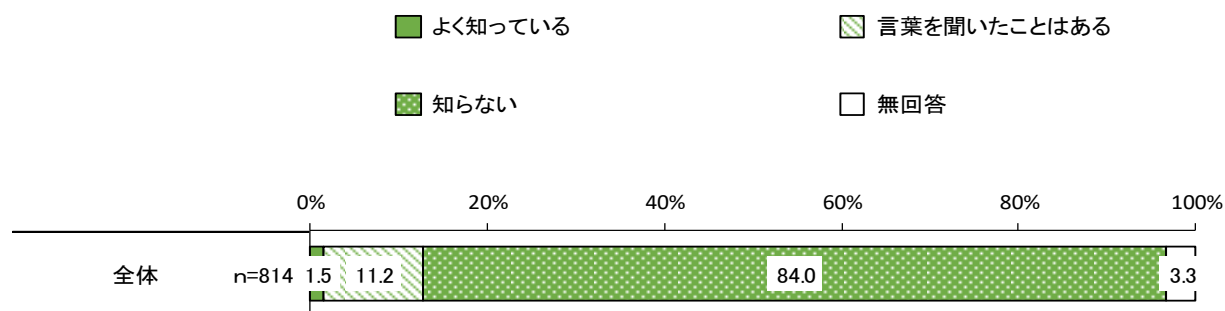
問14 あなたご自身が病気などで最期を迎えるとしたらどこで迎えたいと思いますか。(〇は1つ)

「自宅」が43.4%、「病院」が23.0%、「施設」が4.1%となっています。また、「わからない」が26.0%となっています。



問15 「人生会議」または「ACP」について、知っていますか。(〇は1つ)

「よく知っている」が1.5%、「言葉を聞いたことはある」が11.2%、「知らない」が84.0%となっています。

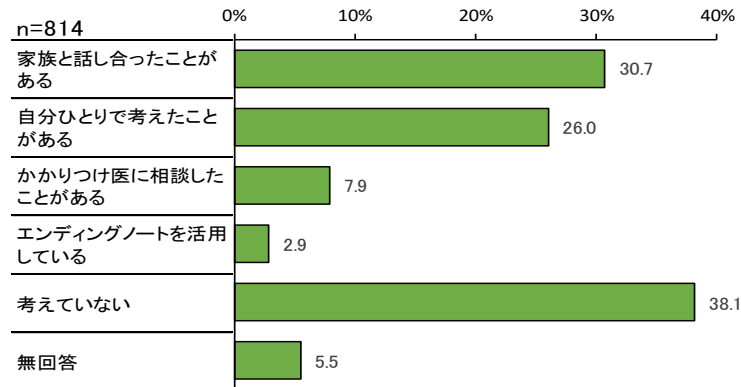


※人生会議（ACP…アドバンス・ケア・プランニング）とは

もしものときのために、自分自身が望む医療やケアについて前もって考え、信頼できる人や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組のことです。

問16 あなたは、万が一のときに備えて、どのような治療やケアを希望するかについて、以下にあてはまるものに○をつけてください。（○はいくつでも）

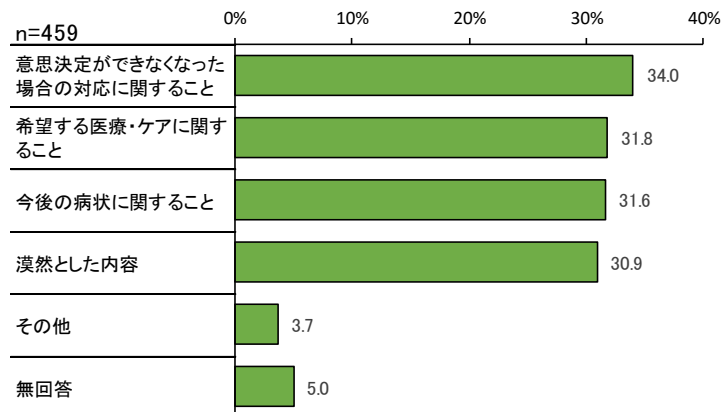
「家族と話し合ったことがある」が30.7%、「自分ひとりで考えたことがある」が26.0%となっています。一方、「考えていない」は38.1%で最も高くなっています。



問16-1 問16で「自分ひとりで考えたことがある」「かかりつけ医に相談したことがある」「家族と話し合ったことがある」「エンディングノートを活用している」と答えた方にお伺いします。

どのような内容を考えてみましたか、または話しましたか。（○はいくつでも）

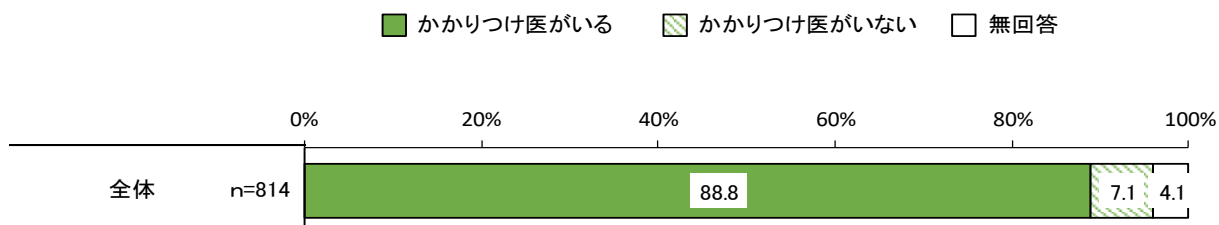
「意思決定ができなくなった場合の対応に関すること」が34.0%で最も高く、次いで「希望する医療・ケアに関すること」が31.8%、「今後の病状に関すること」が31.6%となっています。



6 医療の状況、介護者について

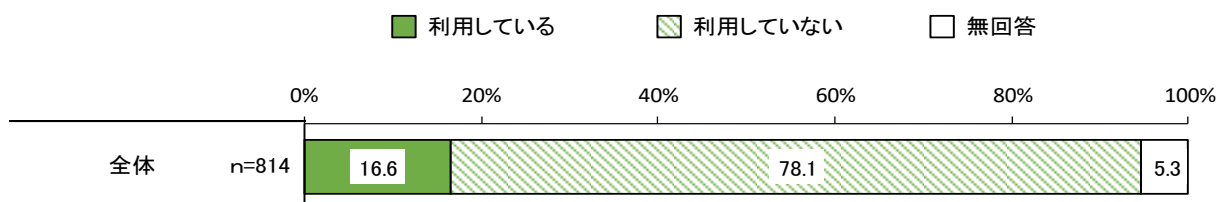
問17 日ごろから治療や指導を受けたり、健康について相談できる「かかりつけ医」はいますか。（○は1つ）

「かかりつけ医がいる」が 88.8%、「かかりつけ医がいない」が 7.1%となっています。



問18 ご本人は、現在、かかりつけ医の訪問診療を利用していますか。（○は1つ）

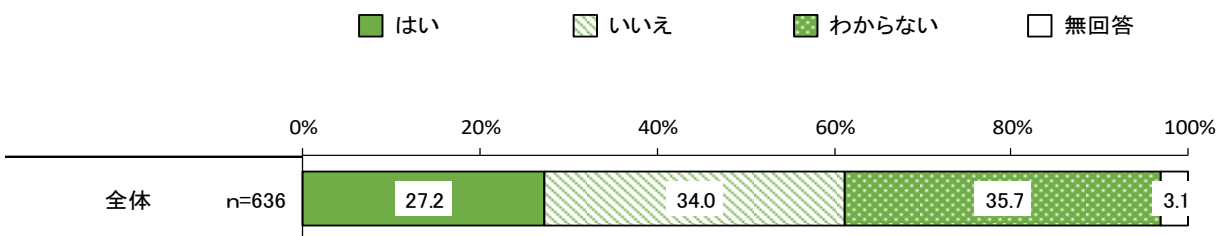
「利用している」が 16.6%、「利用していない」が 78.1%となっています。



※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

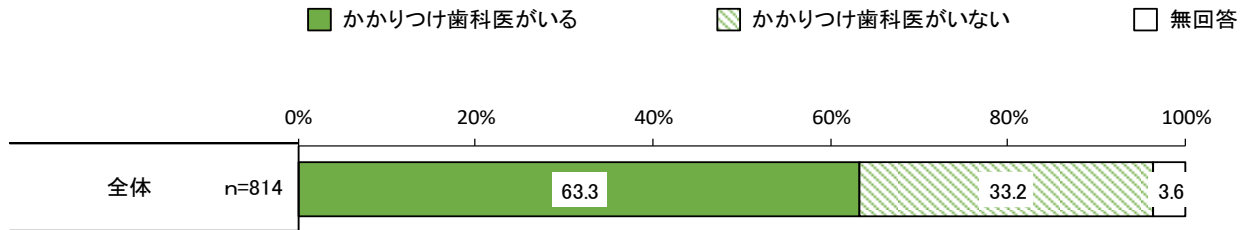
問18-1 問18で「利用していない」と答えた方にお伺いします。訪問診療（医師の訪問）を受けたいと思いますか。（○は1つ）

「はい」が 27.2%、「いいえ」が 34.0%、「わからない」が 35.7%となっています。



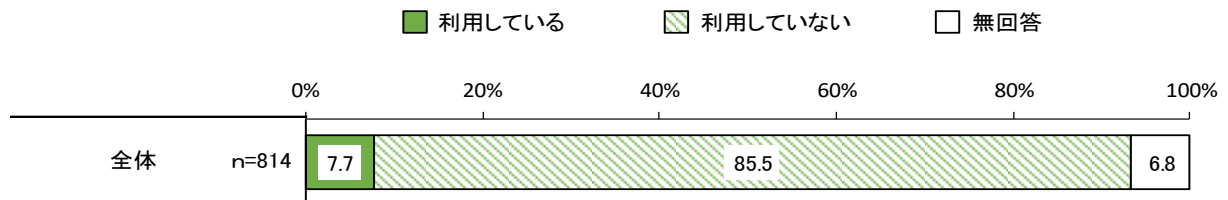
問19 日ごろから治療や指導を受けたり、歯の健康について相談できる「かかりつけ歯科医」はいますか。（○は1つ）

「かかりつけ歯科医がいる」が63.3%、「かかりつけ歯科医がない」が33.2%となっています。



問20 訪問歯科診療（歯科医師や歯科衛生士の訪問）を受けていますか。（○は1つ）

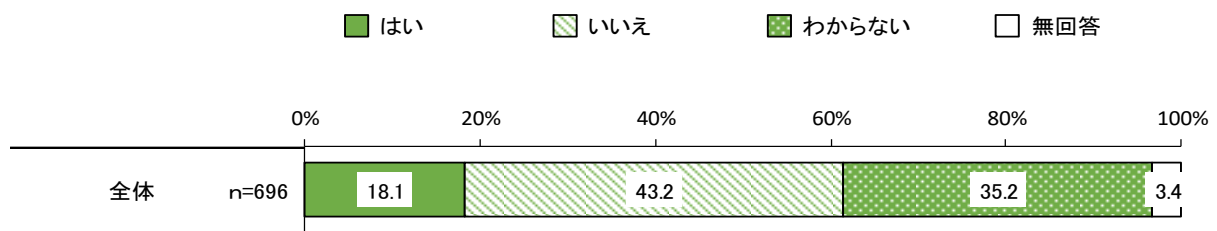
「利用している」が7.7%、「利用していない」が85.5%となっています。



問20-1 問20で「利用していない」と答えた方にお伺いします。

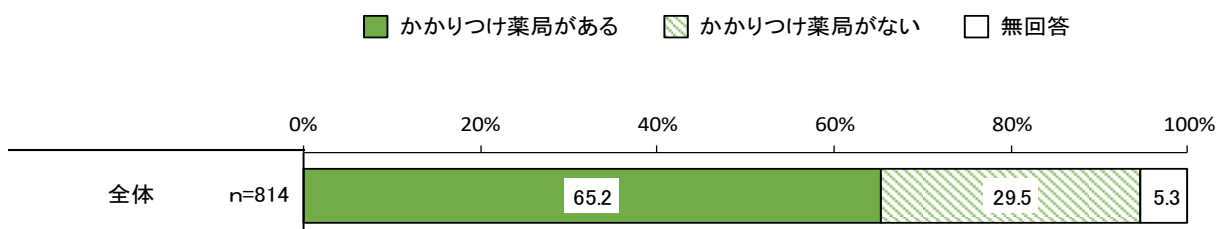
訪問歯科診療（歯科医師や歯科衛生士の訪問）を受けたいと思いますか。（○は1つ）

「はい」が18.1%、「いいえ」が43.2%、「わからない」が35.2%となっています。



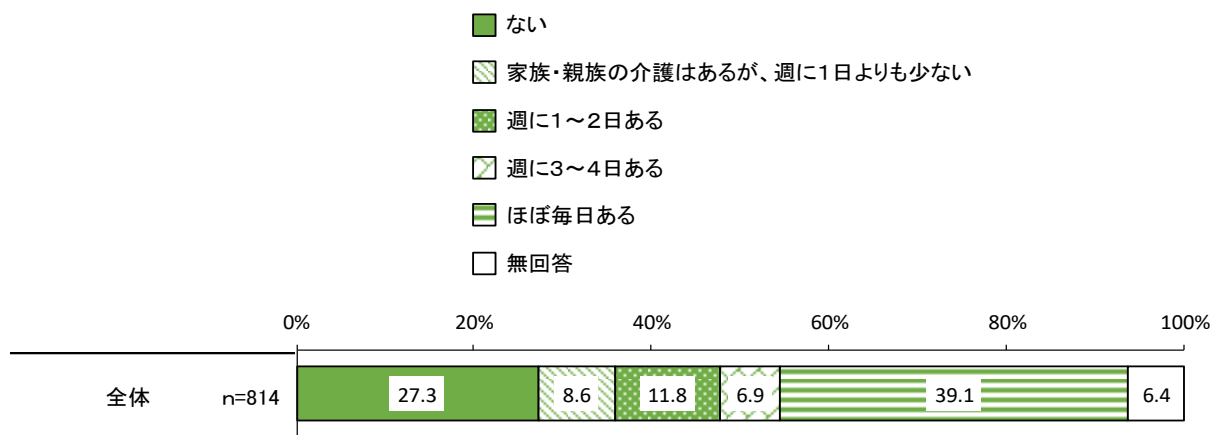
問21 日ごろから指導を受けたり、薬に関して相談できる「かかりつけ薬局」はありますか。（○は1つ）

「かかりつけ薬局がある」が65.2%、「かかりつけ薬局がない」が29.5%となっています。



問22 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。
 (同居していない子どもや親族等からの介護を含む)。(〇は1つ)

「家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない」と「週に1～2日ある」と「週に3～4日ある」と「ほぼ毎日ある」を合わせた『ある』が66.4%、「ない」が27.3%となっています。

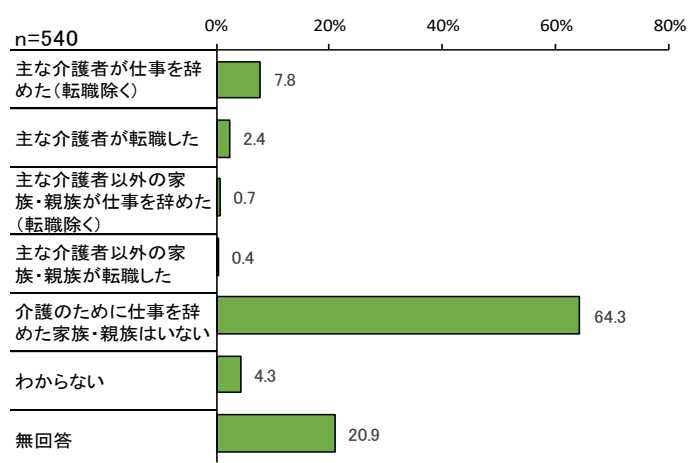


ここからは、問 22 で「2」～「5」を選択された場合に、主に介護している方がお答えください。

7 日常、主に介護している方について

問23 ご家族やご親族の中で、ご本人（宛名の方）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）。（あてはまるものすべてに○）

「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が 7.8%、「主な介護者が転職した」が 2.4%となっています。一方、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」は 64.3%で最も高くなっています。



※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

【要介護度別】

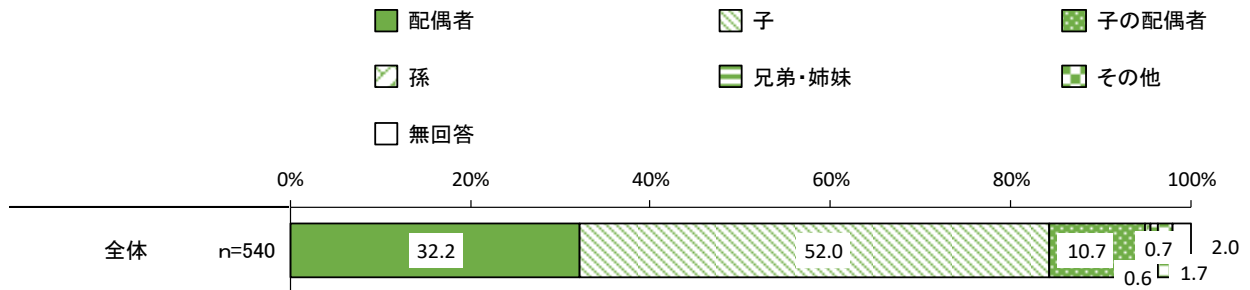
要介護度別では、すべての要介護度で「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が最も高くなっています。

単位：%

	全体 (件)	主な介護者が仕事を辞めた (転職除く)	主な介護者以外 の家族・親族が 仕事を辞めた (転職除く)	主な介護者以外 の家族・親族が 転職した	主な介護者以外 の家族・親族が 転職し	介護のために仕事を辞めた 家族・親族はいない	わからない	無回答
要介護度別								
要支援 1	89	10.1	1.1	3.4	0.0	52.8	5.6	28.1
要支援 2	86	7.0	0.0	1.2	0.0	62.8	2.3	26.7
要介護 1	139	7.2	0.7	2.9	0.0	71.2	5.0	13.7
要介護 2	92	9.8	0.0	3.3	2.2	63.0	4.3	19.6
要介護 3	48	2.1	0.0	2.1	0.0	77.1	2.1	16.7
要介護 4	36	8.3	2.8	0.0	0.0	61.1	8.3	19.4
要介護 5	13	0.0	0.0	7.7	0.0	69.2	7.7	15.4

問24 主な介護者の方はどなたですか。ご本人からみた続柄をお答えください。
(○は1つ)

「子」が52.0%で最も高く、次いで「配偶者」が32.2%、「子の配偶者」が10.7%となっています。

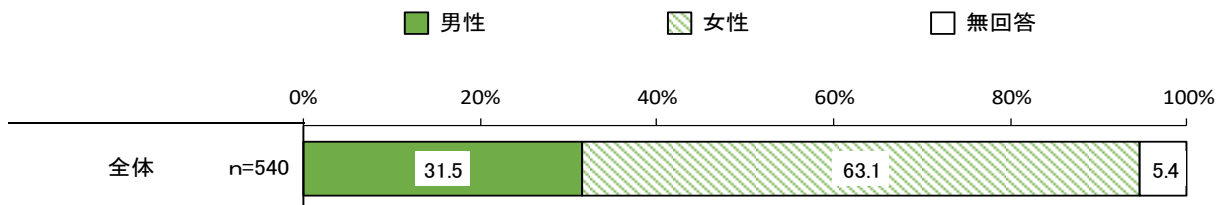


問25 主な介護者の方の性別・年齢・健康状態等についてお答えください。
(○はそれぞれ1つ)

①主な介護者の方の性別について、ご回答ください

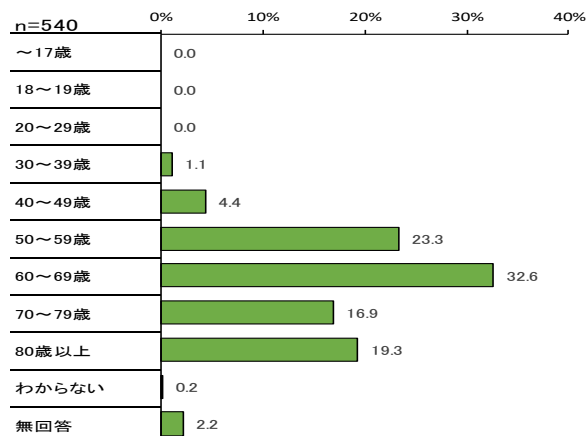
(※性別を選択することに違和感や抵抗がある場合は、お答えいただかなくても結構です。)

「男性」が31.5%、「女性」が63.1%となっています。



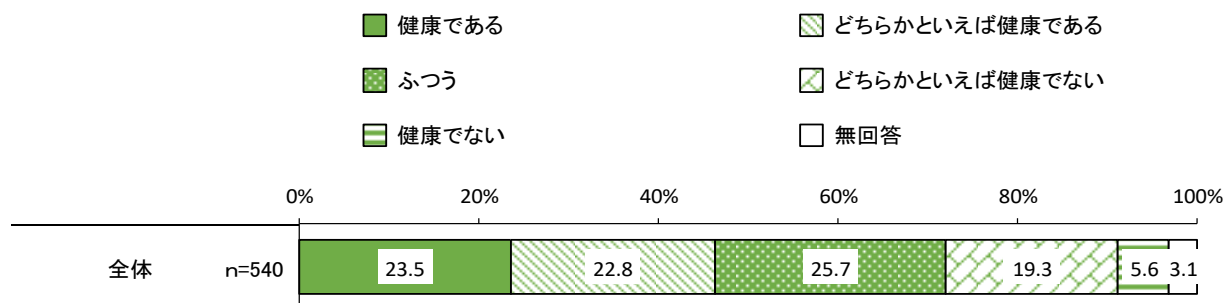
②主な介護者の方の年齢について、ご回答ください

「60～69歳」が32.6%で最も高く、次いで「50～59歳」が23.3%、「80歳以上」が19.3%となっています。



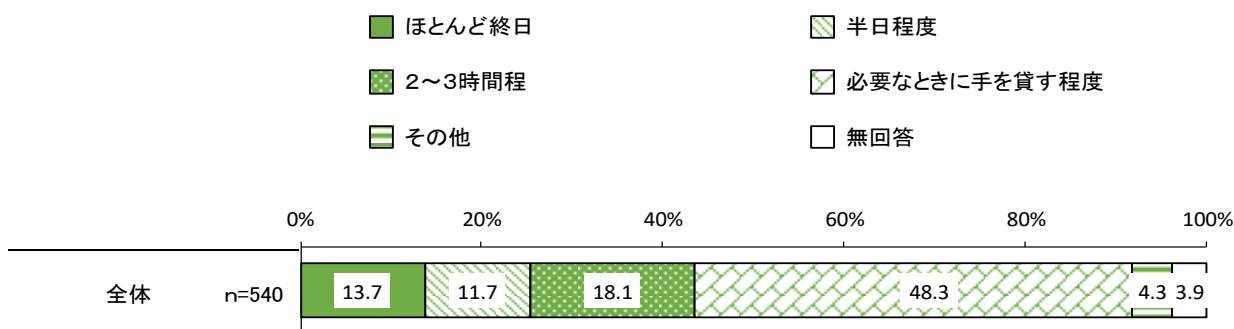
③ 【健康状態】

「健康である」と「どちらかといえば健康である」を合わせた『健康である』が46.3%、「ふつう」が25.7%、「どちらかといえば健康でない」と「健康でない」を合わせた『健康でない』が24.9%となっています。



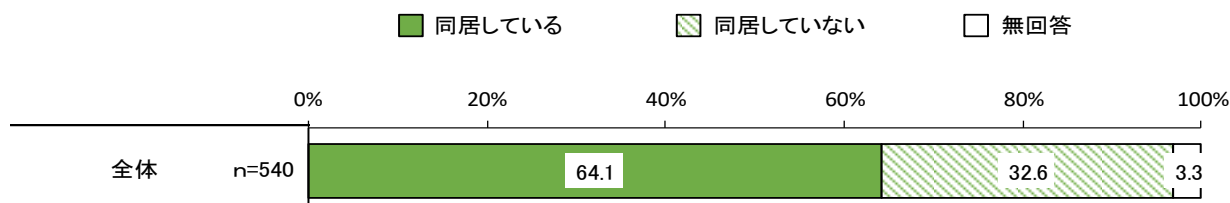
④ 【1日あたりの介護に要する時間】

「必要なときに手を貸す程度」が48.3%で最も高く、次いで「2～3時間程」が18.1%、「ほとんど終日」が13.7%となっています。



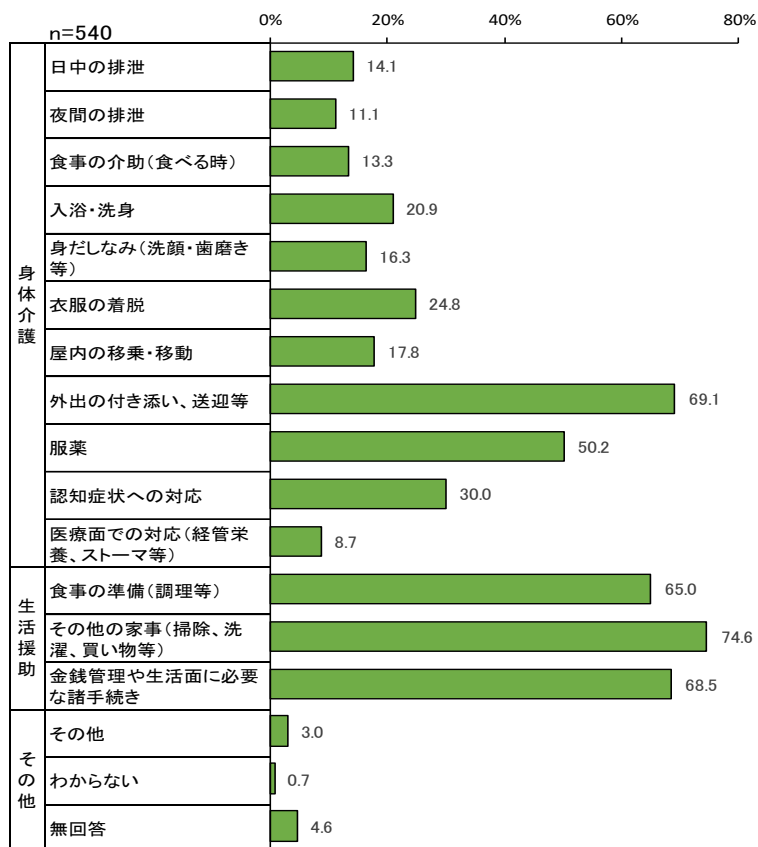
⑤ 【ご本人との同居】

「同居している」が64.1%、「同居していない」が32.6%となっています。



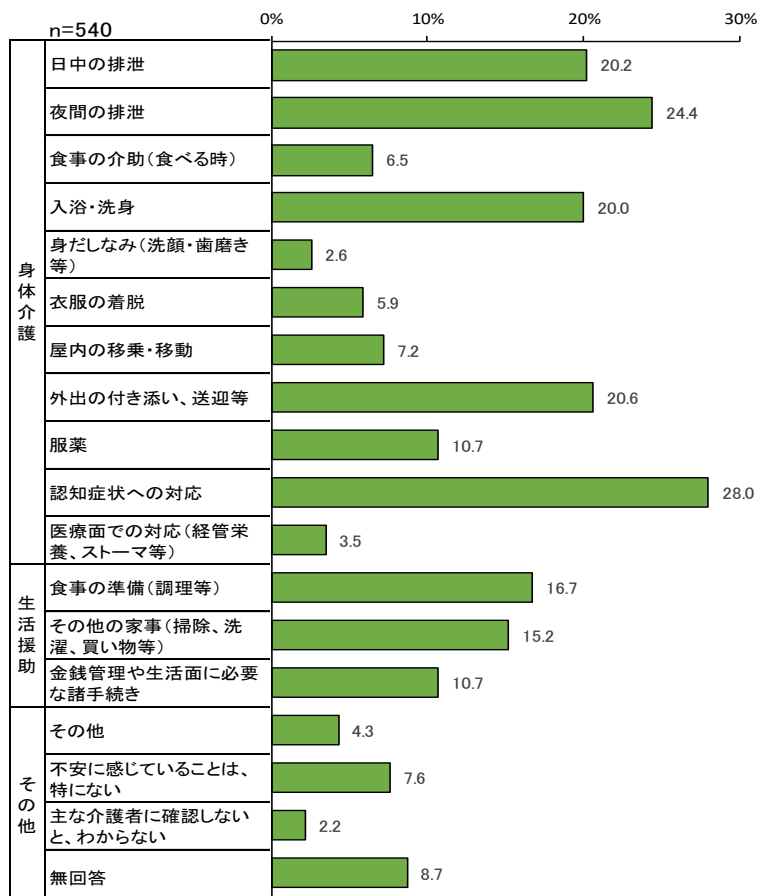
問26 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。
 (あてはまるものすべてに○)

「その他の家事(掃除・洗濯、買い物等)」が74.6%で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が69.1%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が68.5%となっています。



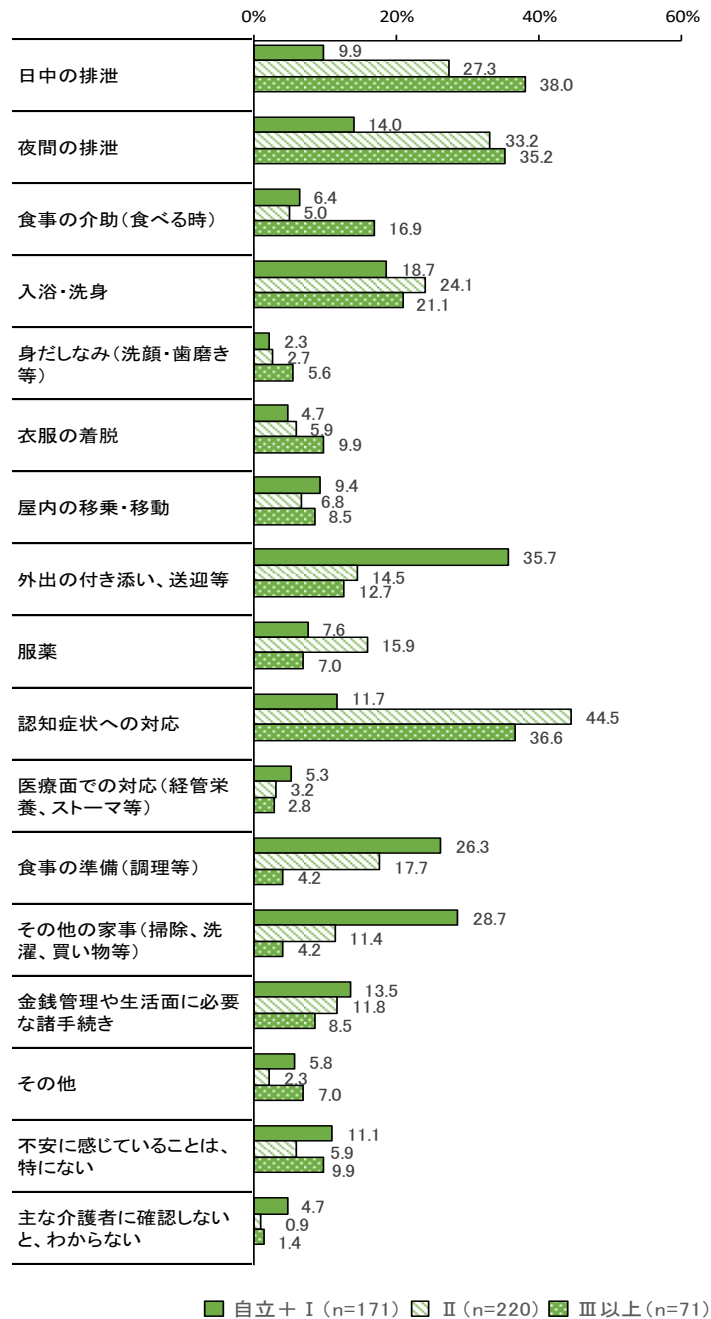
問27 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）。
（〇は3つまで）

「認知症状への対応」が28.0%で最も高く、次いで「夜間の排泄」が24.4%、「外出の付き添い、送迎等」が20.6%となっています。



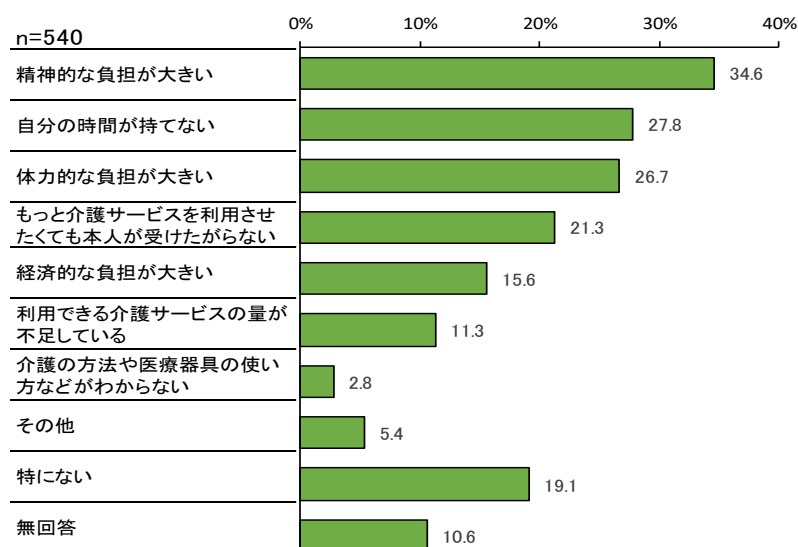
【認知症高齢者自立度別・介護者が不安に感じる介護】

介護者が不安に感じる介護を認知症高齢者自立度別にみると、自立+ I では「外出の付き添い、送迎等」が 35.7%で最も高く、次いで「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が 28.7%、「食事の準備（調理等）」が 26.3%となっています。II では「認知症状への対応」が 44.5%で最も高く、次いで「夜間の排泄」が 33.2%、「日中の排泄」が 27.3%となっています。III 以上では「日中の排泄」が 38.0%で最も高く、次いで「認知症状への対応」が 36.6%、「夜間の排泄」が 35.2%となっています。



問28 介護をするうえで困っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「精神的な負担が大きい」が 34.6%で最も高く、次いで「自分の時間が持てない」が 27.8%、「体力的な負担が大きい」が 26.7%となっています。



【要介護度別】

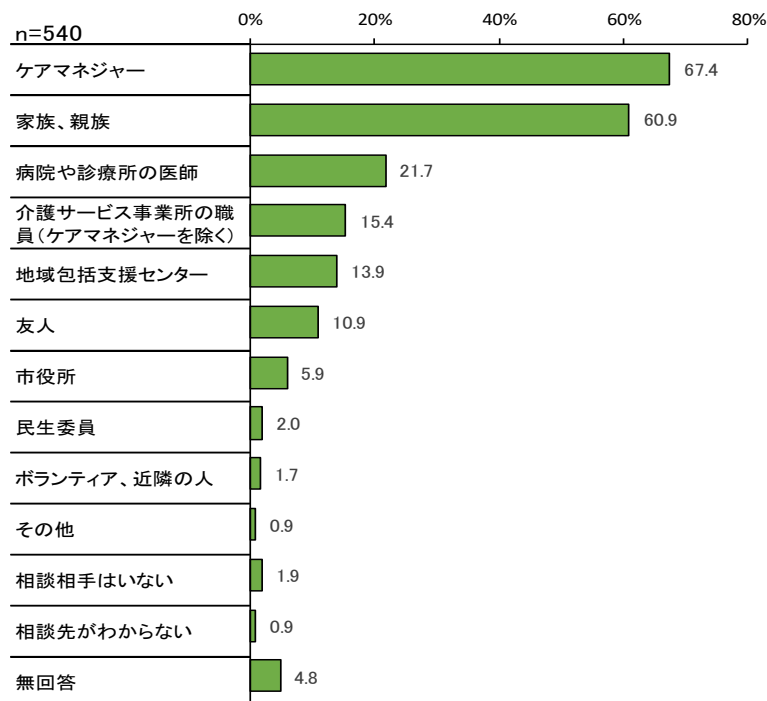
要介護度別では、要介護4で「自分の時間が持てない」(44.4%)の割合が高くなっています。

単位：%

	全体(件)	もっとも介護サービスを利用させたくても本人が受けたがらない	利用できる介護サービスの量が不足している	精神的な負担が大きい	体力的な負担が大きい	経済的な負担が大きい	介護の方法や医療器具の使い方などがわからない	自分の時間が持てない	その他	特にない	無回答
要介護度別											
要支援1	89	18.0	19.1	18.0	12.4	5.6	2.2	19.1	7.9	20.2	21.3
要支援2	86	16.3	14.0	20.9	12.8	11.6	0.0	19.8	5.8	34.9	10.5
要介護1	139	26.6	11.5	46.0	24.5	12.9	2.2	28.8	3.6	14.4	9.4
要介護2	92	23.9	12.0	31.5	23.9	19.6	5.4	26.1	10.9	15.2	8.7
要介護3	48	14.6	2.1	50.0	52.1	27.1	2.1	41.7	2.1	14.6	4.2
要介護4	36	11.1	5.6	38.9	52.8	36.1	2.8	44.4	2.8	13.9	2.8
要介護5	13	15.4	0.0	53.8	61.5	15.4	7.7	46.2	0.0	15.4	0.0

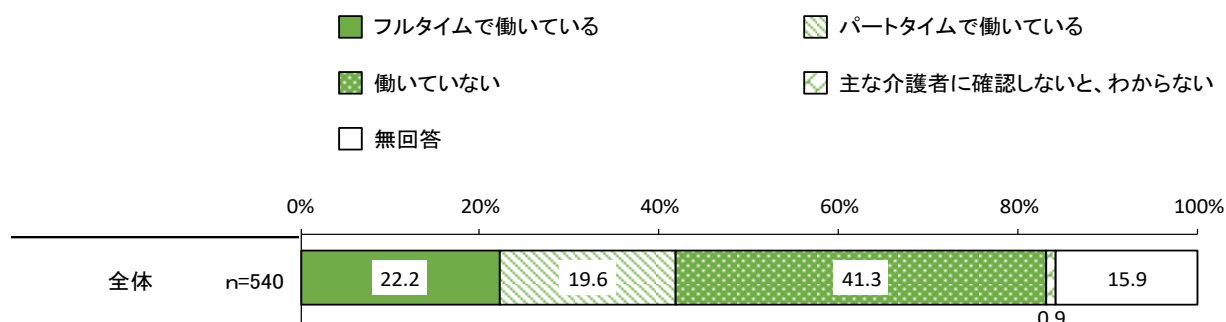
問29 介護のことで困ったとき、どこ（誰）に相談しますか。
 （あてはまるものすべてに○）

「ケアマネジャー」が67.4%で最も高く、次いで「家族・親族」が60.9%、「病院や診療所の医師」が21.7%となっています。



問30 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。（○は1つ）

「フルタイムで働いている」が22.2%、「パートタイムで働いている」が19.6%となっています。一方、「働いていない」が41.3%で最も高くなっています。

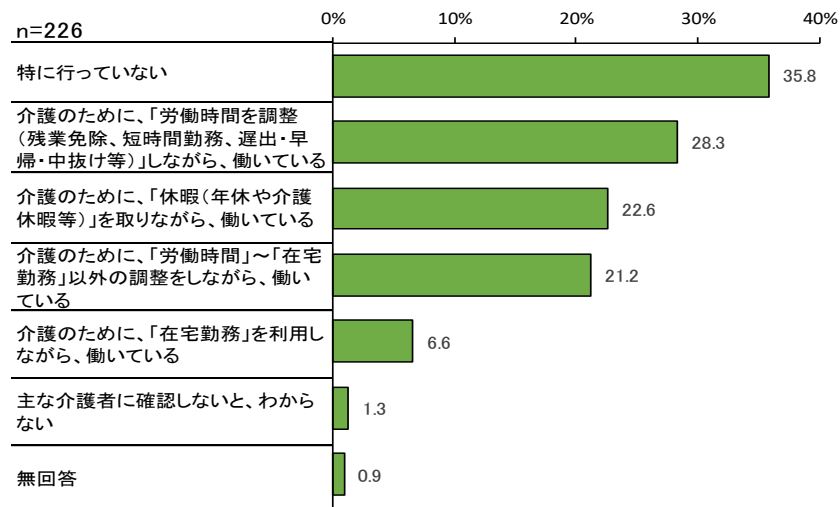


※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」「嘱託」「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問 30 で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と答えた方は、以下の問 30-1～問 30-3 の質問にお答えください。

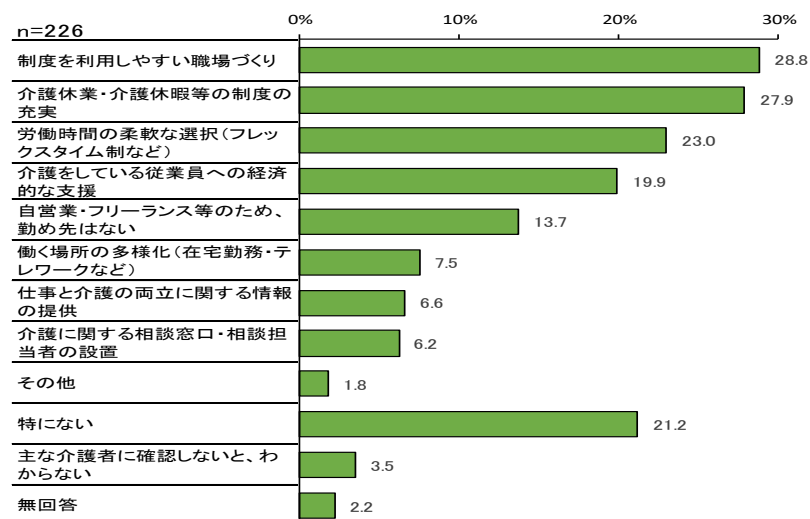
問30-1 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか。（あてはまるものすべてに○）

「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が 28.3%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が 22.6%、「介護のために、「労働時間」～「在宅勤務」以外の調整をしながら、働いている」が 21.2%となっています。一方、「特に行っていない」は 35.8%で最も高くなっています。



問30-2 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。（○は3つまで）

「制度を利用しやすい職場づくり」が 28.8%で最も高く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が 27.9%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が 23.0%となっています。



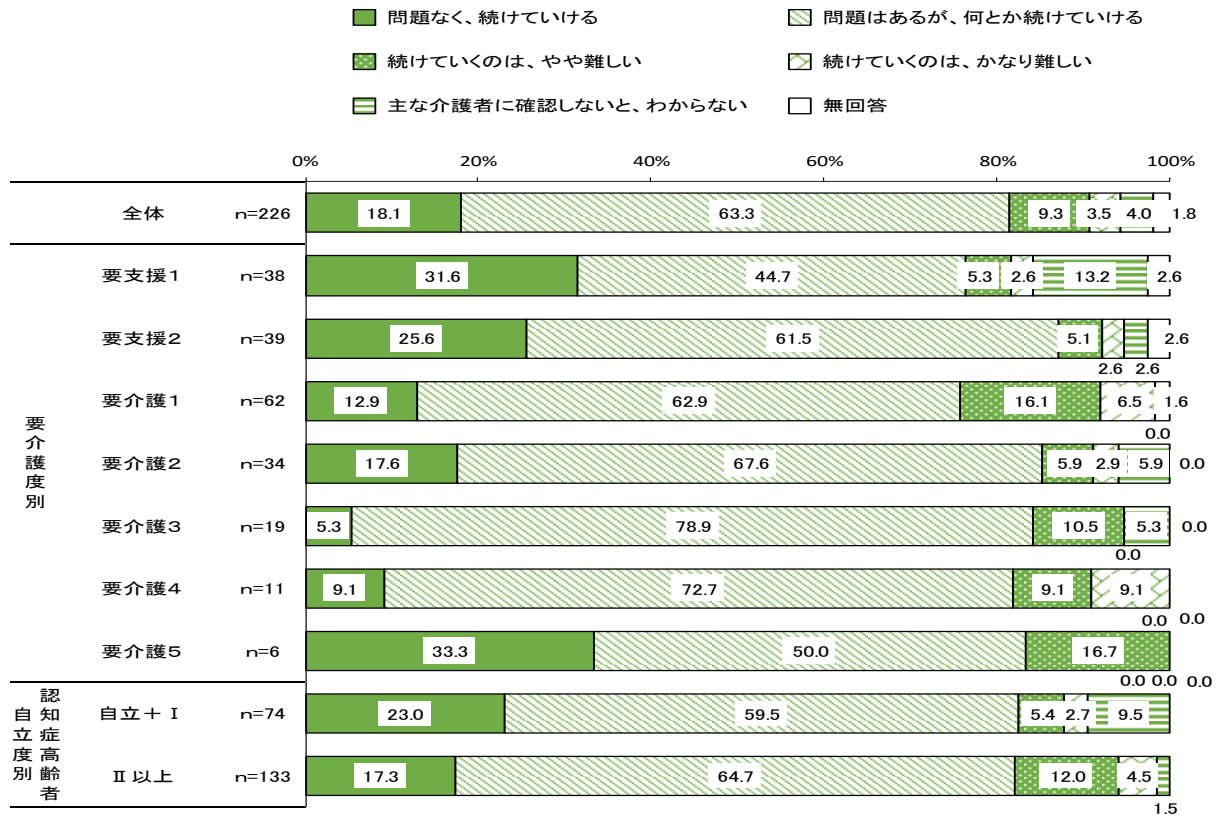
問30-3 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。

(○は1つ)

「問題なく、続けていける」と「問題はあるが、何とか続けていける」を合わせた『続けていける』が81.4%、「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」を合わせた『続けていくのは難しい』が12.8%となっています。

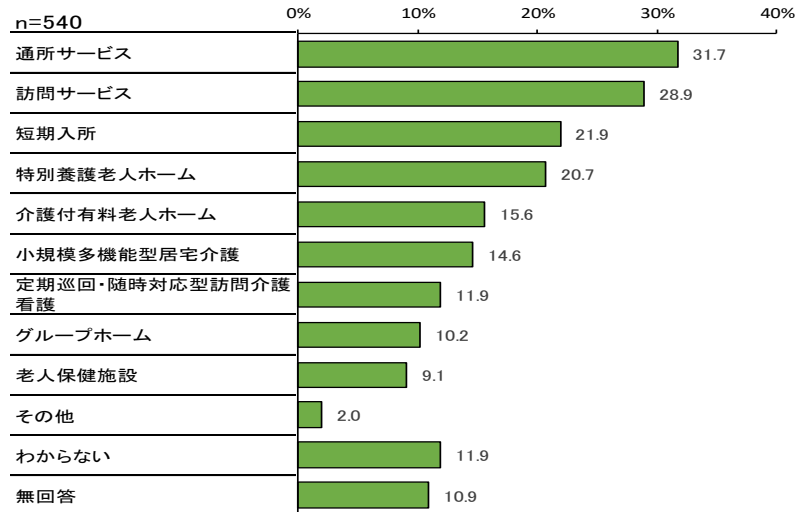
要介護度別では、『続けていける』は要支援2（87.1%）で最も高くなっています。

認知症高齢者自立度別では、『続けていける』は自立+Iで82.5%、II以上で82.0%となっています。



問31 今後、どのようなサービスを充実していく必要があると思いますか。
(○は3つまで)

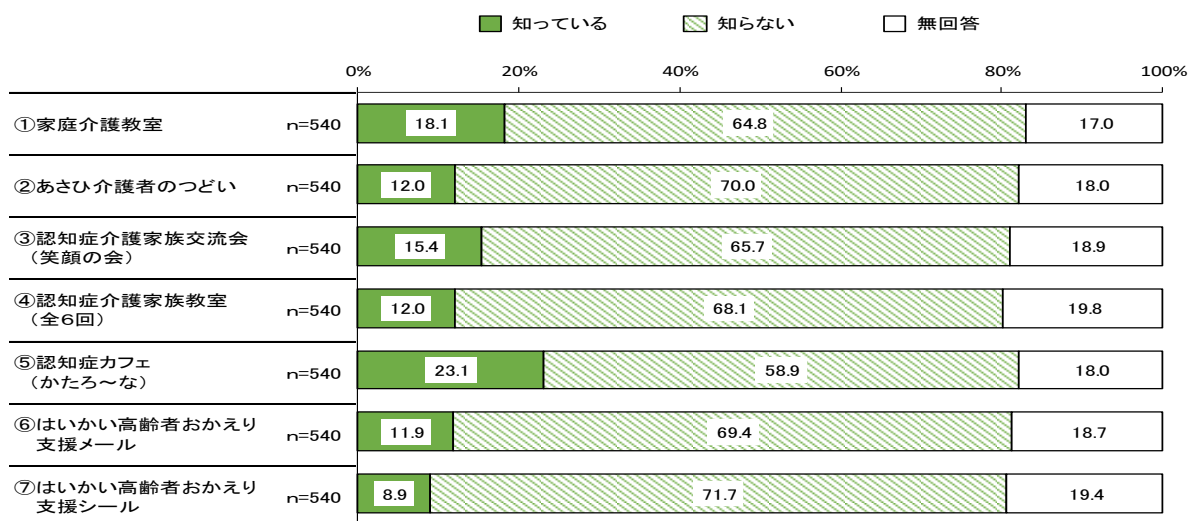
「通所サービス」が31.7%で最も高く、次いで「訪問サービス」が28.9%、「短期入所」が21.9%となっています。



問32 現在本市で行っている次の介護者支援・認知症関係事業における、主な介護者の方の参加状況・意向等について、①から⑦までの認知症関係事業ごとに、あてはまるものに○をつけてください。

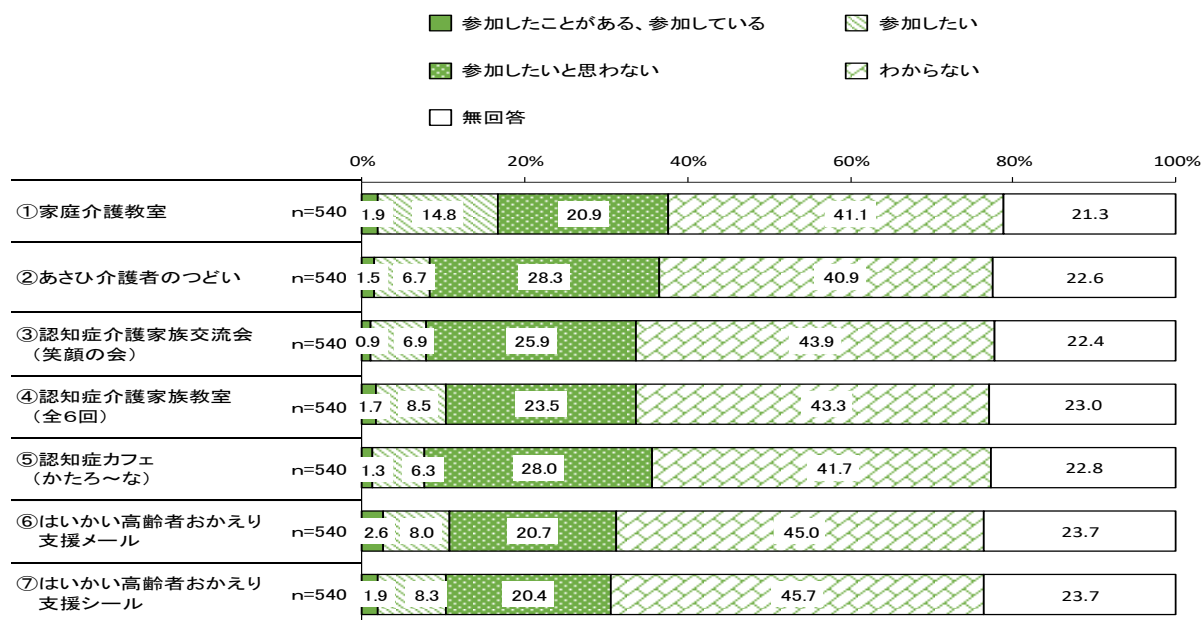
(1) 事業の認知度

「⑤認知症カフェ(かたろ～な)」は、「知っている」(23.1%)が2割を超えています。一方、「②あさひ介護者のつどい」(70.0%)、「⑦はいかい高齢者おかえり支援シール」(71.7%)は、「知らない」が7割を超えています。



(2)参加状況・意向

「①家庭介護教室」(16.7%)、「④認知症介護家族教室(全6回)」(10.2%)、「⑥はいはい高齢者おかえり支援メール」(10.6%)、「⑦はいはい高齢者おかえり支援シール」(10.2%)は、「参加したことがある、参加している」と「参加したい」を合わせた『参加意向あり』が1割を超えています。

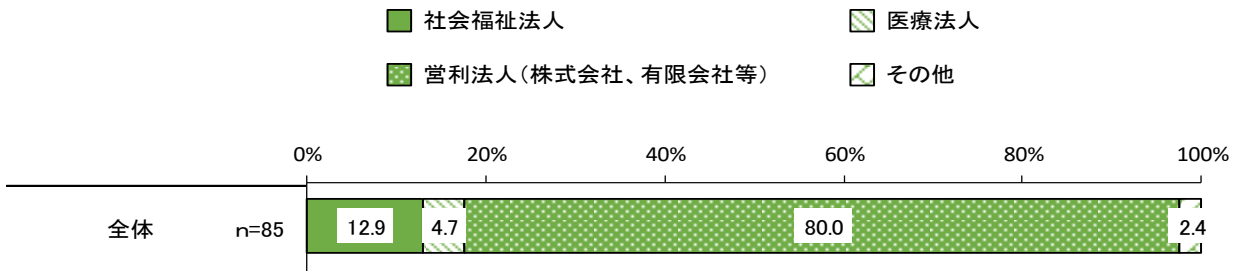


IV 介護サービス提供事業者調査結果

1 貴事業所について

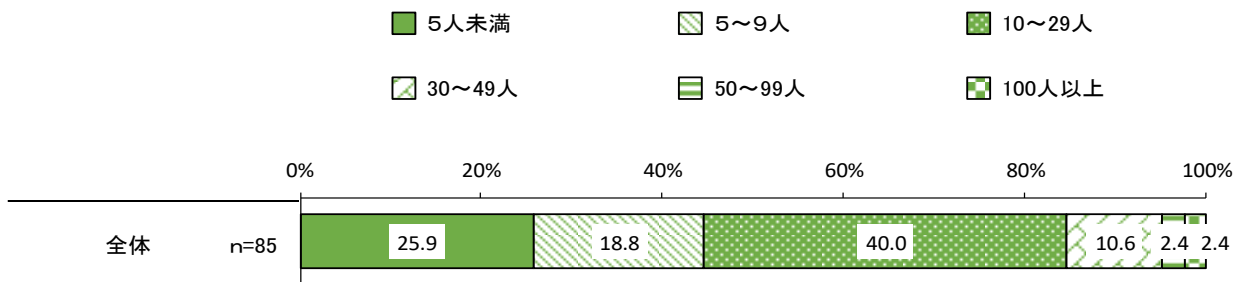
問1 貴事業所の法人格についてあてはまるものはどれですか。(○は1つ)

「営利法人(株式会社、有限会社等)」が80.0%で最も高く、次いで「社会福祉法人」が12.9%、「医療法人」が4.7%となっています。



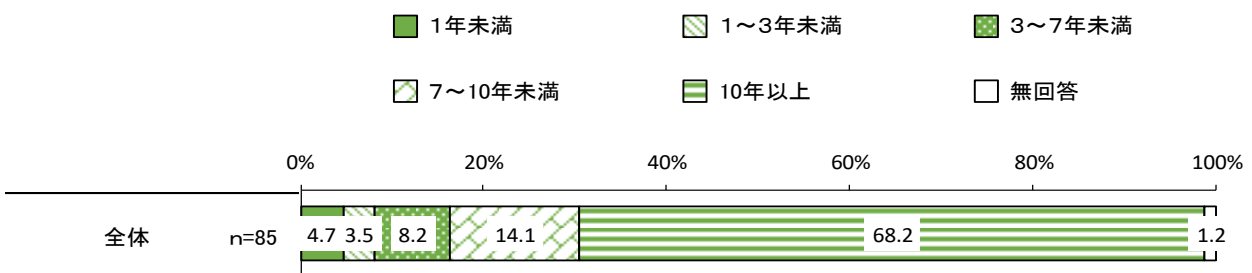
問2 貴事業所の従業員は何人ですか。(○は1つ)

「10~29人」が40.0%で最も高く、次いで「5人未満」が25.9%、「5~9人」が18.8%となっています。



問3 貴事業所の運営年数は何年ですか。(○は1つ)

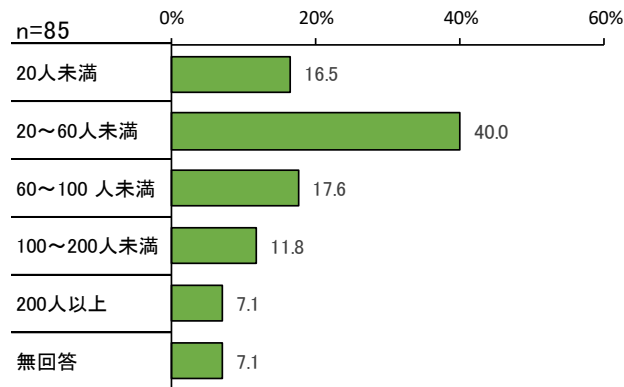
「10年以上」が68.2%で最も高く、次いで「7~10年未満」が14.1%となっています。



問4 貴事業所の利用状況をお答えください。(数字を記入)

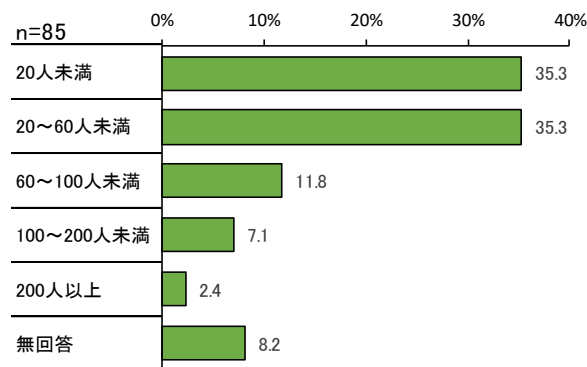
【事業所全体の実利用者数（令和4年12月利用分）】

「20～60人未満」が40.0%で最も高く、次いで「60～100人未満」が17.6%、「20人未満」が16.5%となっています。



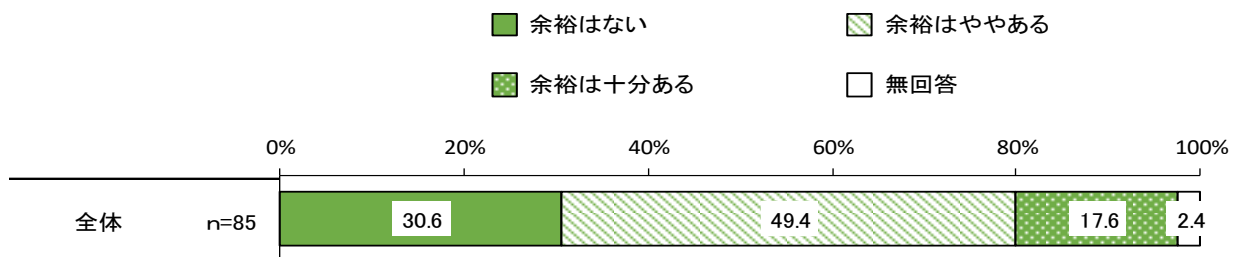
【うち尾張旭市民の実利用者数】

「20人未満」、「20～60人未満」がそれぞれ35.3%で最も高く、次いで「60～100人未満」が11.8%となっています。



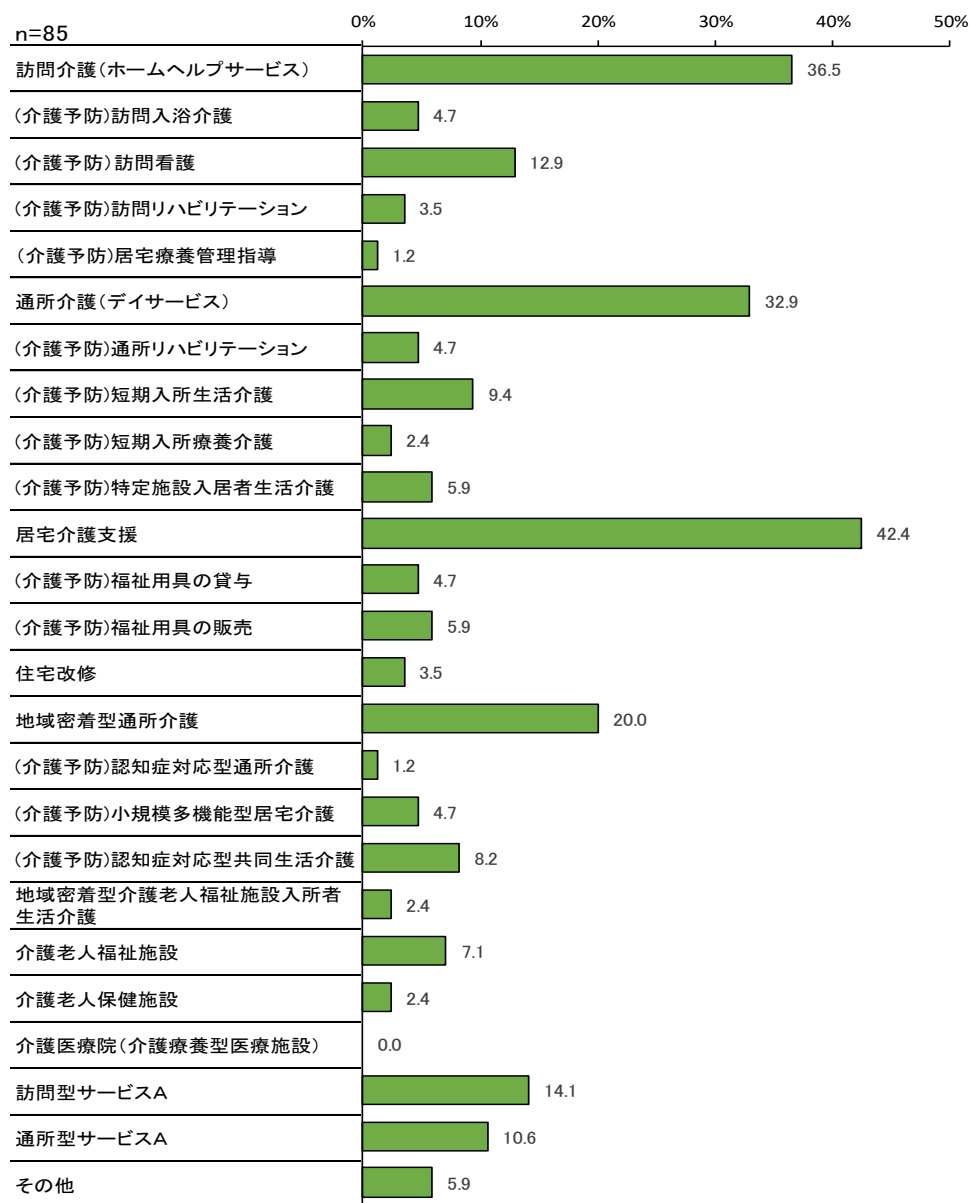
問5 貴事業所のサービス受け入れ状況についてお答えください。(○は1つ)

「余裕はない」が30.6%、「余裕はややある」と「余裕は十分ある」を合わせた『余裕はある』が67.0%となっています。



問6 貴法人における介護サービスの現在の実施状況について、各項目で該当するものに○をつけてください。

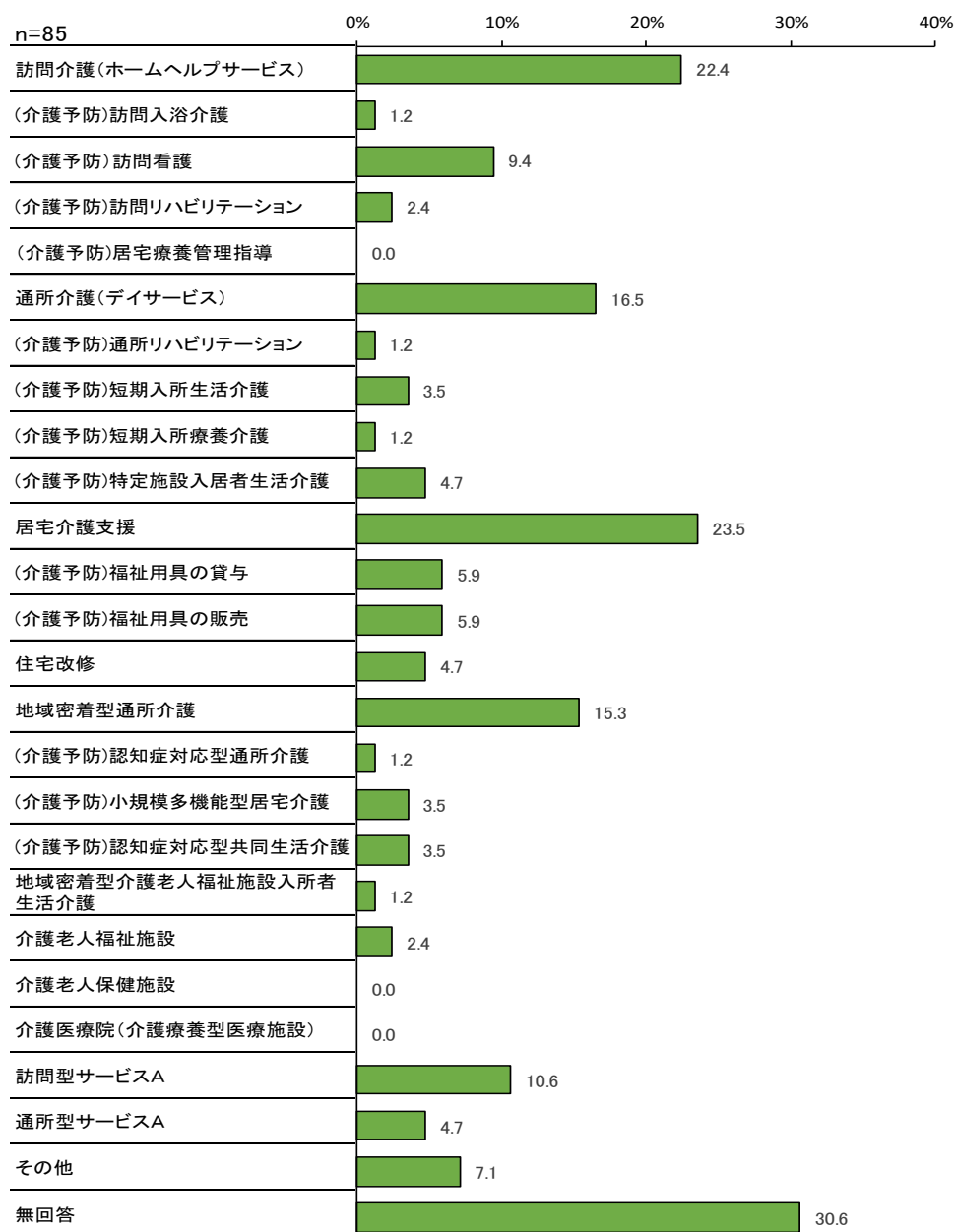
「居宅介護支援」が42.4%で最も高く、次いで「訪問介護(ホームヘルプサービス)」が36.5%、「通所介護(デイサービス)」が32.9%となっています。



※訪問型サービスA・通所型サービスAは、介護予防・日常生活支援総合事業です。

問7 貴法人における介護サービスの今後の実施予定について、各項目で該当するものに○をつけてください。

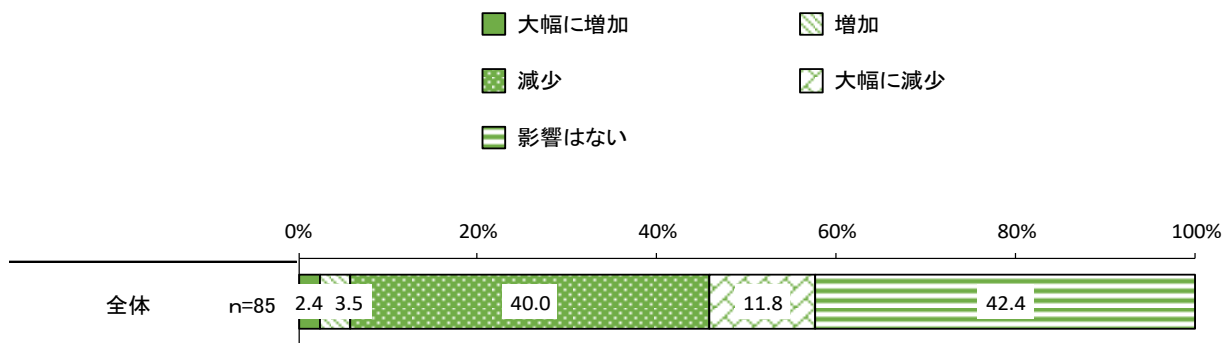
「居宅介護支援」が23.5%、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」が22.4%、「通所介護（デイサービス）」が16.5%となっています。



※訪問型サービスA・通所型サービスAは、介護予防・日常生活支援総合事業です。

問8 利用者数について、新型コロナウイルス感染症の影響は受けましたか。
 (○は1つ)

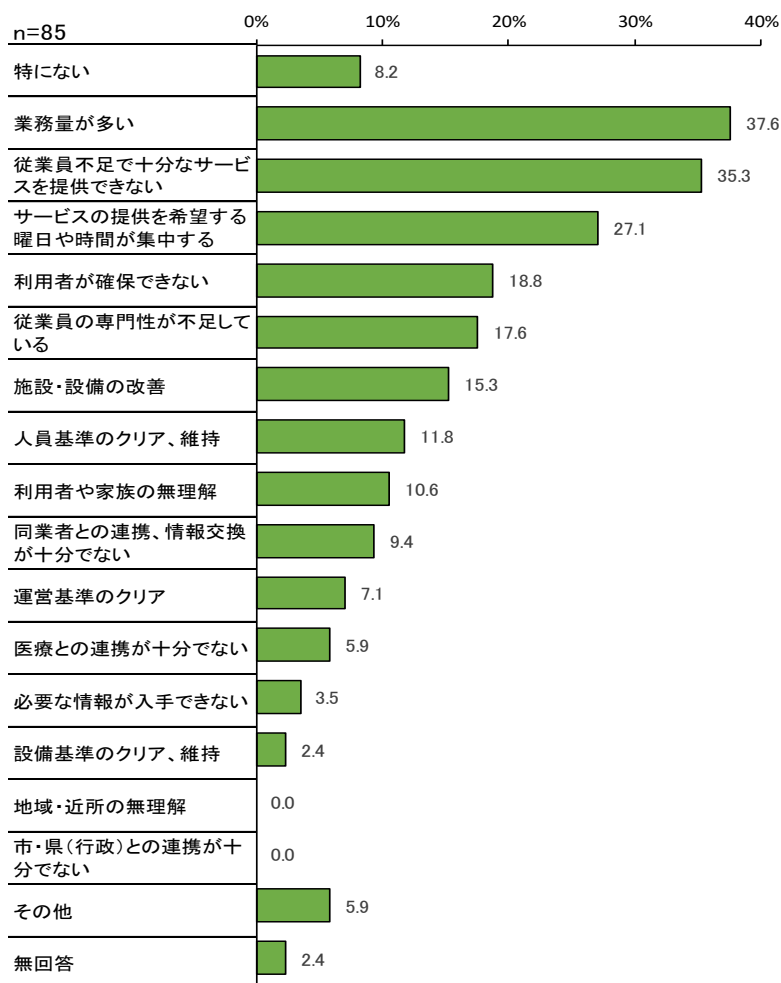
「大幅に増加」と「増加」を合わせた『増加』が5.9%、「減少」と「大幅に減少」を合わせた『減少』が51.8%となっています。



2 事業所運営上の課題について

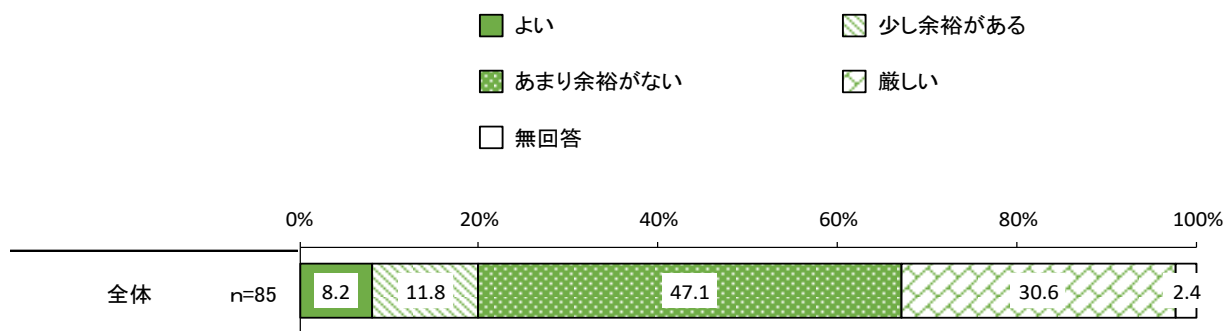
問9 事業所を円滑に運営していく上で困っていることはありますか。
(〇はいくつでも)

「業務量が多い」が37.6%で最も高く、次いで「従業員不足で十分なサービスを提供できない」が35.3%、「サービスの提供を希望する曜日や時間が集中する」が27.1%となっています。



問10 貴事業所の経営状況はいかがですか。(○は1つ)

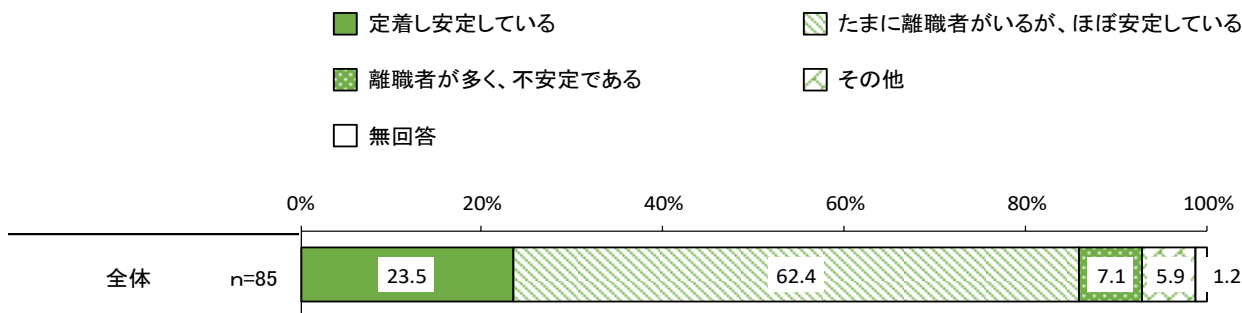
「よい」と「少し余裕がある」を合わせた『余裕がある』が20.0%、「あまり余裕がない」と「厳しい」を合わせた『余裕がない』が77.7%となっています。



問11 貴事業所では、職員の定着についておおむねどのような状況ですか。

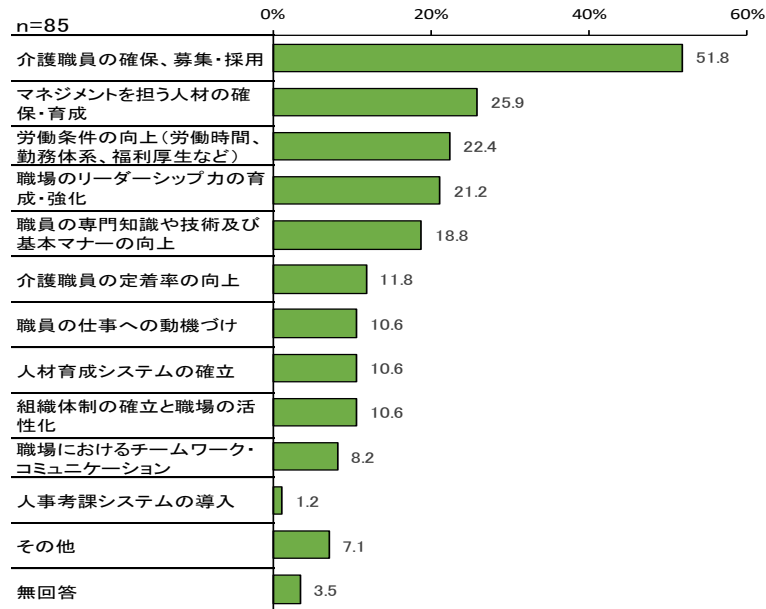
(○は1つ)

「定着し安定している」と「たまに離職者がいるが、ほぼ安定している」を合わせた『安定している』が85.9%、「離職者が多く、不安定である」が7.1%となっています。



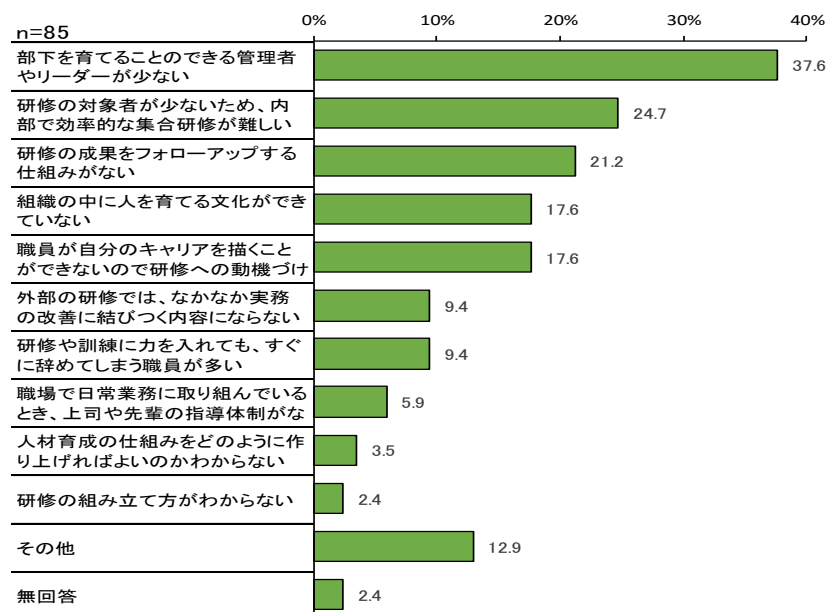
問12 貴事業所では、人材マネジメント上、どのような問題を抱えていますか。
(○は3つまで)

「介護職員の確保、募集・採用」が51.8%で最も高く、次いで「マネジメントを担う人材の確保・育成」が25.9%、「労働条件の向上（労働時間、勤務体系、福利厚生など）」が22.4%となっています。



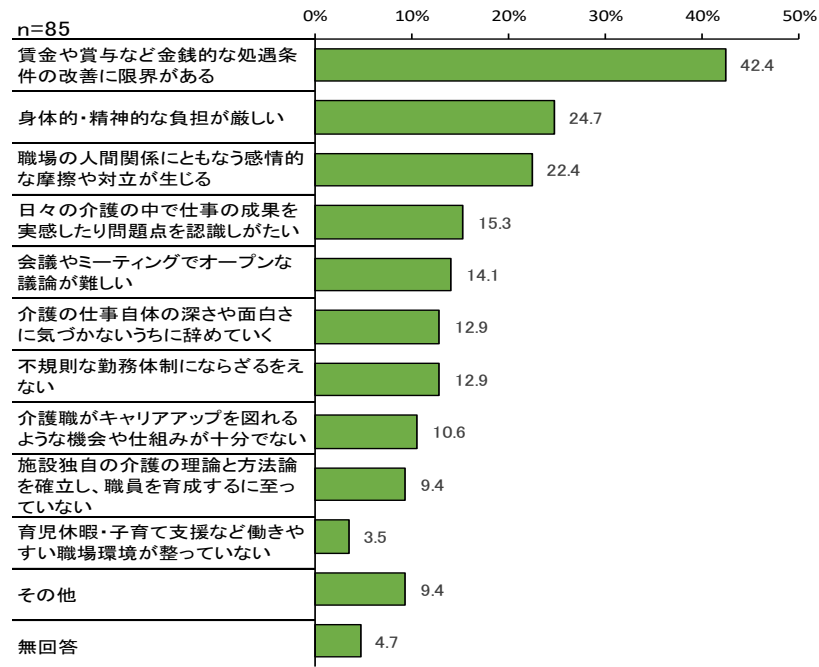
問13 貴事業所では、人材の育成に取り組んでいくとき、どのような問題点がありますか。(○は3つまで)

「部下を育てることのできる管理者やリーダーが少ない」が37.6%が最も高く、次いで「研修の対象者が少ないため、内部で効率的な集合研修が難しい」が24.7%、「研修の成果をフォローアップする仕組みがない」が21.2%となっています。



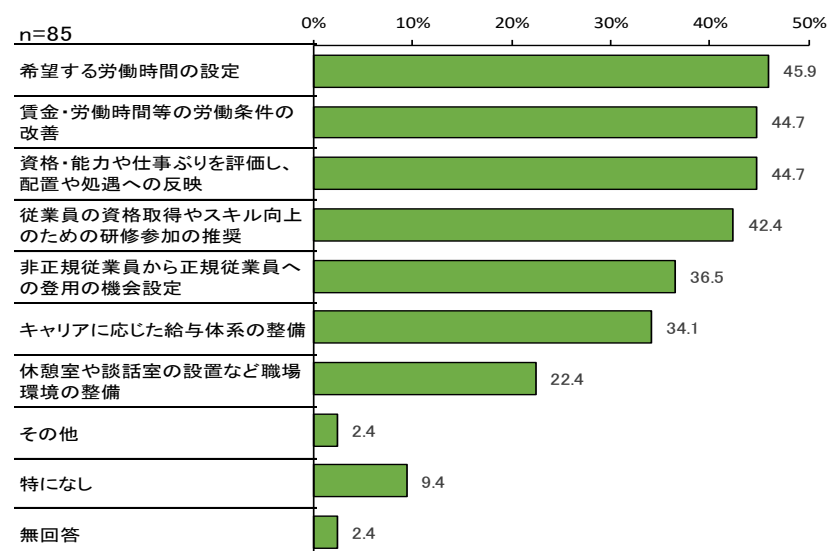
問14 貴事業所では、職員の確保と定着率向上にはどのような問題点がありますか。
(○は3つまで)

「賃金や賞与など金銭的な処遇条件の改善に限界がある」が 42.4%で最も高く、次いで「身体的・精神的な負担が厳しい」が 24.7%、「職場の人間関係にともなう感情的な摩擦や対立が生じる」が 22.4%となっています。



問15 人材を定着させるために取り組んでいることは何ですか。(○はいくつでも)

「希望する労働時間の設定」が 45.9%で最も高く、次いで「賃金・労働時間等の労働条件の改善」「資格・能力や仕事を評価し、配置や処遇への反映」がそれぞれ 44.7%、「従業員の資格取得やスキル向上のための研修参加の推奨」が 42.4%となっています。



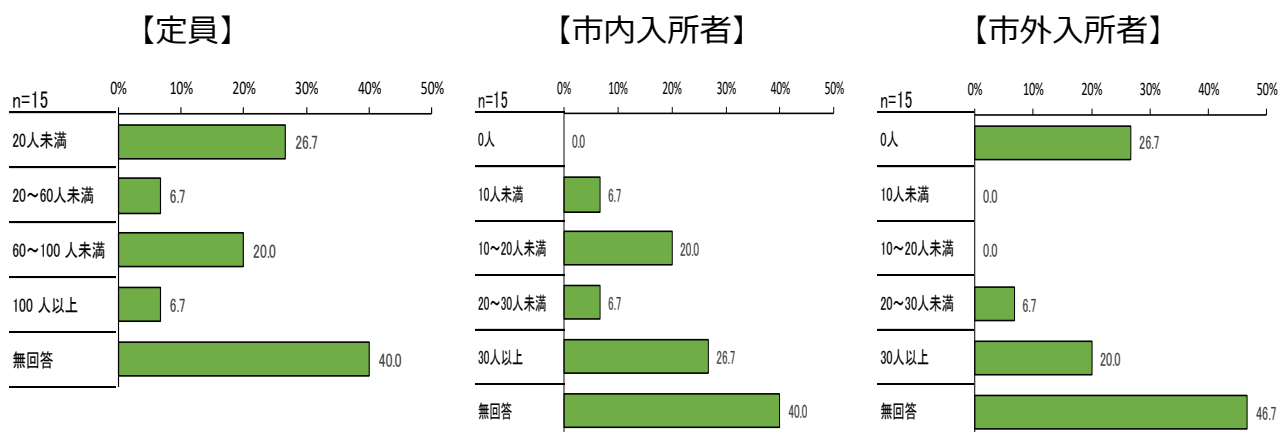
3 グループホーム・特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・ 特定施設入居者生活介護事業者のかたにお聞きします

問16 入所者の現在の状況を教えてください。（数字を記入）

定員は、「20人未満」が26.7%、「60～100人未満」が20.0%、「20人未満」「100人以上」がそれぞれ6.7%となっています。

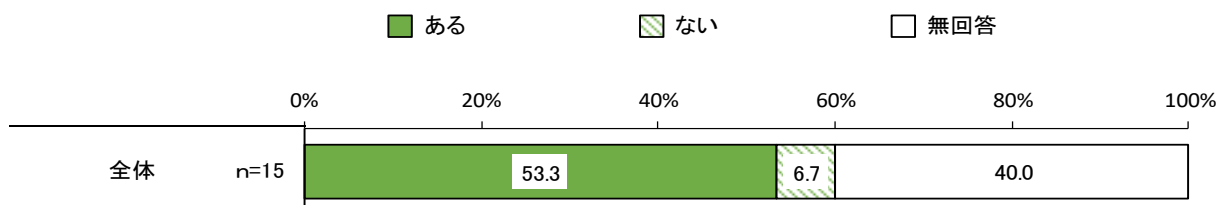
市内入所者は、「30人以上」が26.7%、「10～20人未満」が20.0%、「10人未満」「20～30人未満」がそれぞれ6.7%となっています。

市外入所者は、「0人」が26.7%、「30人以上」が20.0%、「20～30人未満」が6.7%となっています。



問17 利用者や家族への対応で苦慮したことはありますか。（いずれかに○）

「ある」が53.3%、「ない」が6.7%となっています。

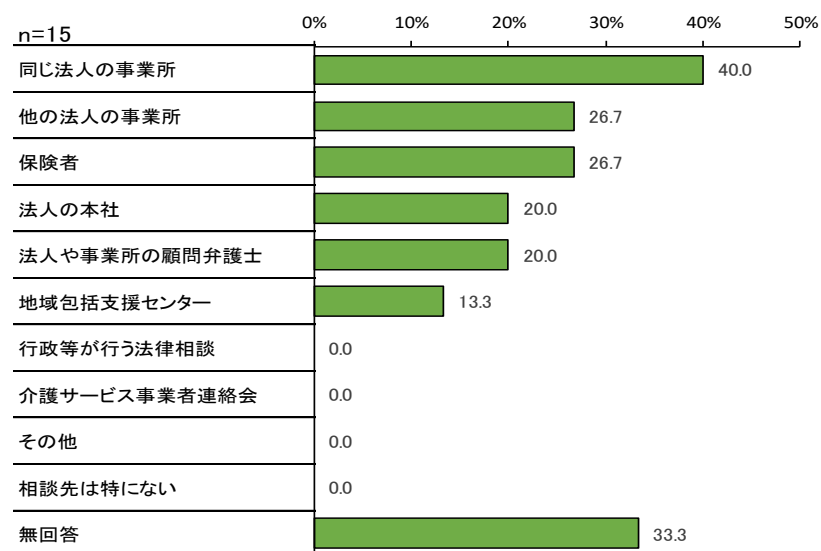


問17-1 問17で「ある」と答えたかたにお伺いします。
 どのようなことで苦慮しましたか。（自由記述）

利用料の滞納（2件）
過度な介護サービスの要求（2件）
全てを施設に依存（必要物品、書類など）
急変時、なかなか連絡がつかない。受診をお願いしても、施設まかせにしてしまう。
連絡が取れない。
軽度の認知症ではありますが、ささいな事（近くによった、しゃべり声が気になった）で、利用者、職員に対して「バカヤロー」とか「ダメだろ」とか大声でどなりつける。病気というより、性格の様です。ハラスメントです。（1日に10回以上、気にやんで他の利用者が退所した。）
話が一方的で話し合いができない等
利用者様の状態把握、ご家族様への連絡、相談のタイミング、意識や思い違いによる苦情等

問18 事業所として困ったときの相談先はどこ（誰）ですか。（○はいくつでも）

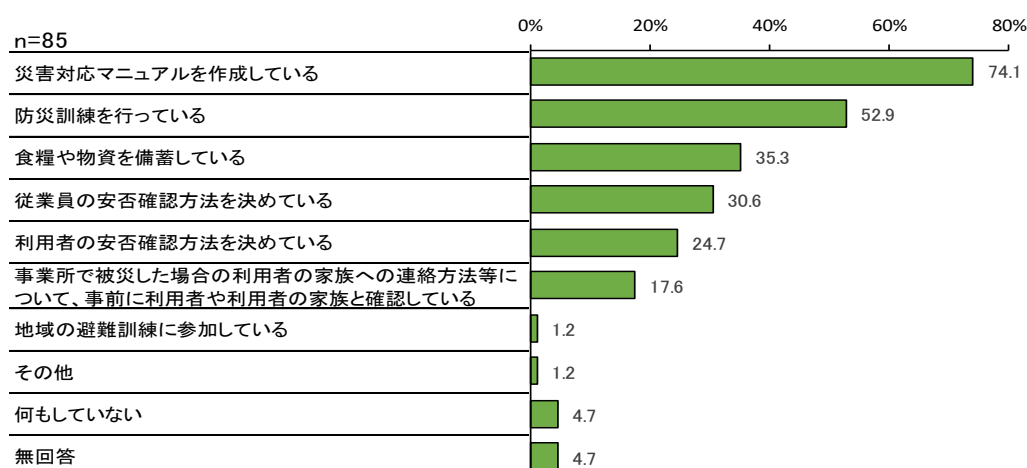
「同じ法人の事業所」が40.0%で最も高く、次いで「他の法人の事業所」「保険者」がそれぞれ26.7%、「法人の本社」「法人や事業所の顧問弁護士」がそれぞれ20.0%となっています。



4 災害対策について

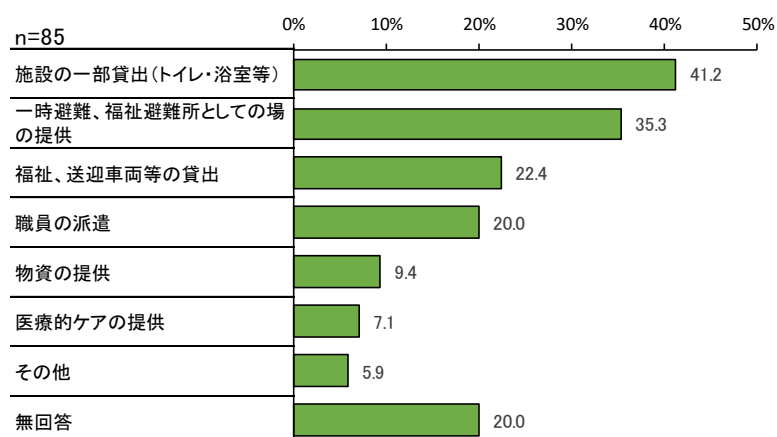
問19 災害が発生した時のためにどのような対策を行っていますか。
(○はいくつでも)

「災害対応マニュアルを作成している」が 74.1%で最も高く、次いで「防災訓練を行っている」が 52.9%、「食糧や物資を備蓄している」が 35.3%となっています。



問20 災害が発生した時、事業所として地域のために提供できる支援はありますか。
(○はいくつでも)

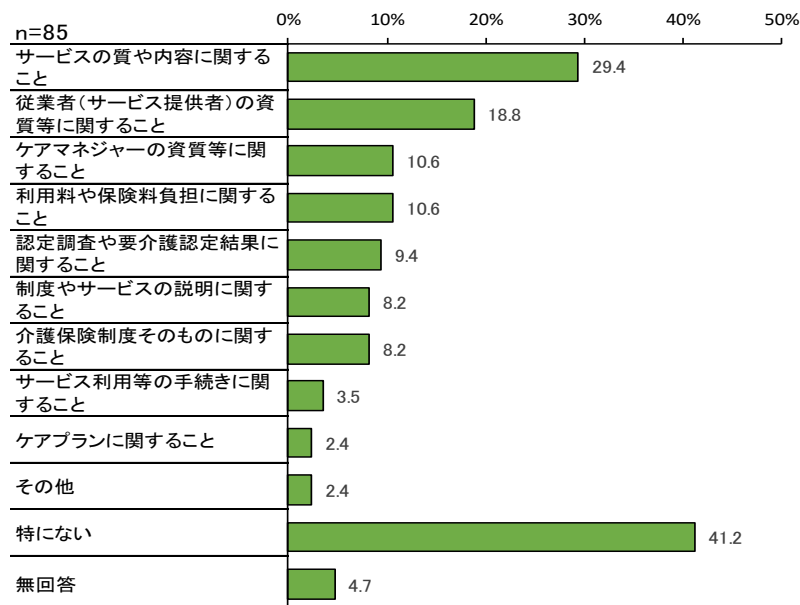
「施設の一部貸出(トイレ・浴室等)」が 41.2%、「一時避難、福祉避難所としての場の提供」が 35.3%、「福祉、送迎車両等の貸出」が 22.4%となっています。



5 サービスの質の向上について

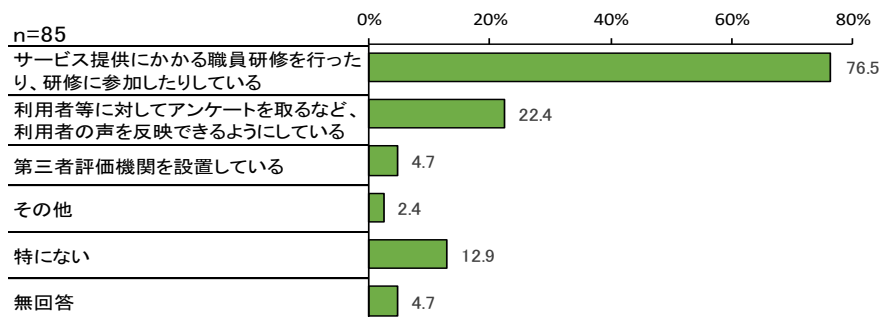
問21 貴事業所における、利用者や家族からあげられる苦情の内容について、次の中から多いものをお答えください。（○は5つまで）

「サービスの質や内容に関すること」が29.4%、次いで「従業者（サービス提供者）の資質等に関すること」が18.8%、「ケアマネジャーの資質等に関すること」「利用料や保険料負担に関すること」がそれぞれ10.6%となっています。一方、「特にない」は41.2%で最も高くなっています。



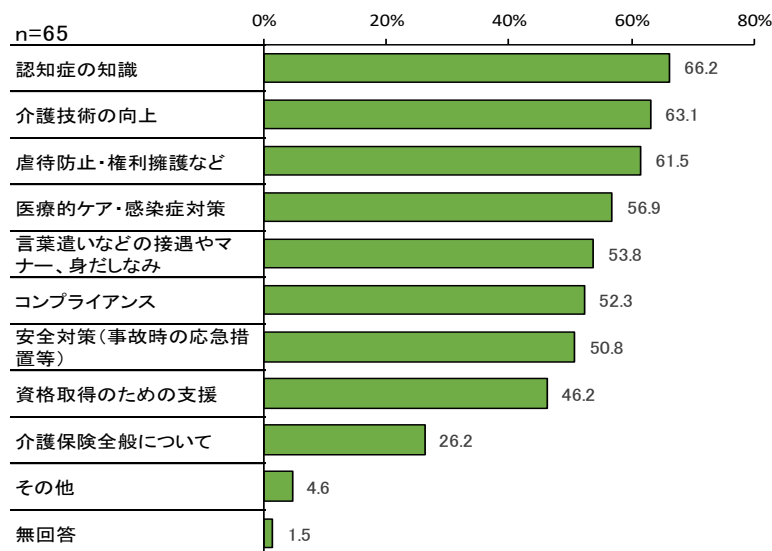
問22 サービスの質の向上に向けて行っている具体的な取組は何ですか。（○はいくつでも）

「サービス提供にかかる職員研修を行ったり、研修に参加したりしている」が76.5%で最も高く、次いで「利用者等に対してアンケートを取るなど、利用者の声を反映できるようにしている」が22.4%となっています。



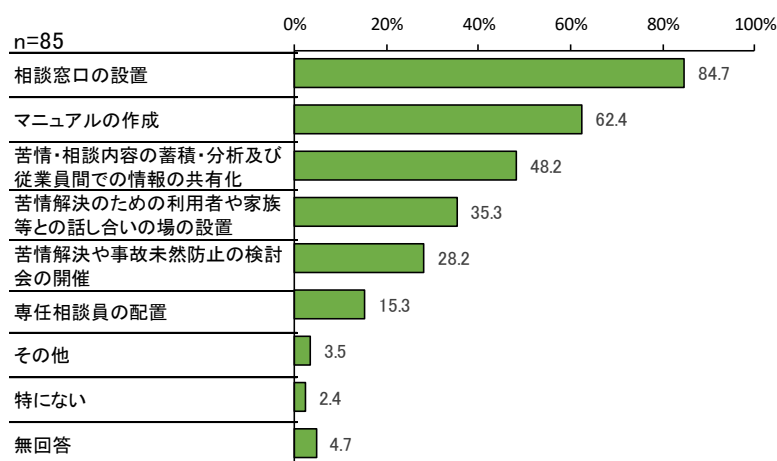
問22-1 問22で「サービス提供にかかる職員研修を行ったり、研修に参加したりしている」と答えたかたにお伺いします。実施したり参加したりした研修は、どのような内容のものですか。（〇はいくつでも）

「認知症の知識」が66.2%で最も高く、次いで「介護技術の向上」が63.1%、「虐待防止・権利擁護など」が61.5%となっています。



問23 サービス利用者や家族からの苦情解決や事故防止をするために行っている取組は何ですか。（〇はいくつでも）

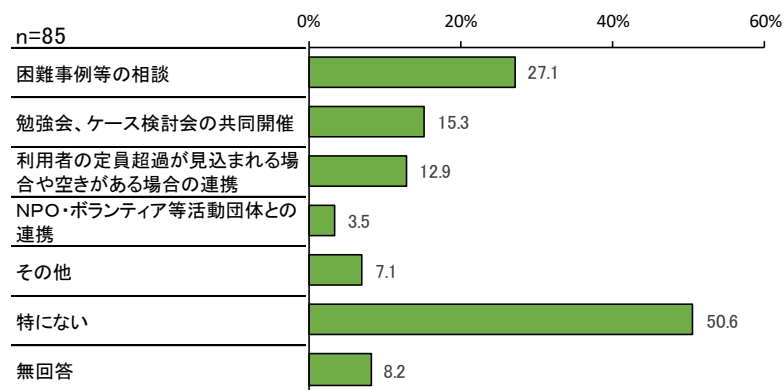
「相談窓口の設置」が84.7%で最も高く、次いで「マニュアルの作成」が62.4%、「苦情・相談内容の蓄積・分析及び従業員間での情報共有化」が48.2%となっています。



6 関係機関との連携について

問24 他法人等との連携について、貴事業所として取り組んでいることはありますか。
(〇はいくつでも)

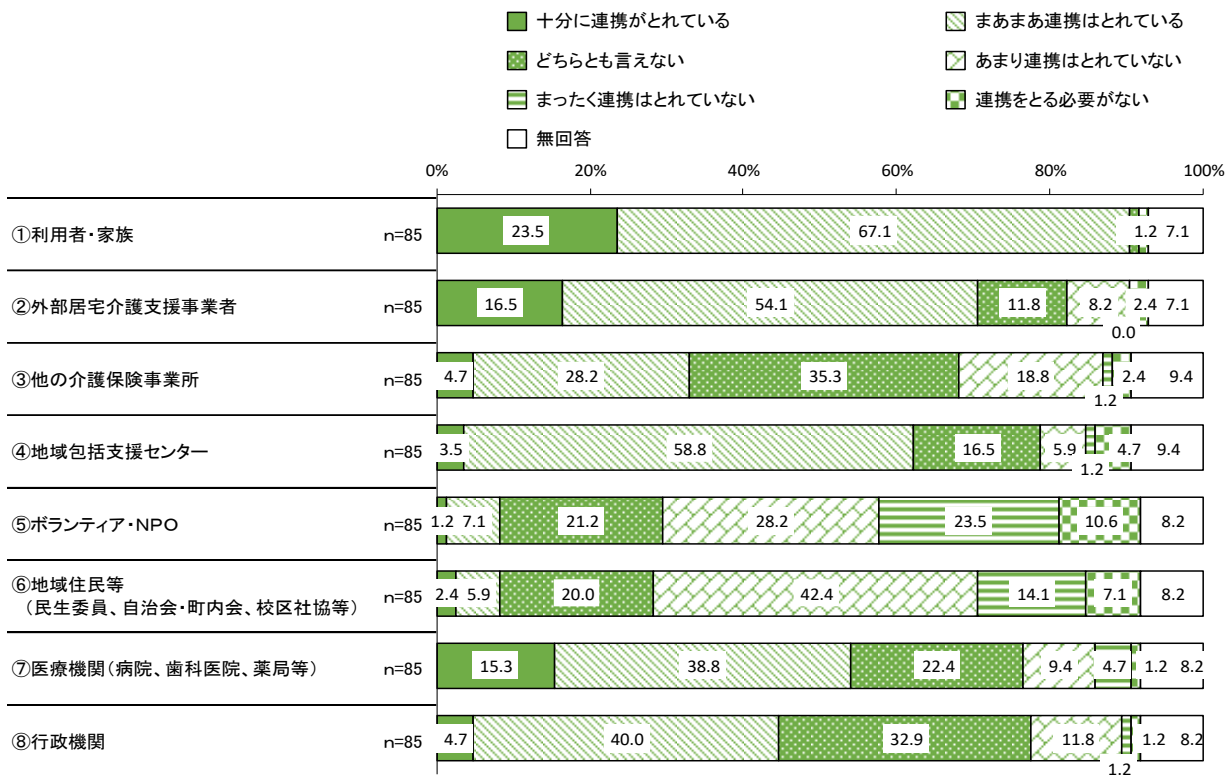
「困難事例等の相談」が 27.1%、「勉強会、ケース検討会の共同開催」が 15.3%、「利用者の定員超過が見込まれる場合や空きがある場合の連携」が 12.9%となっています。一方、「特にない」は 50.6%で最も高くなっています。



問25 普段から、以下にあげる人たちとの連携がとれていますか。

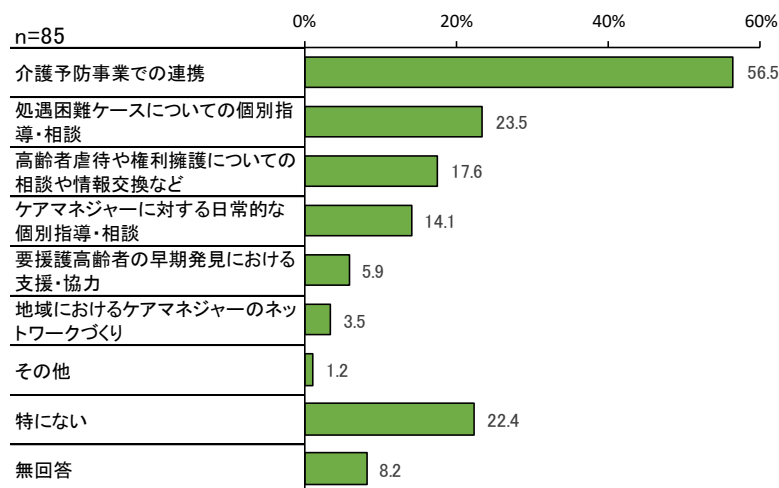
(それぞれあてはまるもの1つに○)

「①利用者・家族」は、「十分に連携がとれている」と「まあまあ連携はとれている」を合わせた『連携はとれている』(90.6%)が9割を占めています。一方、「⑤ボランティア・NPO」(51.7%)、「⑥地域住民等(民生委員、自治会・町内会、校区社協等)」(56.5%)は、「あまり連携はとれていない」と「まったく連携はとれていない」を合わせた『連携はとれていない』が5割を超えています。



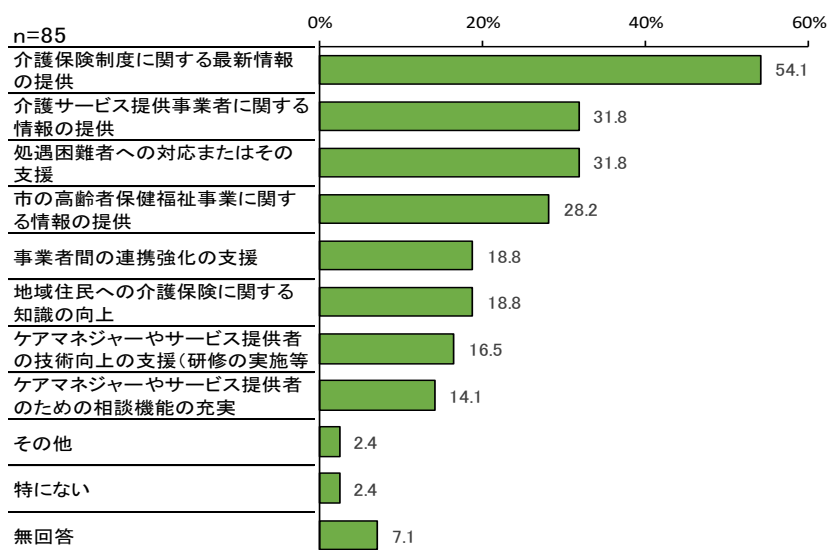
問26 地域包括支援センターとの連携について、貴事業所として取り組んでいることがありますか。（あてはまるものすべてに○）

「介護予防事業での連携」が 56.5%で最も高く、次いで「処遇困難ケースについての個別指導・相談」が 23.5%、「高齢者虐待や権利擁護についての相談や情報交換など」が 17.6%となっています。



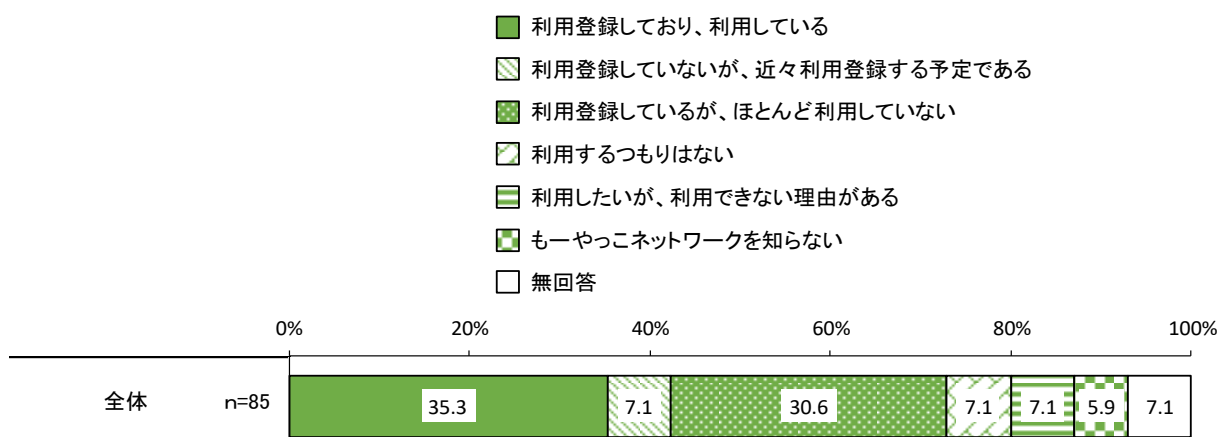
問27 介護保険サービス事業を行う上で、行政の支援等が必要だと思われることは何ですか。（○は3つまで）

「介護保険制度に関する最新情報の提供」が 54.1%で最も高く、次いで「介護サービス提供事業者に関する情報の提供」「処遇困難者への対応またはその支援」がそれぞれ 31.8%、「市の高齢者保健福祉事業に関する情報の提供」が 28.2%となっています。



問28 尾張旭市・瀬戸市の地域では、瀬戸旭医師会が中心となり、在宅医療・介護連携を推進するため、ICTを活用した電子@連絡帳システム「もーやっこネットワーク」を活用した多職種間の情報連携の取組などを行っています。
 貴事業所は、「もーやっこネットワーク」に利用登録していますか。（○は1つ）

「利用登録しており、利用している」が35.3%で最も高く、次いで「利用登録しているが、ほとんど利用していない」が30.6%となっています。



問28-1 問28で「利用登録しているが、ほとんど利用していない」「利用するつもりはない」「利用したいが、利用できない理由がある」と答えたかたにお伺いします。理由をお聞かせください。（自由記述）

利用登録しているが、ほとんど利用していない

必要が無い。機会が無い。（7件）
使用方法を知っている担当者が退職（3件）
パスワードの不明等（3件）
医療的内容が中心で難しい。介護的内容をのせにくい。ドクターが中心、ドクターとナースの連携、行政と基幹病院、介護が入りにくい。
居宅の方で利用しているので、訪問の方はおざなりになってしまっている。
コロナにより通所部会が開催できなくなり遠ざかった。もーやっこネットワークは確認するだけになってしまっている。
情報の閲覧を行っている。今後の情報の活用、共有の仕方を検討している。
伝達内容が他のツールと重複し、二度手間となる。
必要な情報との取捨選択が大変である。
利点が良くわからない（デイサービスにとって）

利用するつもりはない

利用していないが、不自由をしていない。尾張旭市、瀬戸市の利用者が少ない。
必要性や便利性が理解出来なかった。
今の所、必要性を感じないため。
そういう方がいない。

利用したいが、利用できない理由がある

システムを使うことで、PCが重くなってしまおうと伺っている。
名前は知っているが、詳細や登録方法を知らない。
上司から利用を止められた。
会社都合

問29 在宅医療・介護連携について、意見等があればご記入ください。（自由記述）

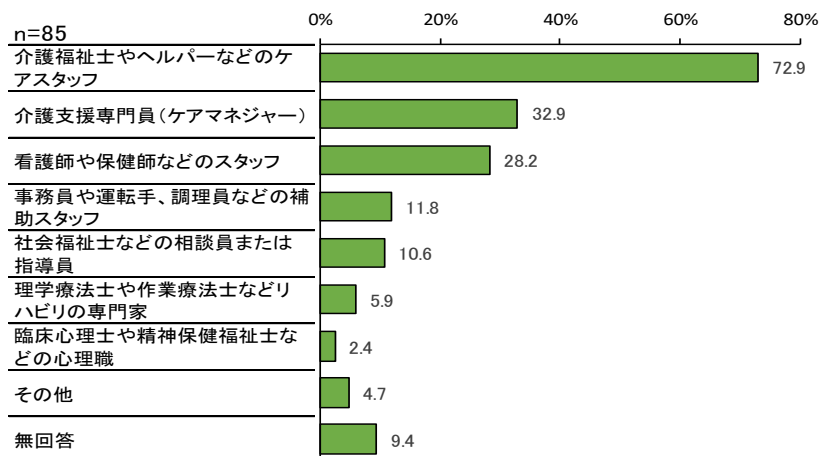
もーやっこネットワークの活用が広がるとよい
もーやっこネットワークの登録が訪問介護や通所介護事業所にもっと広がると連携がよりスムーズになると感じています。
もーやっこネットワークを活用して関係機関との連携が取りやすくなりました。登録されていない事業所やクリニックがあるので、もっと登録者が多くなると、もっと活用幅が広がると思います。最近、利用者が1名あります。家族からの情報がリアルタイムに入り助かります。
もーやっこネットワークの評価
スマホでも確認できるので、助かっています。事業所にもどらなくても、情報の共有が出来るので、現場でよりスピーディーに利用者への対応が可能になると思います。
ドクターとの連携がしやすくよいシステムだと思います。
もーやっこネットワークへの要望
使い方を誤っていたり、そもそも利用していない事業所が多いなど、統一性に欠ける。
もーやっこネットワークの使い方について、もう少しマニュアルがわかりやすいと助かります。また、もーやっこネットワーク使用の同意書のテンプレートがあると助かります。
ID、パスワード1つで複数の端末で見れるようにしてほしい。
在宅医の先生と連絡をとれたらありがたい。

もーやっこネットワークその他
おおむね拝見するのみの利用。理念はずばらしいが、その想いが広がってないし、介護の現場までおりてきていない。もっともっと現場レベルで広がるといい。医療内、介護内それぞれの連携は昔より良くなっているが、両者間の連携はまだまだ遠くて深く感じる。
介護部門では専門知識が乏しく、敷居が高い。こんな文章をのせるとはずかしいと抵抗感がある。
在宅で癌末期の方など利用しているが、慢性的な疾患の方は主治医の負担も考えると利用できない。
当施設にメインで来て頂いている医師が守山区医師会所属の為、登録することで何かと不都合があると困る（心配している）。何も問題なければ登録だけでもしたいとは思っている。
その他
自宅での療養者が増えているが、痰吸引ヘルパーの不足、夜間対応ヘルパーの不足。ショートステイは、医療が必要な方の受け入れ不可（酸素、バルーン、痰吸引）なためレスパイトできない。
重度介護者に対し受診に行く事が困難な為、往診の機会を増やして欲しい。
ショートステイに訪問診療が入ることができると助かる。最近、訪問医が増えていて、それを利用している方も増えている。なぜ、ショートステイに訪問診療が入れないのか。
部会を再開してほしい。

7 今後の介護サービスについて

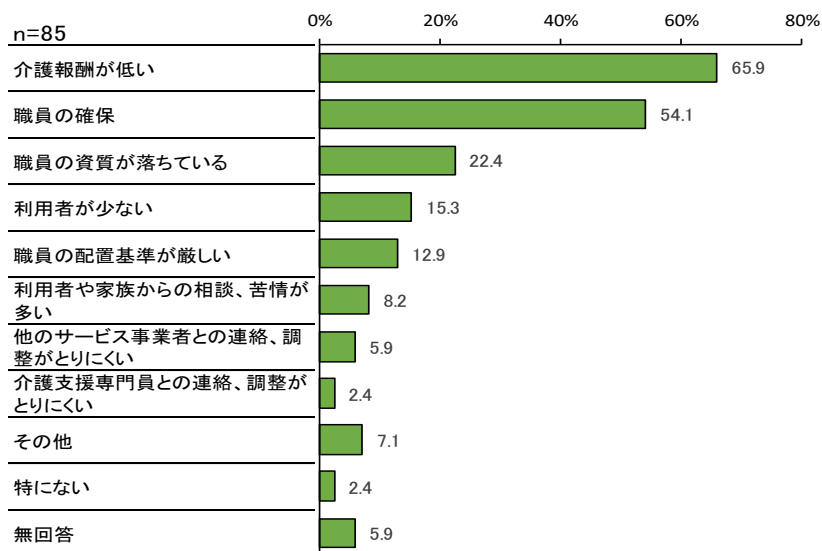
問30 現在不足していると思われる人材はどんな職種ですか。（○は3つまで）

「介護福祉士やヘルパーなどのケアスタッフ」が72.9%で最も高く、次いで「介護支援専門員（ケアマネジャー）」が32.9%、「看護師や保健師などのスタッフ」が28.2%となっています。



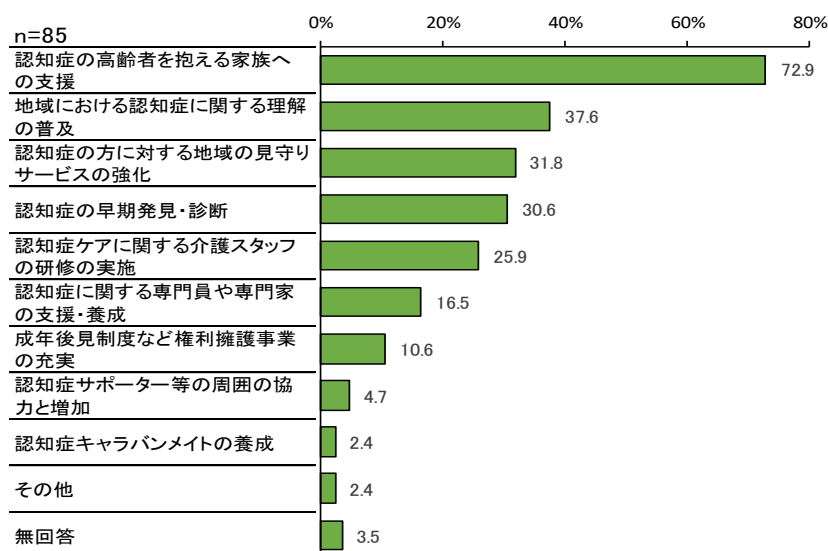
問31 介護保険に関わる事業者として、問題点として感じていることは何ですか。（○は3つまで）

「介護報酬が低い」が65.9%で最も高く、次いで「職員の確保」が54.1%、「職員の資質が落ちている」が22.4%となっています。



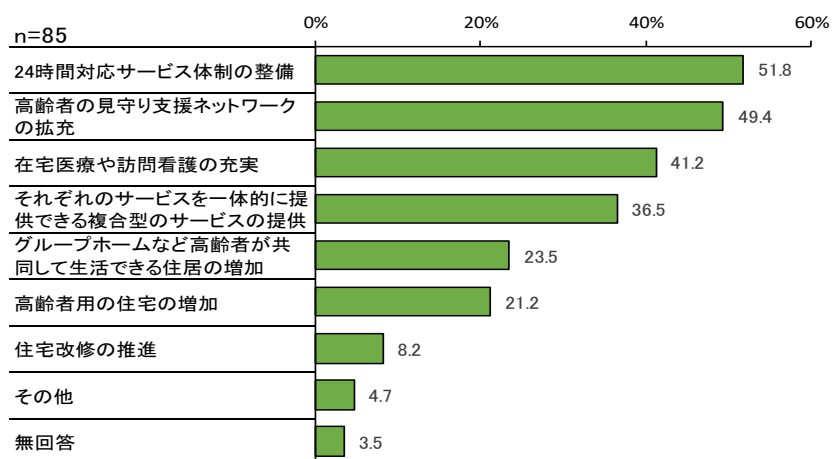
問32 貴事業所では、認知症の高齢者に関してどのような施策が必要だと思いますか。
(○は3つまで)

「認知症の高齢者を抱える家族への支援」が 72.9%で最も高く、次いで「地域における認知症に関する理解の普及」が 37.6%、「認知症の方に対する地域の見守りサービスの強化」が 31.8%となっています。



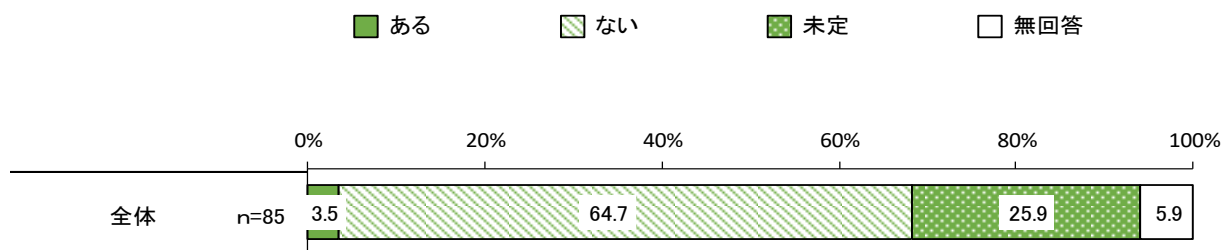
問33 貴事業所では、要介護認定者が居宅や地域での生活を続けるために、どのような点の改善が必要だと思いますか。(○は3つまで)

「24時間対応サービス体制の整備」が 51.8%で最も高く、次いで「高齢者の見守り支援ネットワークの拡充」が 49.4%、「在宅医療や訪問看護の充実」が 41.2%となっています。



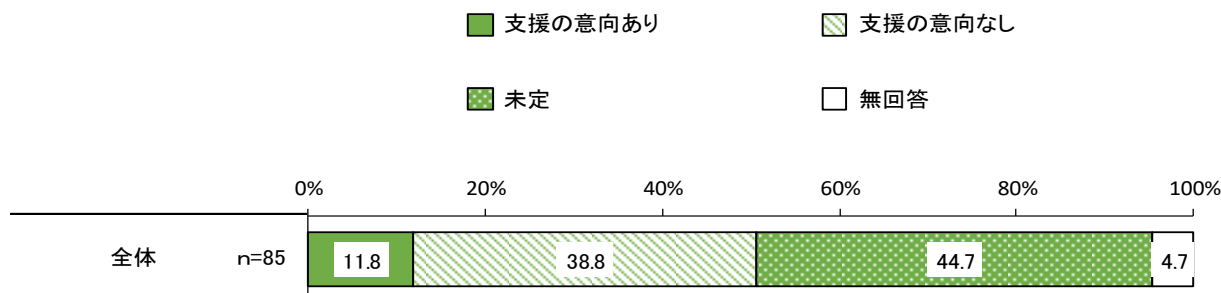
問34 本市では、認知症高齢者や家族を支援するため、認知症カフェの開設を進めています。認知症カフェ開設の意向はありますか。（○は1つ）
（※意向のある場合は、尾張旭市長寿課から連絡することがあります。）

「ある」が3.5%、「ない」が64.7%、「未定」が25.9%となっています。



問35 本市では、認知症サポーターの養成に取り組んでいますが、サポーター養成講座の運営を貴事業所にお手伝いいただくことはできますか。（○は1つ）
（※意向のある場合は、尾張旭市長寿課から連絡することがあります。）

「支援の意向あり」が11.8%、「支援の意向なし」が38.8%、「未定」が44.7%となっています。



問35-1 問35で「支援の意向あり」と答えたかたにお伺いします。
サポーター養成について、条件や課題がありましたら記入してください。

キャラバンメイト養成講座を受講後、活動することなく10年以上経過しているので、どのように参加して行ったら良いのかわからない。

サポーター養成講座を大変多くの方が受講され、良くも悪くもサポーターが増え、「認知症」が一般的に認知されるに至ったと思います。その後の展開は？どこの市町の取り組みもイマイチ進んでいない感が強く、国主導で展開された初動チームも人手が足りないのか民間人として生活している中で印象に残るようなことも伝わって来ない状況がある様に思います。

時間があれば協力していきたい

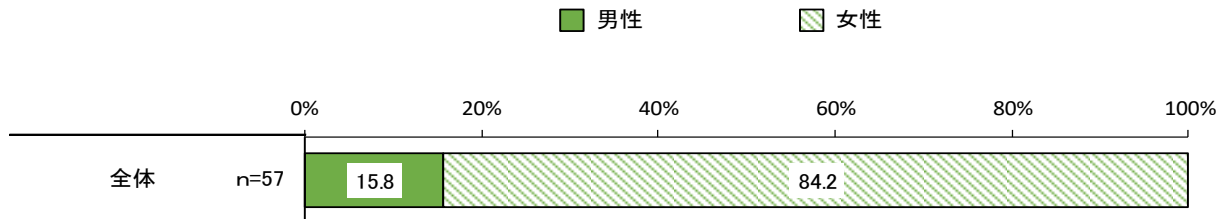
当院の業務に支障のない範囲で可能な限りお手伝いさせていただきます。

V 介護支援専門員調査結果

1 あなたの年齢や性別、勤務形態などについて

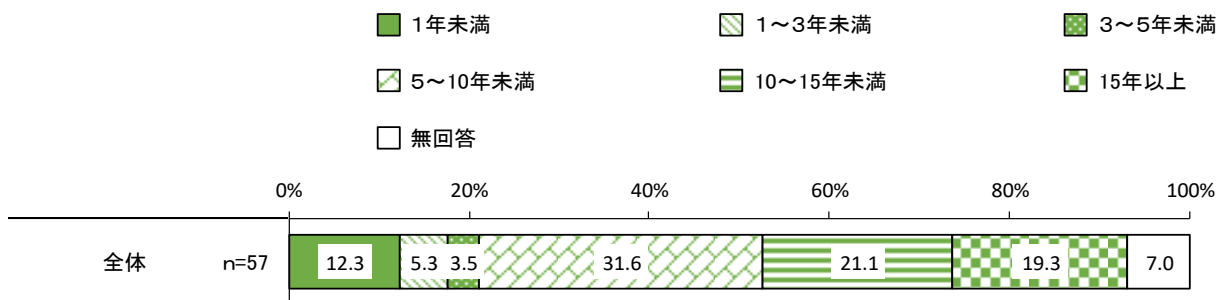
問1 あなたの性別・介護支援専門員に従事した年数・年齢についてお答えください。

- ①【性別】（※性別を選択することに違和感や抵抗がある場合は、お答えいただかなくても結構です。）
「男性」が15.8%、「女性」が84.2%となっています。



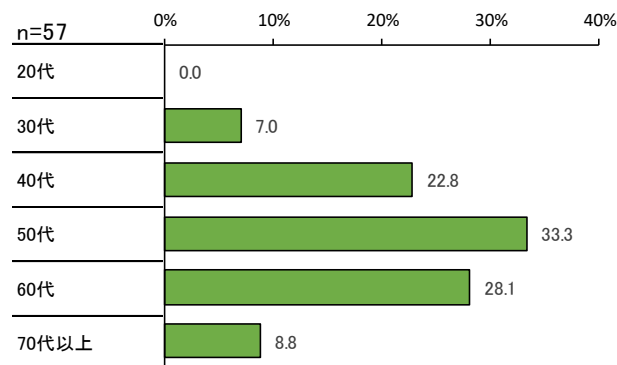
- ②【介護支援専門員として従事した年数】（数字を記入）

「5～10年未満」が31.6%で最も高く、次いで「10～15年未満」が21.1%、「15年以上」が19.3%となっています。



- ③【年齢】（○は1つ）

「50代」が33.3%で最も高く、次いで「60代」が28.1%、「40代」が22.8%となっています。

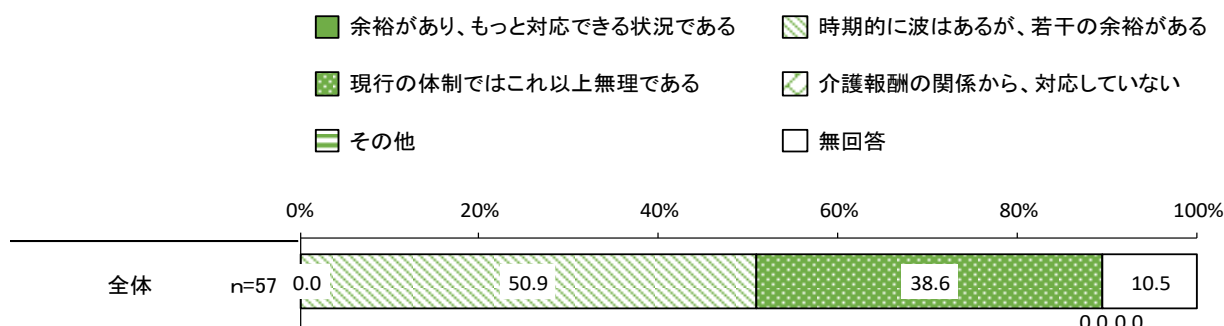


2 ケアマネジメントについて

問2 要介護認定者及び要支援認定者・事業対象者のかたのケアプラン（介護予防ケアマネジメントを含む。）の作成について、あなたが勤務する事業所の受入れの状況はどうか。（それぞれに該当する数字を記入）

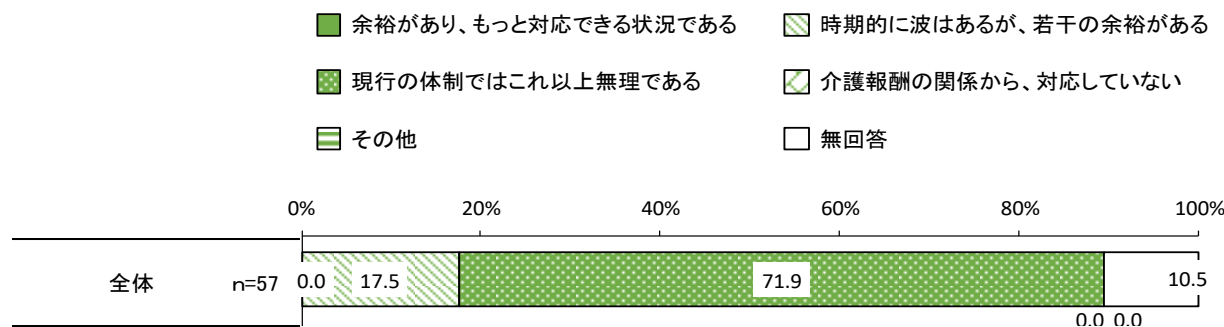
①【要介護認定者】

「時期的に波はあるが、若干の余裕がある」が 50.9%、「現行の体制ではこれ以上無理である」が 38.6%となっています。



②【要支援認定者・事業対象者】

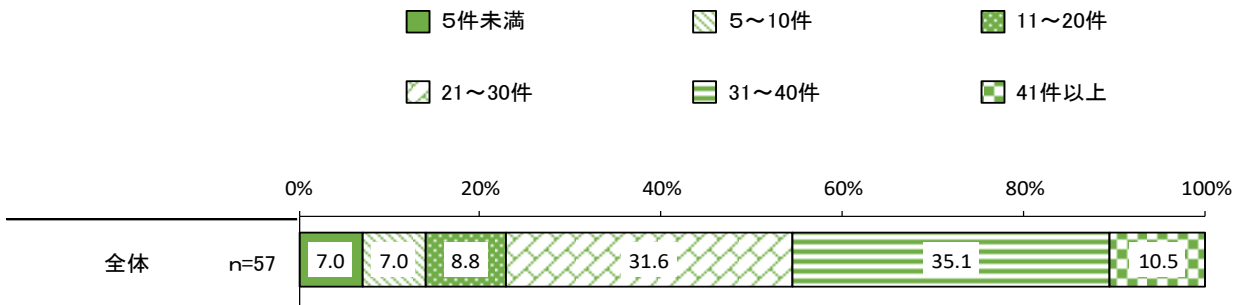
「時期的に波はあるが、若干の余裕がある」が 17.5%、「現行の体制ではこれ以上無理である」が 71.9%となっています。



問3 令和5年1月1日現在、あなたはケアプランの作成を何人担当していますか。
(それぞれ数字を記入)

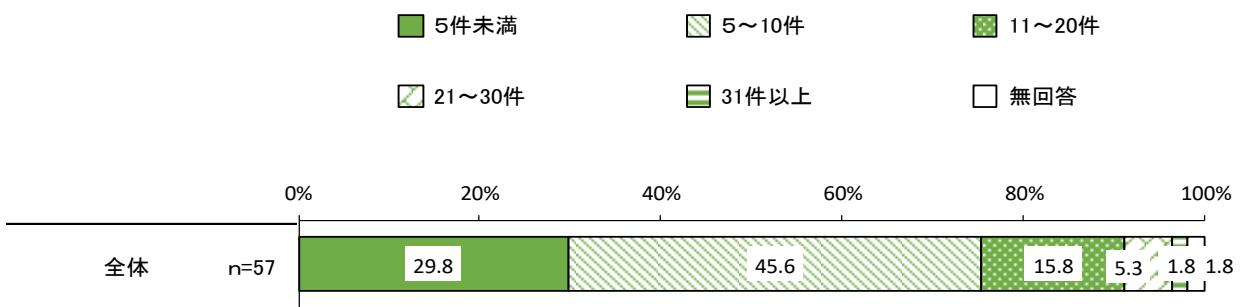
①【要介護認定者】

「31～40件」が35.1%で最も高く、次いで「21～30件」が31.6%、「41件以上」が10.5%となっています。



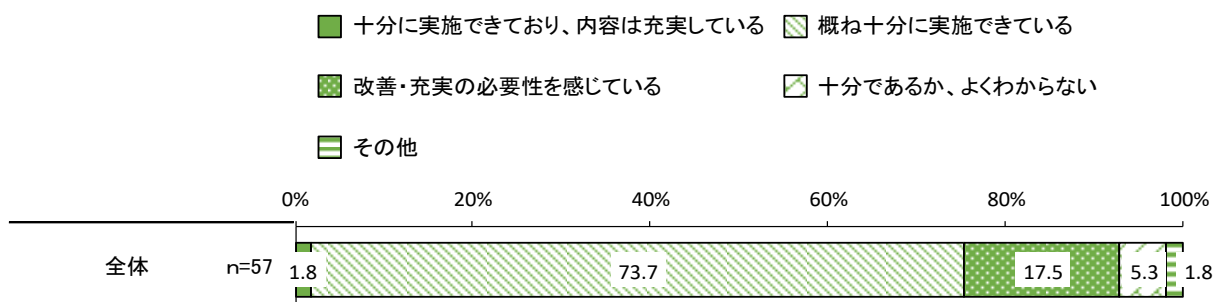
②【要支援認定者・事業対象者】

「5～10件」が45.6%で最も高く、次いで「5件未満」が29.8%、「11～20件」が15.8%となっています。



問4 あなたは、課題分析（アセスメント）について、十分に実施できていますか。
(○は1つ)

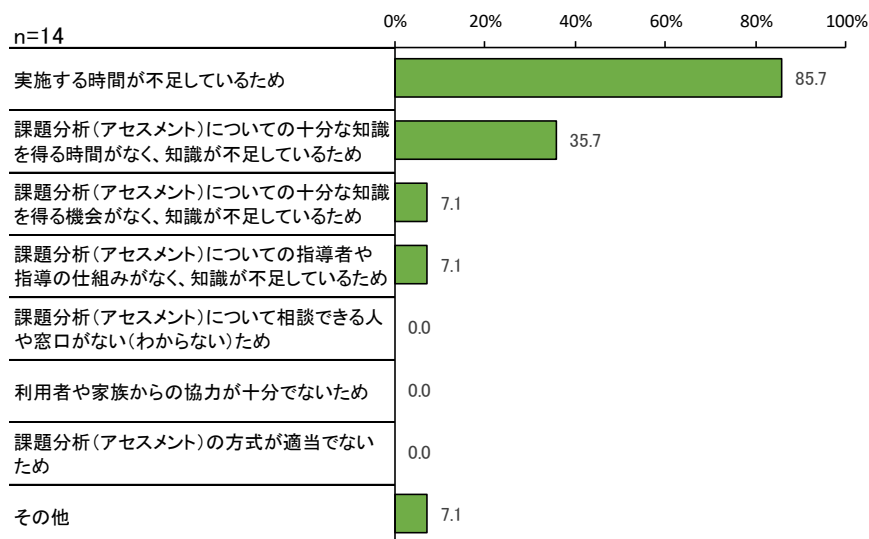
「十分に実施できており、内容は充実している」と「概ね十分に実施できている」を合わせた『十分に実施できている』が75.5%、「改善・充実の必要性を感じている」が17.5%、「十分であるか、よくわからない」が5.3%となっています。



問4-1 問4で「改善・充実の必要性を感じている」「十分であるか、よくわからない」「その他」と答えたかたにお伺いします。

十分に実施できない理由や原因は何ですか。(〇はいくつでも)

「実施する時間が不足しているため」が 85.7%で最も高く、次いで「課題分析(アセスメント)についての十分な知識を得る時間がなく、知識が不足しているため」が 35.7%となっています。



問5 あなたがケアプラン作成に際し重視していることは何ですか。最も重視していることから順に3つまで選んでください。（それぞれに該当する数字を記入）

①【最も重視していること】

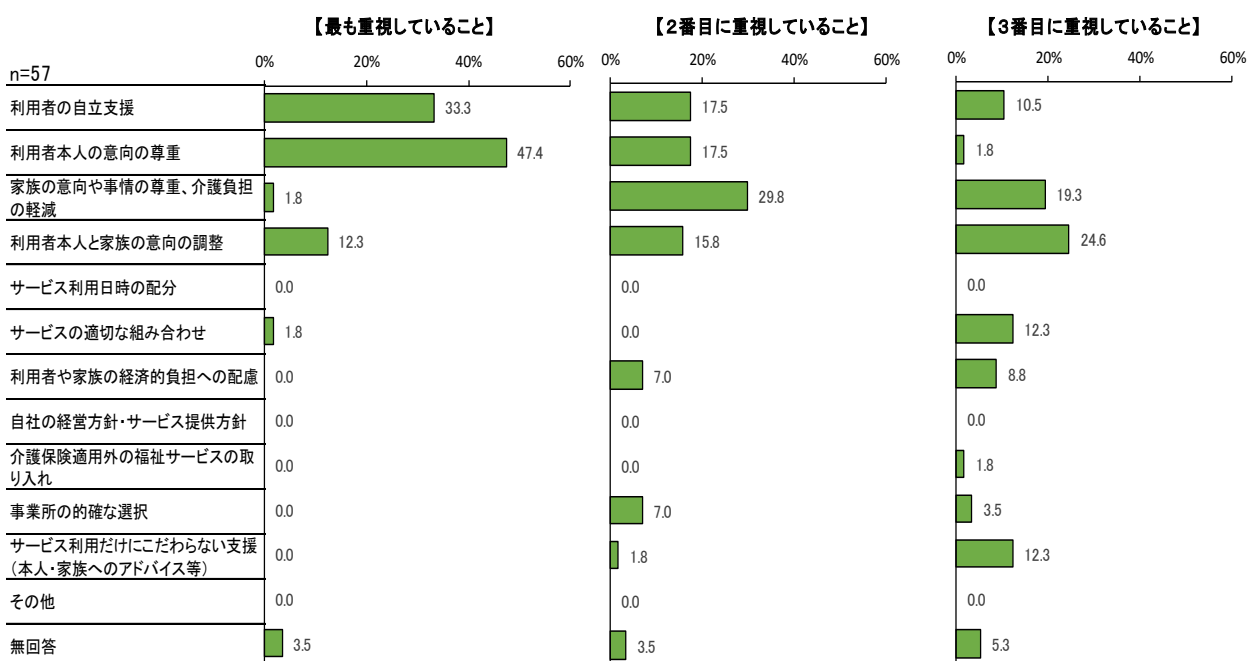
「利用者本人の意向の尊重」が47.4%で最も高く、次いで「利用者の自立支援」が33.3%、「利用者本人と家族の意向の調整」が12.3%となっています。

②【2番目に重視していること】

「家族の意向や事情の尊重、介護負担の軽減」が29.8%で最も高く、次いで「利用者の自立支援」「利用者本人の意向の尊重」がそれぞれ17.5%、「利用者本人と家族の意向の調整」が15.8%となっています。

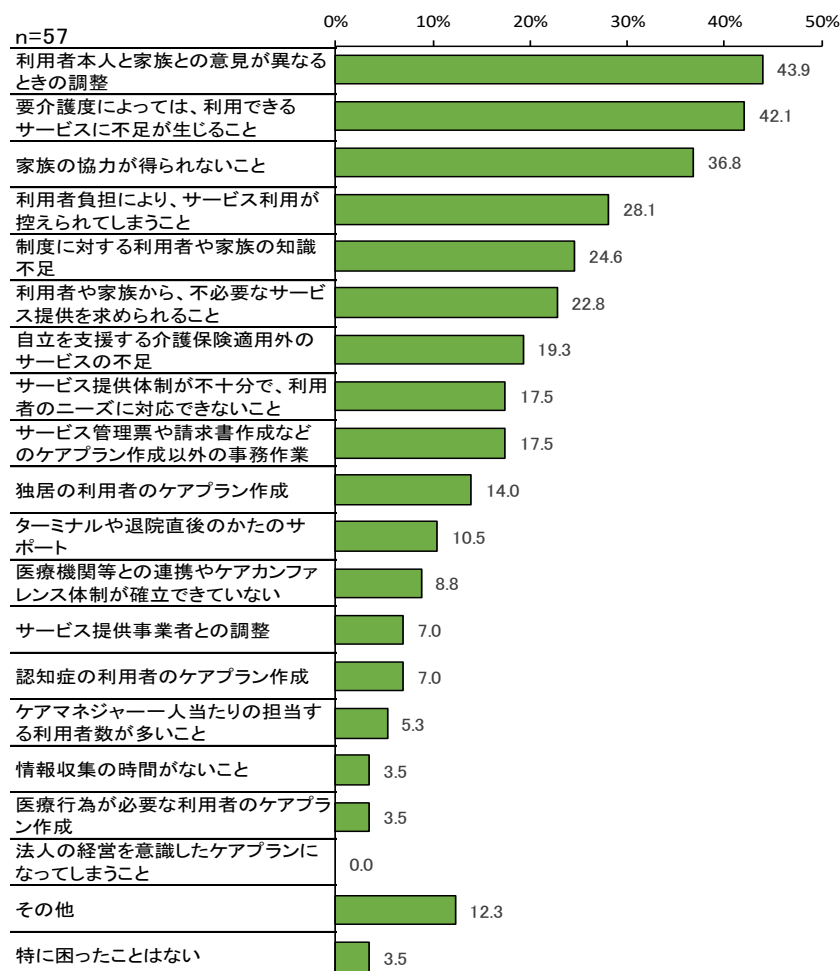
③【3番目に重視していること】

「利用者本人と家族の意向の調整」が24.6%で最も高く、次いで「家族の意向や事情の尊重、介護負担の軽減」が19.3%、「サービスの適切な組み合わせ」「サービス利用だけにこだわらない支援（本人・家族へのアドバイス等）」がそれぞれ12.3%となっています。



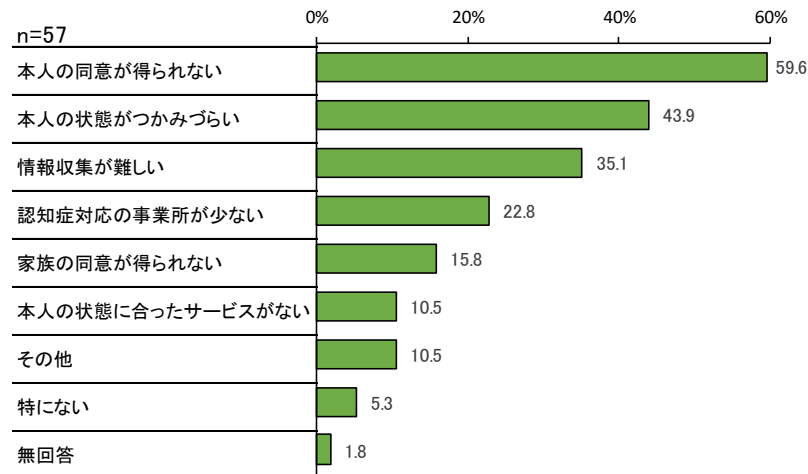
問6 ケアプラン作成に際し、困っていることはありますか。(〇は5つまで)

「利用者本人と家族との意見が異なる時の調整」が43.9%で最も高く、次いで「要介護度によっては、利用できるサービスに不足が生じること」が42.1%、「家族の協力が得られないこと」が36.8%となっています。



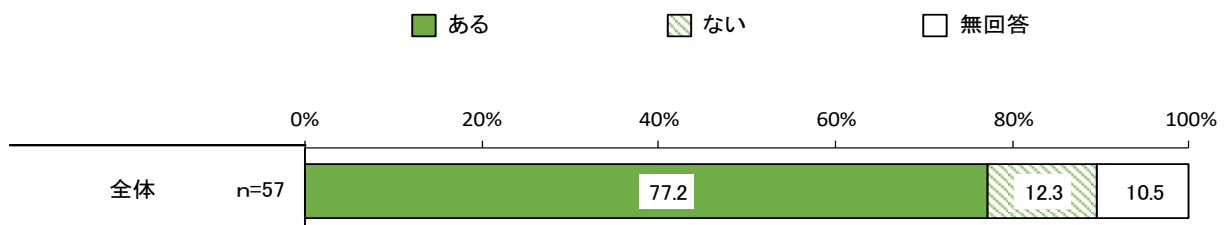
問7 認知症である利用者について、ケアプランを作成する際に困難だと思われることは何ですか。（〇はいくつでも）

「本人の同意が得られない」が 59.6%で最も高く、次いで「本人の状態がつかみづらい」が 43.9%、「情報収集が難しい」が 35.1%となっています。



問8 利用者や家族への対応で苦慮したことはありますか。（いずれかに〇）

「ある」が 77.2%、「ない」が 12.3%となっています。



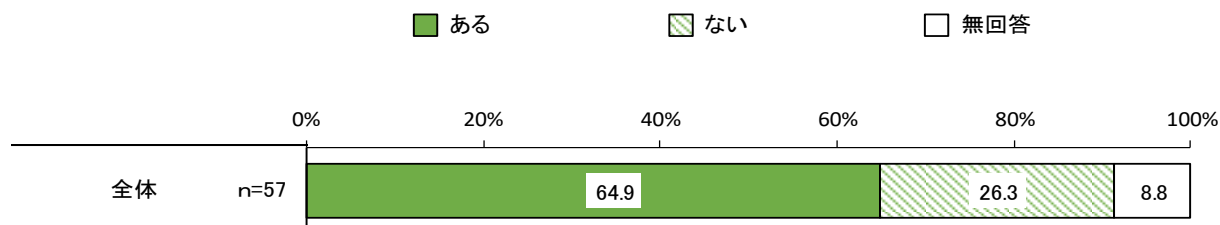
問8-1 問8で「ある」と答えたかたにお伺いします。
 どのようなことで苦慮しましたか。（自由記述）

介護保険についての理解がなされない
介護サービスでできること、できないことの説明を行う際のご理解が難しい。
介護サービス導入の必要性を、家族に理解していただけない。
介護サービスを家族都合で利用しようとする。介護保険の説明をしてもなかなか理解していただけない。緊急時に連絡がなかなかつかない。
介護保険についての理解がなされず、自分の主張のみを通そうとする。
本人と家族の希望が異なる
家族と本人の意向があまりにも違い揉めていた。入院時に家族の協力が得られなかった。
本人と家族の意見が異なる時。
ご家族と本人の認識の違い。口は出すが手（世話）は出さない。
家族に精神疾患がある
家族におそらく精神疾患があり、担当をしていたご本人のご逝去後も繰り返し連絡がある。契約が切れている、個人情報などを伝えても恫喝をしてくたりと対応が難しい。
家族が精神疾患で、その対応と家を出てしまうこともあり、その都度サービス調整が必要。
家族に精神疾患がある。家族は協力しない、お金は使いたくない、サービス内ではおさまらない→でも何とかして。
親との関係が悪化して別居した娘（パーキンソン病）は精神科通院が必要となり、主治医から親との関わりを控えるよう言われ、連絡はつくが動いてもらえない。
過剰な要求
子の支援が得られない。現状の理解が難しかったりケアマネに言えば何でもやってもらえると思っている。
ケアマネは何でも頼める、やってくれると思っている。介護保険サービス外のことでも当然のごとく依頼してくること。認知症が進行して徘徊やその他の問題行動から、事故・事件の恐れが予想され、何度家族へ説明するか。十分な対応はなく、また、施設入所等も行わないこと。
何でもケアマネに言えば解決してくれると思っている。「長寿課や包括にケアマネさんに何でも相談してくださいと言われたので。」と言い業務外のこととも言われ、説明するのに時間がかかっていた。在宅の介護サービスで全てカバーできている家族。
家族との連絡が取りづらい、取れない
連絡が付きにくく調整に時間がかかる。適切な家庭の状況ではないが改善に結びつけられない。
土日のメールでのみ家族と連絡を取る状況でしたので、勤務により調整が必要だった（自分の勤務外での対応）。

利用者の現状を家族が理解していない
今の現状を簡単に考えていて、説明しても理解してくれずサービスがうまくいかない。
ご家族が利用者の現状を理解できない。何度説明しても本人にとってリスクが高いことを望んでいる。反対に本人が「自分是可以する」と全く受け入れない事例もある。
勤務時間外の対応
勤務時間外に本人・家族から緊急性のない内容のTELが多くあったケースで、どこまで対応したらいいのかわからなかった。
土日祝日や夜間、早朝などサービス提供時間外での連絡があること。当然、契約時に伝えているが、対応していない憤慨されるケースがある。
家族の要求に対応し振り回される
家族の要望が多く、次々に要求されることに対応し振り回される。本人にとって何がいいか判断に困り、結果、家族の言いなりのケアマネになってしまうこと。
家族より、あのヘルパーは変えてほしい、事業所も変えてほしい、デイサービスに行くのか行かないのか。1カ月に3回ぐらい計画書を作り直し、担当者会議もその都度行い、それで終わりと思ったらやっぱり元に戻してと振り回されました。現在もその方のケアマネをしています。
その他
家族が理不尽な理由で怒りをぶつけてくる。
家族から暴力を振るわれている可能性のある利用者に対しての対応に苦慮した。
気持ちがすぐに変わってしまう。
ケアマネの思いが家族に伝わらなかったこと。
今後世話になるであろう家族から宗教を執拗に勧められているが、家族は本人のためと思い本人は嫌でも入信することになる。
サービスを受け入れない。虐待している。
社会通念上の常識の違い等

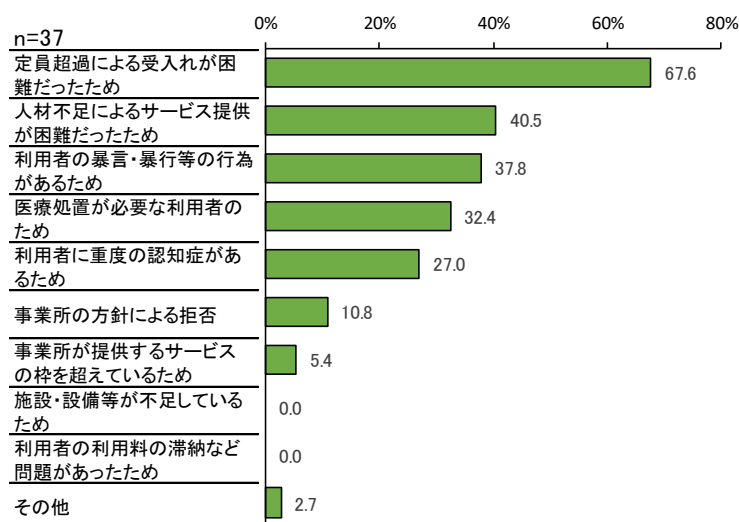
問9 サービス提供事業者からサービス提供を拒否されたことはありますか。
(いずれかに○)

「ある」が64.9%、「ない」が26.3%となっています。



問9-1 問9で「ある」と答えたかたにお伺いします。
その理由を教えてください。(○はいくつでも)

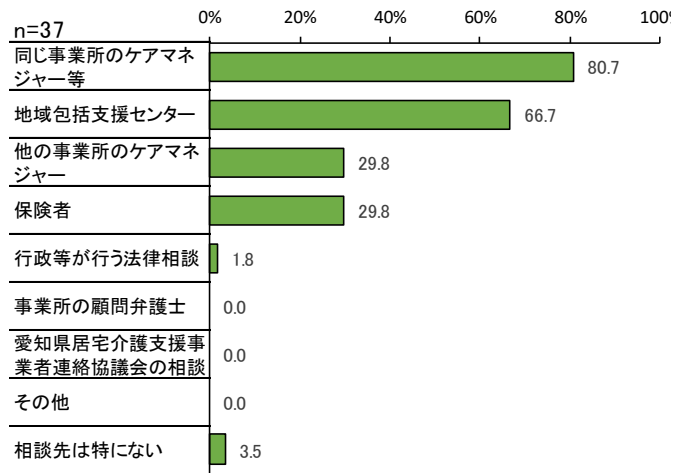
「定員超過による受入れが困難だったため」が67.6%で最も高く、次いで「人材不足によるサービス提供が困難だったため」が40.5%、「利用者の暴言・暴行等の行為があるため」が37.8%となっています。



問10 ケアマネジャーとして困ったときの相談先はどこ（誰）ですか。

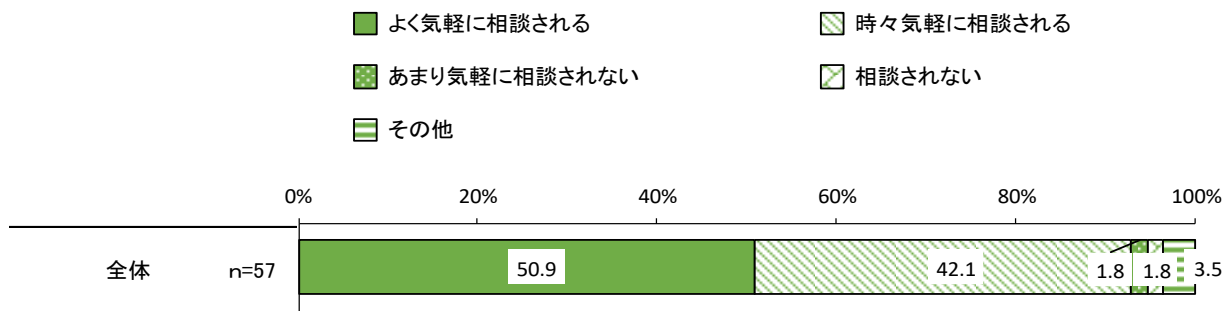
（○はいくつでも）

「同じ事業所のケアマネジャー等」が80.7%で最も高く、次いで「地域包括支援センター」が66.7%、「他の事業所のケアマネジャー」「保険者」がそれぞれ29.8%となっています。



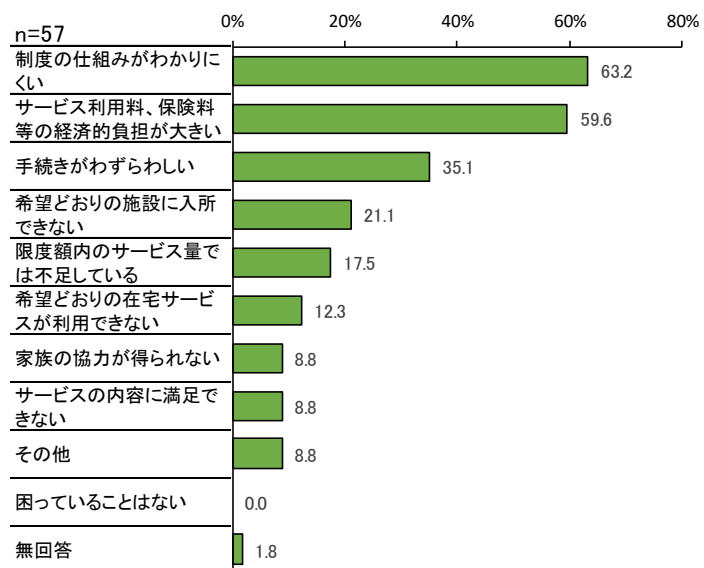
問11 利用者や家族から気軽に相談されますか。（○は1つ）

「よく気軽に相談される」と「時々気軽に相談される」を合わせた『気軽に相談される』が93.0%、「あまり気軽に相談されない」と「相談されない」を合わせた『気軽に相談されない』が3.6%となっています。



問12 あなたがケアマネジメントをしている中で、利用者が困っていることは何だと思えますか。（〇は3つまで）

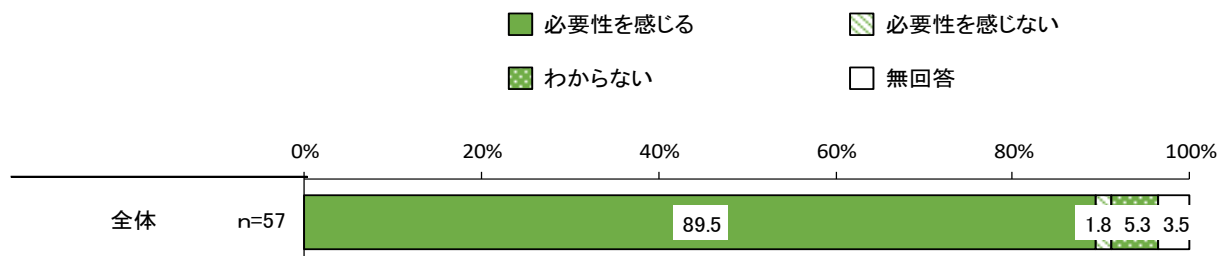
「制度の仕組みがわかりにくい」が63.2%で最も高く、次いで「サービス利用料、保険料等の経済的負担が大きい」が59.6%、「手続きがわずらわしい」が35.1%となっています。



3 医療機関との連携について

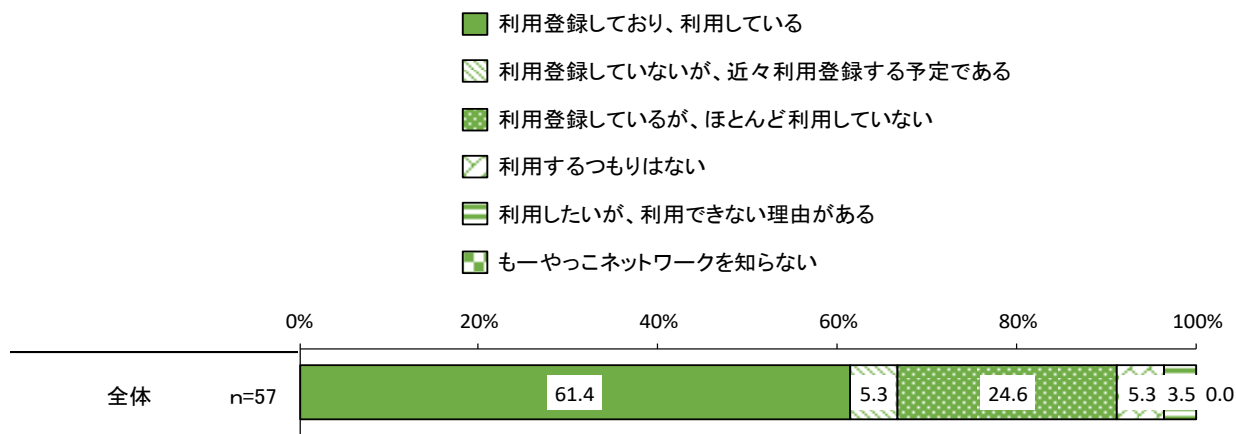
問13 あなたは、医療と介護の連携の必要性を感じますか。（○は1つ）

「必要性を感じる」が89.5%、「必要性を感じない」が1.8%、「わからない」が5.3%となっています。



問14 尾張旭市・瀬戸市の地域では、瀬戸旭医師会が中心となり、在宅医療・介護連携を推進するため、ICTを活用した電子@連絡帳システム「もーやっこネットワーク」を活用した多職種間の情報連携の取組などを行っています。
あなたは、「もーやっこネットワーク」に利用登録していますか。（○は1つ）

「利用登録しており、利用している」が61.4%で最も高く、次いで「利用登録しているが、ほとんど利用していない」が24.6%となっています。



問14-1 問14で「利用登録しているが、ほとんど利用していない」「利用するつもりはない」「利用したいが、利用できない理由がある」と答えたかたにお伺いします。理由をお聞かせください。（自由記述）

利用登録しているが、ほとんど利用していない

利用する機会が無い、必要が無い
今までは直接、病院の相談員さんとの連携で情報交換をしている。もーやっこネットワークでの連携の利用は少ない。必要な時は利用していきたい。
医療依存度の高い方を担当していないため。
現在、癌末期等、頻回に連絡するケースがないため。
もーやっこを利用しているご利用者は現在1名。この方に対してはもーやっこで情報交換している。その他は家族的医療情報を伺ったり、主治医とは主治医連絡票を利用している。
その他
もーやっこを利用するにあたり、家族の同意を得なければならない。家族の同意が得にくい。
ダイレクトに画面につながらないため、日々確認を忘れてしまう。
パソコンの取り扱いが苦手なため。

利用するつもりはない

もーやっこネットワークの必要性や利便性を理解していない。加入方法が分からない。
利用していないが不自由している。尾張旭市・瀬戸市の利用者が少ない。

利用したいが、利用できない理由がある

会社都合
個人情報漏洩があるとのことで、事業主が導入を拒否。

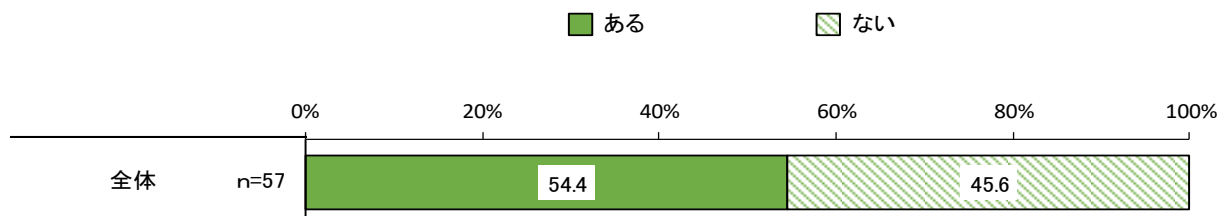
問15 在宅医療・介護連携について、意見等があればご記入ください。（自由記述）

もーやっこが便利、今後も活用したい。
画像も添付できて使いやすいです。今後も利用させていただきます。
画面での連携が多く、多職種でICTでももーやっこがもっと活用できたらと思います。
利用者の状態が早期に分かるので、今後も利用したい。
もーやっこを使用すると、在宅医療だけでなく紹介元の担当医も意見を下さり、癌末の支援の時には助かった。毎日状態の変わる方の時にとても助かった。電話が取れない方（難聴）の場合、他事業者の情報共有にて支援できて助かった。
病院・事業所等、訪問前に閲覧すると状況がすぐにわかるとありがたいです。
もーやっこへの要望、困り事
もーやっこネットワークで、利用者様のグループを作っていますが、名古屋市の事業所だけ名古屋のネットワークから、もーやっこネットワークに入ることができないので困っている。
1つのID、パスワードで複数の端末で見られるようにしてほしい。
利用の仕方や登録の有無など、事業所ごとで統一性に欠け利用しづらい。
服薬管理の相談や支援のためにも、調剤薬局さんにも、もーやっこのご参加をお願いしたい。
もーやっこを活用している在宅医が少ないと思う。
その他
在宅医療には大変困っている。いろいろな考え方があり勉強になると思います。少しでも向上できればと思っております。
支援の方でも訪問看護や訪問リハビリを気軽に使えるようにしてほしい。コロナウイルス拡大により、デイサービスへ行くのに不安がある方もいるため。また、集団に入ることには抵抗のある方もいる。1対1で受けられるサービスを利用することによって、身体機能の低下を予防できると思われるし、家族以外の外部の人との接触の機会となる。
退院時に病院の相談員へ連携のやりやすい医療機関や訪問看護事業所をお願いしているが、一方的に医療機関や訪問看護事業所、その他のサービス事業所を選定して来る時があり、連携が難しい時がある。
電話や書類で医師に相談するのは気が重かったが、通院時に同行し、直接話をするのが加算で評価してもらえ、気軽に連携できるようになった。入院時に情報提供することで、相談員と連携しやすくなったこと。予防の人の入院にも、入院時連携加算、通院加算を付けてほしい。
医療と介護が連携し協力していきたいと思います。
医療と介護の連携はとても大切だと思うが、医師によっては気難しく横柄で連携を取りにくい人が多い（全てではない）。

4 高齢者虐待について

問16 家庭内における高齢者虐待の事例を経験（担当）したことがありますか。
（いずれかに○）

「ある」が 54.4%、「ない」が 45.6%となっています。

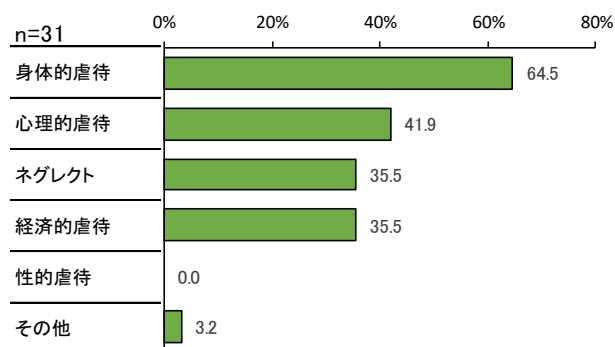


問16-1 問16で「ある」と答えたかたにお伺いします。

経験（担当）した虐待の疑われるケースはどのようなものですか。

（○はいくつでも）

「身体的虐待」が 64.5%で最も高く、次いで「心理的虐待」が 41.9%、「ネグレクト」「経済的虐待」がそれぞれ 35.5%となっています。

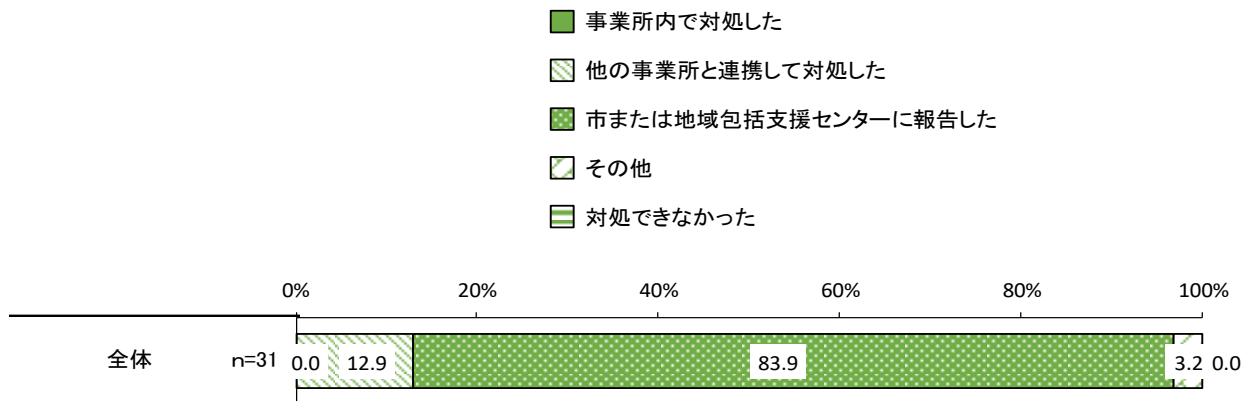


問16-2 問16で「ある」と答えたかたにお伺いします。

虐待の疑われる事例に関わったときには、どのような方法で対処しましたか。

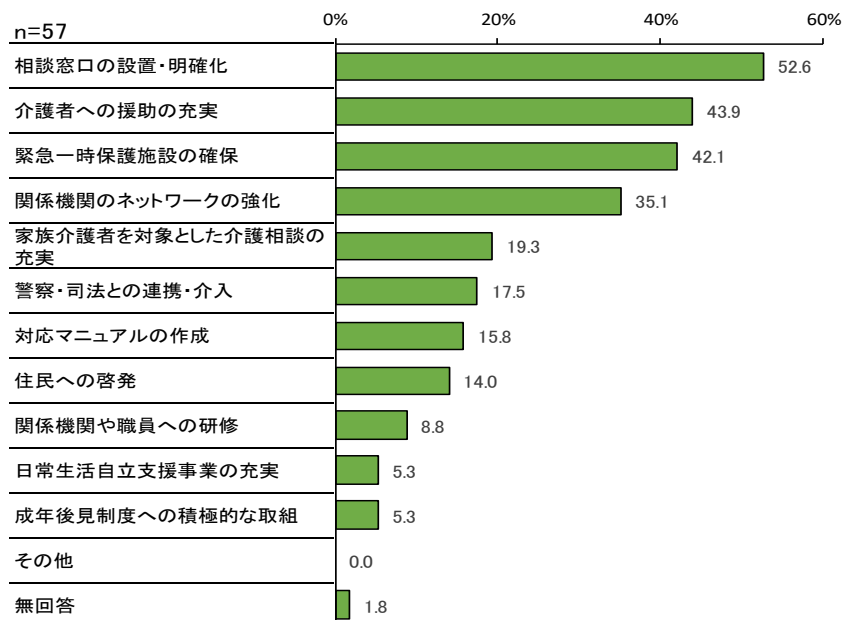
(○は1つ)

「市または地域包括支援センターに報告した」が 83.9%で最も高く、次いで「他の事業所と連携して対処した」が 12.9%となっています。



問17 高齢者虐待への対応として必要な制度や仕組みはどのようなものだと思いますか。(○は3つまで)

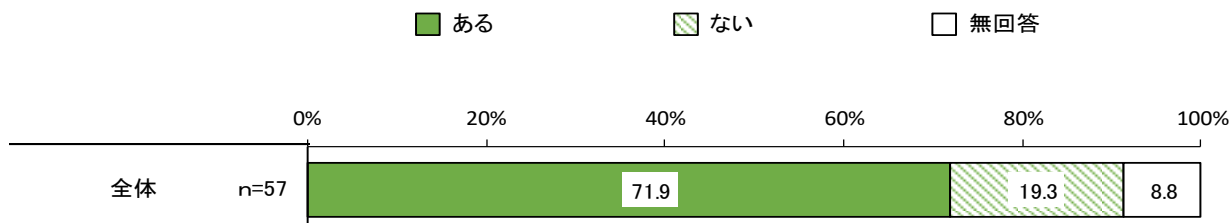
「相談窓口の設置・明確化」が 52.6%で最も高く、次いで「介護者への援助の充実」が 43.9%、「緊急一時保護施設の確保」が 42.1%となっています。



5 地域包括支援センターについて

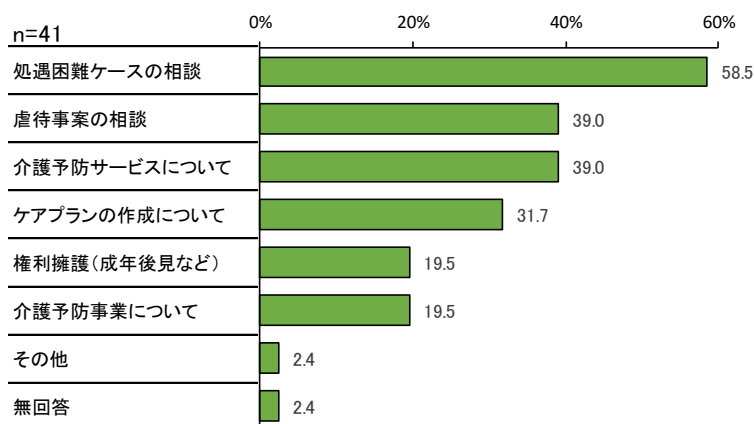
問18 あなたは、地域包括支援センターに相談をしたことがありますか。
(いずれかに○をし、その内容や理由であてはまるものすべてに○)

「ある」が71.9%、「ない」が19.3%となっています。



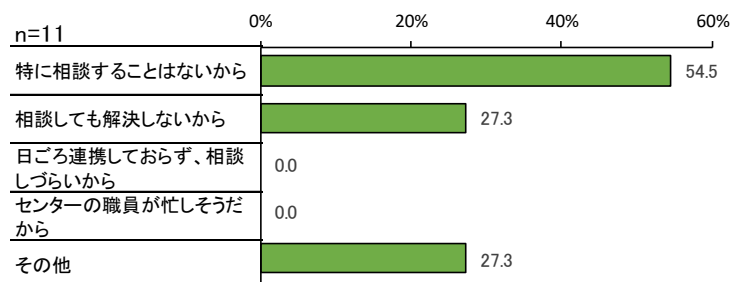
【「ある」と回答した方】

「処遇困難ケースの相談」が58.5%で最も高く、次いで「虐待事案の相談」「介護予防サービスについて」がそれぞれ39.0%、「ケアプランの作成について」が31.7%となっています。



【「ない」と回答した方】

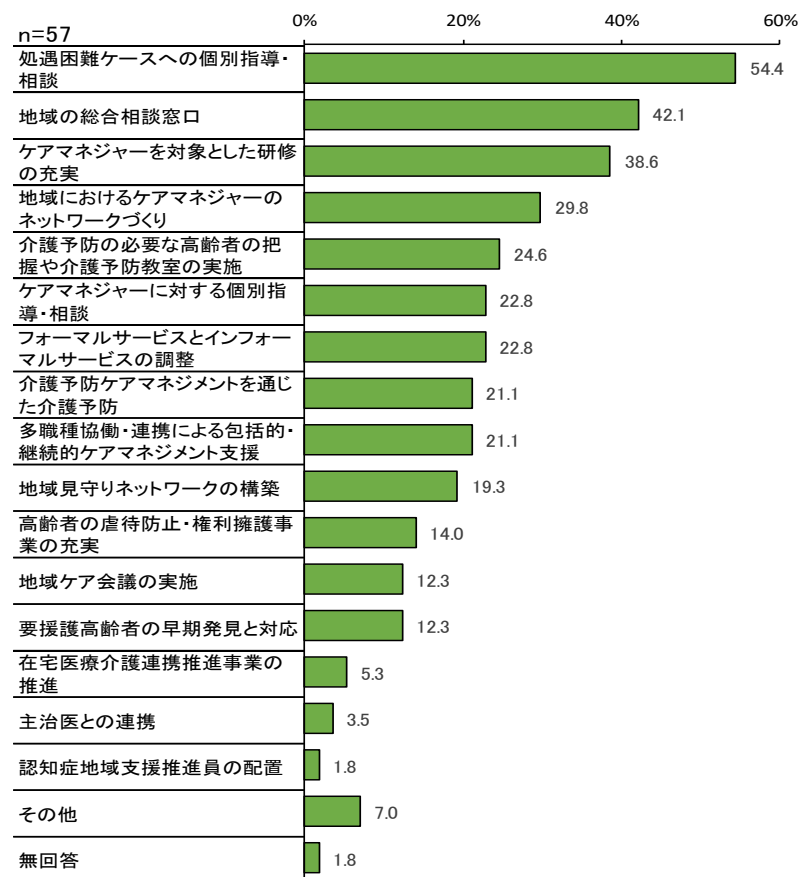
「特に相談することはないから」が54.5%で最も高く、次いで「相談しても解決しないから」が27.3%となっています。



問19 地域包括支援センターに特に期待することはどんなことですか。

(○は5つまで)

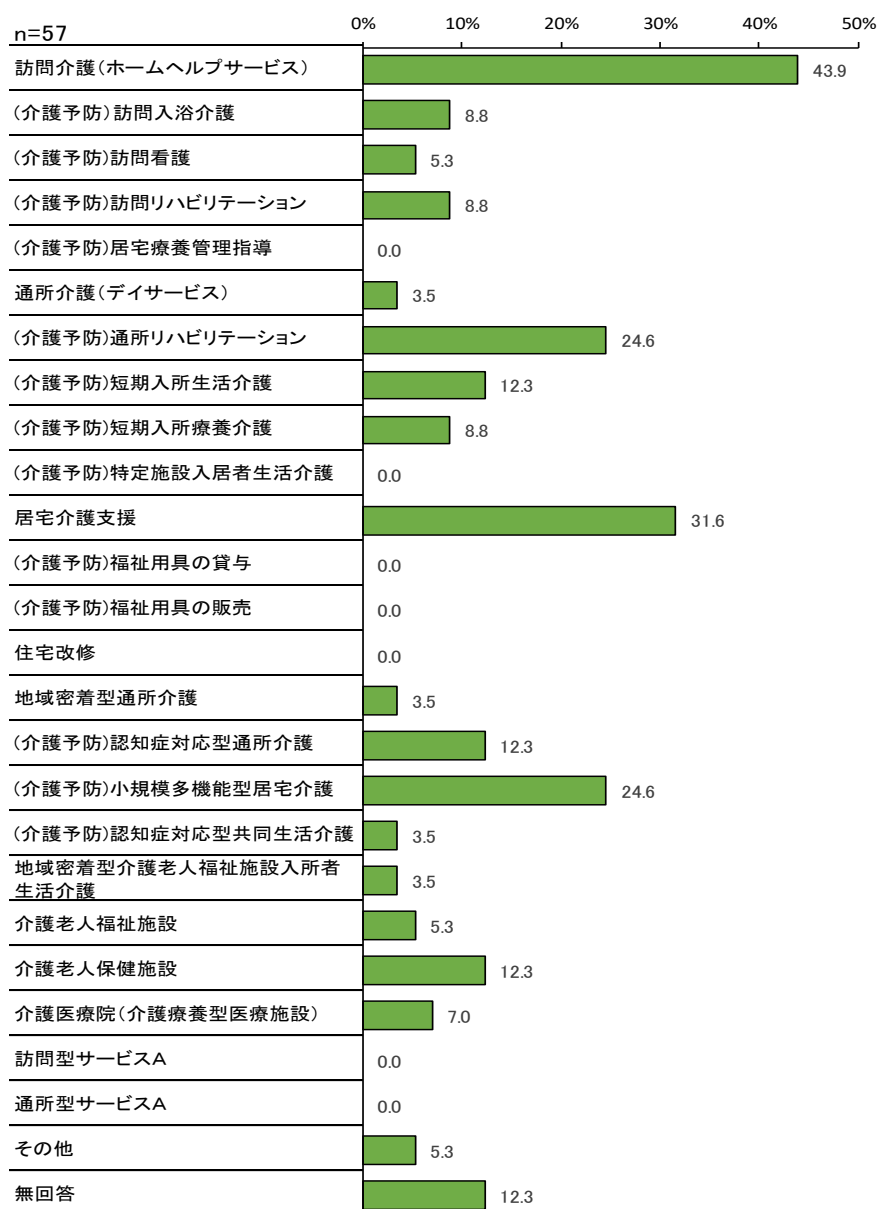
「処遇困難ケースへの個別指導・相談」が54.4%で最も高く、次いで「地域の総合相談窓口」が42.1%、「ケアマネジャーを対象とした研修の充実」が38.6%となっています。



6 介護保険及び高齢者福祉施策全般について

問20 尾張旭市内の介護保険対象サービスの中で、不足していると感じる介護サービスについてご回答ください。（〇はいくつでも）

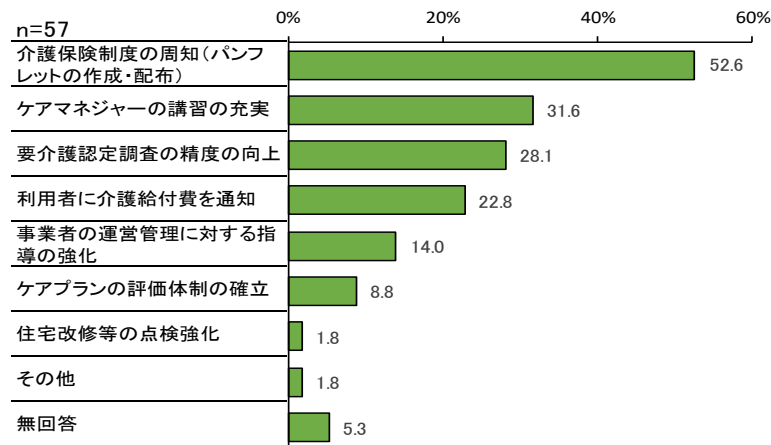
「訪問介護(ホームヘルプサービス)」が43.9%で最も高く、次いで「居宅介護支援」が31.6%、「(介護予防)通所リハビリテーション」「(介護予防)小規模多機能型居宅介護」がそれぞれ24.6%となっています。



※訪問型サービスA・通所型サービスAは、介護予防・日常生活支援総合事業です。

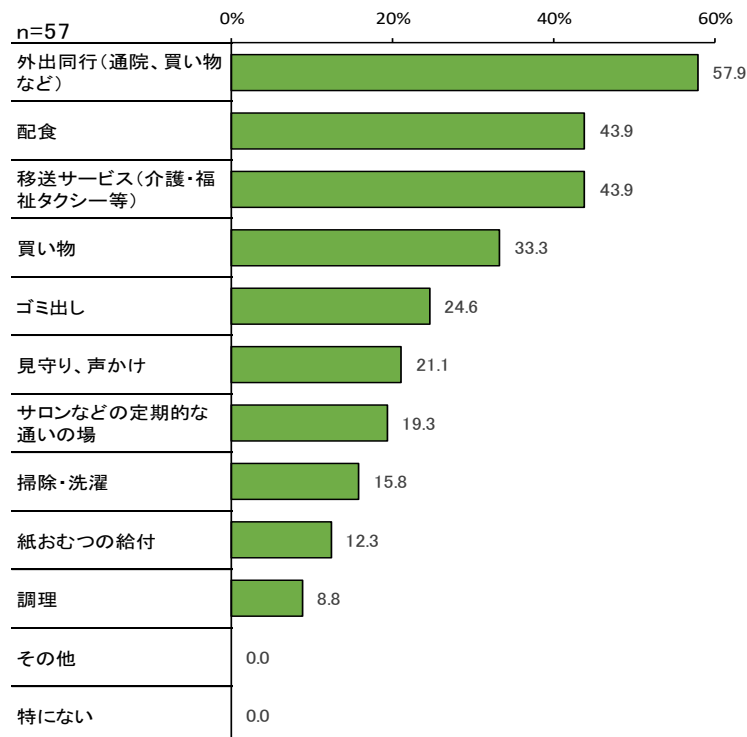
問21 介護給付や予防給付の適正化に向けて、どのようなことが大切だと思いますか。
 (○は3つまで)

「介護保険制度の周知(パンフレットの作成・配布)」が52.6%、「ケアマネジャーの講習の充実」が31.6%、「要介護認定調査の精度の向上」が28.1%となっています。



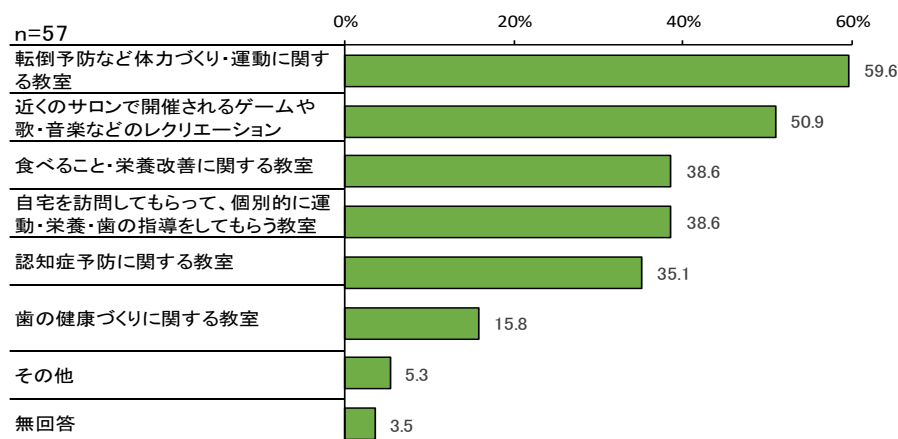
問22 今後の高齢者の在宅生活の継続に必要だと感じる支援・サービスについてお答えください。(○は3つまで)

「外出同行(通院、買い物など)」が57.9%で最も高く、次いで「配食」「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」がそれぞれ43.9%、「買い物」が33.3%となっています。



問23 介護予防事業について、特に必要だと思うもの、ケアプランに取り入れたいものをお答えください。（〇は3つまで）

「転倒予防など体づくり・運動に関する教室」が59.6%で最も高く、次いで「近くのサロンで開催されるゲームや歌・音楽などのレクリエーション」が50.9%、「食べること・栄養改善に関する教室」「自宅を訪問してもらって、個別的に運動・栄養・歯の指導をもらう教室」がそれぞれ38.6%となっています。



問24 地域包括ケアシステムの構築に向けて、介護保険サービス以外の高齢者福祉サービス等で有効だと思うものはありますか。（自由記述）

買い物支援（交通手段もしくは移動スーパー）

買い物支援（巡回にてお店を知る）。あさぴー号の本数を増やす、ダイヤの見直し（スーパーへの行きは乗れても帰りが時間が合わず使えない。ヘルパー同行はほぼ30分なため。）。

高齢者宅への食品や生活用品の移動店舗車、購入の喜びや安否確認、必要な支援の橋渡しなどがあれば、介護状態になる前に予防につながる。社会保険費削減や活気ある町づくり。

地域の高齢者が集まり、会話できる場

見守り、話し相手等のボランティア、サロン

地域の高齢者が集まり、会話できる場を設ける。場所の提供（お茶が飲める、食事の準備ができるetc.）、支援ボランティアを募る（集会所への送迎ができる）。

ゴミ処理の補助

個別にゴミ収集をしていただけるので助かっている（申請した人）。

ゴミ（粗大ゴミ含む）が処分できるようなサービス。

民生委員とケアマネとの連携

民生委員とケアマネとの連携の構築（ほぼできていない。）。

民生委員の方との合同研修、顔の見える関係作り、ケアマネ側への民生委員に対する個人情報取り扱いの研修。

その他
安価（年金の範囲内）で入れる住宅の整備。
移動支援、特に「階段」で外出できない事例も多い。
家の中が乱雑な方。介護保険サービス導入前に大掃除などの支援。
お金の引き出しに困っている方がみえます。
介護状態になりにくい、予防的なさまざまな事業体制。
買い物や食事で困っている家庭は多いが、配食サービスの弁当は飽きてしまい長続きしない。何か福祉サービスで対応できないか。
高齢者が活躍できる場（要支援1・2、要介護1・2の認知症の方が店員をしたり掃除をしたり、子どもには絵本の読み聞かせをしたり）。自分が必要なんだ、役立っているんだと本人様が実感できる場。
送迎可能な体操などの教室。参加したくても行くことができない人が多いと思う。
地域資源の検索システム
1人暮らしの安否確認
ミニデイサービスは認知症がある方でも通い慣れた自宅近くの集会所等で行われ助かっております。数が減っているのが残念です。

問25 高齢社会に向けて、本市は何に重点をおくべきだと思いますか。

(○は3つまで)

「高齢者の外出・移動支援の充実」が40.4%で最も高く、次いで「在宅で生活が続けられるような福祉サービスや介護サービスの充実」が33.3%、「隣近所など身近な地域で高齢者を見守ることができる体制の整備」が26.3%となっています。

